

消防年報

令和4年



粕屋南部消防組合消防本部

令和5年10月刊行

はしがき

この消防年報は、粕屋南部消防組合消防本部の消防現勢及び令和4年中の消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、原則として暦年をもってあらわしていますが、予算に関する事項については、会計年度で収録し、一部については、当該表に記載した年月日をもってあらわしています。

令和5年10月



目次

はしがき

総括編

管内の概要	6
管内面積	6
管轄エリア	7
構成町の横顔	8
管内人口・管内世帯数の推移	10
消防組合の組織	11
消防庁舎の現況	13
粕屋南部消防組合組織図	16
消防本部の事務分掌	17
消防署の事務分掌	19
防災センターの紹介	20
防災センター利用状況	21
消防組合消防本部の沿革	22

総務編

令和3年度消防組合（一般会計）決算額	34
消防組合の財政	35
令和4年度消防組合（一般会計）当初予算	35
令和4年度構成町分担金	36
当初予算の推移	36
消防相互応援協定等の状況	37
消防力の基準と現有の比較	39
職員の特殊技能免許・有資格	40
職員の配置状況	41
職員の階級別年齢	42
職員の階級別勤務年数	43
職員の研修	44
職員互助会及びクラブ活動	47

予防編

防火対象物現況表	50
防火対象物の予防査察状況	51
建築確認同意事務処理状況	52
中高層建築物（4階以上）の現況	53
防火管理者選任状況	54
消防用設備等着工届出事務処理状況	54
危険物施設状況	55
製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況	55
液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況	56
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況	56
手数料収入状況	56
町別危険物設置許可施設・事業所数状況	57
製造所等状況グラフ	57
粕屋南部地域防災協会	58
幼年・少年消防クラブ	59

警防編

警防

車両の保有状況	62
消防車両紹介	63
火災の総括	66
火災の総括表	67
火災件数	70
建物火災における罹災状況	73
出火原因の状況	74
過去5年間の推移	75
月別・各町建物火災総括表	79
消防水利状況	80

救急

救急の総括	81
救急の概要	83
出動状況	83
搬送状況	87
所要時間	91
救急隊員の行った応急処置件数	92
不搬送状況	93
応急手当の普及啓発活動状況	93

救助

救助の総括	94
救助の概要	95
救助機械器具等の保有状況	98

通信

通信指令系統図	99
月別119着信数内訳	100
類別119着信割合	100

消防団編

消防団の歴史	102
消防団の組織	104
消防団員の年齢	106
消防団員の勤務年数	107
消防団装備状況	107
火災出場状況	107
消防連絡協議会	108

総括編

1	管内の概要	6
2	管内面積	6
3	管轄エリア	7
4	構成町の横顔	8
5	管内人口・管内世帯数の推移	10
6	消防組合の組織	11
7	消防庁舎の現況	13
8	粕屋南部消防組合組織図	16
9	消防本部の事務分掌	17
10	消防署の事務分掌	19
11	防災センターの紹介	20
12	防災センター利用状況	21
13	消防組合消防本部の沿革	22

1 管内の概要

本組合は福岡県の中西部で糟屋郡の中南部に位置する。

区域は、南北に約 20km、東西に約 15km で、北東から東にかけては犬鳴峠と八木山峠との稜線を結び、南東は若杉山に連なる三郡の山々が延びており、南側には四王寺山脈がそびえている。これらを境に、北東から南東及び南側は宮若市、飯塚市、筑紫野市、太宰府市、大野城市と接し北側は古賀市、新宮町と西側は一部の丘陵地を除きほぼ平坦な地形のまま福岡市博多区、東区とそれぞれ隣接している。

管内の中央を国道 201 号線が東西に横断し、西寄りには九州自動車道が南北に亘って約 12km 縦断している。又、管内の北側には山陽新幹線が北東から南西にかけて横切っている。当組合は、福岡都心から半径僅か 10km の範囲内であって、しかも福岡空港から約 5km、さらに福岡県庁から約 8km という距離のため、福岡都市圏として今後益々の発展が予想される。

中南部地域は 70 数年に亘り操業してきた国鉄志免鉱業所（旧海軍炭坑）や小炭坑の開坑により、鉱業や商工業の町として隆盛を極めたが、昭和 39 年志免鉱業所の閉山によってその隆盛にも終止符が打たれた。

その後産炭地振興による工業団地の開発、中小企業、大型店舗の進出及び福岡市の東部に隣接する好立地条件から、都市圏のベッドタウンとして大型団地造成がなされ人口が急増して今や福岡都市圏として重要な地域をしめている。

また、南部には史跡と自然に包まれた「四王寺県民の森」や国の天然記念物大楠が社前にそびえ立つ安産の神様、宇美八幡宮があり、須恵町の高鳥居城跡、木造十一面観音立像、須恵焼窯跡などと共に歴史に名高い。

さらに管内のほぼ中心にそびえる若杉山、岳城山の山麓から北方にかけては、城戸の真言宗南蔵院を中心に篠栗新四国八十八カ所があつて「お遍路」の名として親しく、犬鳴連山のふもとに位置した北端の久山町は、伊野皇大神宮や猪野公園を背に、連山の谷間をぬった清流と豊富な森林資源を生かした健康町づくりが、ユニークな町行政として注目をあつめている。

このように管内は美しい緑と自然に囲まれた福岡都市圏の住宅や産業・経済の町として「住みよい町づくり」を目指して大きくはばたいている。

2 管内面積

町別	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
面積	8.69 km ²	30.21 km ²	16.31 km ²	14.13 km ²	38.93 km ²	37.44 km ²	145.71 km ²

粕屋南部消防本部 管轄エリア

3

Jurisdiction area



管内主要連絡先 Contact Information

- [町役場]
- ☎ 志免町役場 092-935-1001
- ☎ 宇美町役場 092-932-1111
- ☎ 須恵町役場 092-932-1151
- ☎ 粕屋町役場 092-938-2311
- ☎ 篠栗町役場 092-947-1111
- ☎ 久山町役場 092-976-1111
- [消防署]
- ☎ 消防本部・南部消防署 092-935-5111
- ☎ 中部消防署 092-938-3216
- 中部消防署 西出張所 ☎092-629-6271
[休日診療所]
- ☎ 粕屋中南部休日診療所 092-652-3119

4 構成町の横顔

南部消防署管内

し め まち
志免町



志免町総合福祉施設「シーメイト」は、総合的情報の発信基地・自立の共存を図る・誰もがフリーアクセスできる。をコンセプトに福祉事業の拠点となっています。

岩崎神社で毎年9月に行われる伝統行事「石投げ相撲」の起源は江戸時代末期とされ、見物客が石を投げ合うほどに熱中したことが名前の由来という。現在は、子供相撲や赤ちゃんの土俵入りが行われ青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。

町の花：サクラ

う み まち
宇美町



宇美八幡宮は、神功皇后が新羅遠征から帰還して、この地で応神天皇をお産みになったことから安産の神様として全国的に知られ、町名も「産み」に由来します。

宇美八幡宮に毎年4月15日と10月15日に奉納される神楽で清楚で神への敬謙さが、よく表現され、現在も神楽座が構成されて、熱心に受け継がれています。

(県指定無形民俗文化財)

町の花：ツクシシャクナゲ

す え まち
須恵町



上須恵須賀神社「祇園山笠」は、明治時代中ごろから始まり、毎年7月下旬の「かき山」の1週間前から飾り山が飾られ、当日は勇壮に町内を駆け抜けます。

「左谷山建正寺」に安置されている「木造十一面観音立像」(県指定有形文化財)は、十一の面に人々の苦しみを救う力を秘めているといわれ、発見当時は傷みが激しく、修復後は厳重に安置されていますが、年に一度だけ、4月に一般公開され拝観できます。

町の花：つつじ

かす や まち
粕屋町



ささ ぐり まち
篠栗町



ひさ やま まち
久山町



筑前三大大池のひとつ駕与丁（かよいちょう）池が「駕与丁公園」として整備され、住民の憩いの場となっており、公園内の粕屋町総合体育館「かすやドーム」は、円形状の屋根が青い空と池の湖面によくマッチしています。

21世紀の粕屋町の祭りとして「よさこい祭り」が推奨され、毎年かすやドームをメイン会場として、老若男女を問わず、町民多数が参加し楽しいお祭りが開催されています。

町の花：バラ

若杉山の和の大森には計5本の巨大杉が天高く伸び、森の巨人たち百選に選ばれている「トウダの二股杉」や5本の中でも最も大きな「和の大杉」は幹周16.15m、樹高40mあり、大自然の偉大さ、雄大さが体中を包みます。

「篠栗祇園祭」は、毎年7月第2土曜日に山笠が勢い水をかぶりながら須賀神社からJR篠栗駅を往復し、賑わいを見せます。平成19年から「篠栗夏祭り」に名称を変更し、花火大会が復活しました。

五塔の滝：鳴湊川溪流の滝

伊野皇大神宮沿いを緩やかに流れる猪野川と久原川の上流は、螢の生息地として有名で、猪野川の源氏螢、久原川の平家螢の乱舞するひかりは、幻想的な世界を作り出します。

久山檜太鼓は、ジュニアからシニアまでの4チームで編成し、地元の祭りや各地区のイベント、福祉施設の慰問などで活躍され、青少年の健全育成に大きな役割を担っています。

町の花：えびね

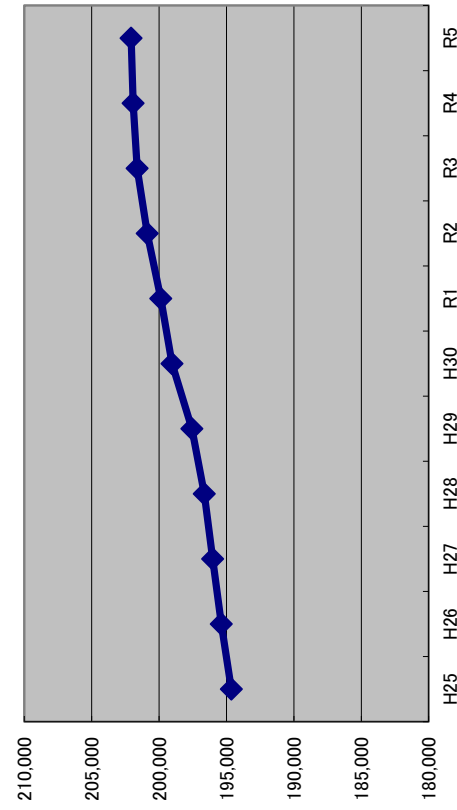
※掲載写真は、本部エントランスに掲げるタペストリーの写真です。下段の説明は写真の上、中、下段を説明しています。

5 管内人口・管内世帯数の推移

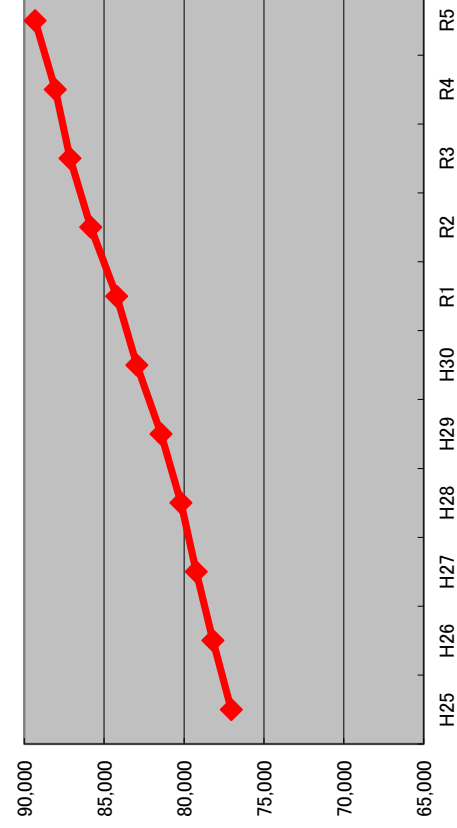
令和5年4月1日現在

区分 年	志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町		合計	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
H25	45,500	18,509	38,162	14,730	27,074	10,505	43,960	17,857	31,621	12,545	8,321	2,898	194,638	77,044
H26	45,554	18,649	37,820	14,973	27,205	10,639	44,926	18,386	31,537	12,597	8,346	2,946	195,388	78,190
H27	45,684	18,844	37,657	15,091	27,539	10,842	45,241	18,687	31,545	12,759	8,353	3,007	196,019	79,230
H28	45,641	19,008	37,411	15,174	27,692	11,013	45,785	18,999	31,659	12,881	8,460	3,114	196,648	80,189
H29	45,644	19,213	37,273	15,316	27,812	11,182	46,668	19,521	31,551	12,992	8,622	3,220	197,570	81,444
H30	45,835	19,502	37,359	15,524	28,294	11,528	47,218	19,886	31,506	13,132	8,821	3,387	199,033	82,959
R1	46,080	19,736	37,299	15,684	28,628	11,820	47,530	20,235	31,373	13,240	8,963	3,507	199,873	84,222
R2	46,407	20,096	37,295	15,982	28,666	12,010	47,938	20,677	31,496	13,484	9,065	3,595	200,867	85,844
R3	46,509	20,344	37,345	16,223	28,929	12,271	48,246	21,017	31,380	13,575	9,210	3,699	201,619	87,129
R4	46,638	20,612	37,184	16,315	29,104	12,445	48,592	21,385	31,162	13,648	9,244	3,656	201,924	88,061
R5	46,543	20,810	37,082	16,520	29,340	12,745	48,828	21,738	30,966	13,760	9,312	3,755	202,071	89,328

管内人口推移



管内世帯数推移



6 消防組合の組織

(1) 執行機関

(令和5年9月現在)

職 名	氏 名	所 属 町 役 職
組 合 長	箱 田 彰	粕 屋 町 長
副 組 合 長	西 村 勝	久 山 町 長

運 営 協 議 会	職 名	氏 名	所 属 町 役 職
	委 員	世 利 良 末	志 免 町 長
	〃	安 川 茂 伸	宇 美 町 長
	〃	平 松 秀 一	須 恵 町 長
	〃	箱 田 彰	粕 屋 町 長
	〃	三 浦 正	篠 栗 町 長
	〃	西 村 勝	久 山 町 長

(2) 議会

(令和5年9月現在)

職 名	議 席 番 号	氏 名	所 属 町
議 長	3	松 山 力 弥	須 恵 町
副 議 長	7	小 池 弘 基	粕 屋 町
議 員	1	末 若 憲 治	粕 屋 町
〃	2	丸 山 卓 嗣	志 免 町
〃	4	牟 田 口 健 史	志 免 町
〃	5	只 松 秀 喜	久 山 町
〃	6	小 林 孝 昭	宇 美 町
〃	8	稲 永 辰 己	須 恵 町
〃	9	横 山 和 輝	篠 栗 町
〃	10	古 賀 ひろ子	宇 美 町
〃	11	荒 牧 泰 範	篠 栗 町
〃	12	阿 部 恒 久	久 山 町

(3) 監査委員

氏 名	備 考
藤 野 莞 嗣	識見を有する者
只 松 秀 喜	組合議会選出

(4) 会計管理者

氏 名	備 考
城 戸 龍 男	消防本部次長

歴代組合長

令和5年9月現在

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	世利健助	S48. 4	S50. 4	2年1ヶ月	志免町
2代	原田昇	S50. 5	S54. 4	4年	須恵町
3代	安川辰雄	S54. 5	S57. 3	2年10ヶ月	宇美町
4代	南里久雄	S57. 3	H 3. 5	9年2ヶ月	志免町
5代	江崎淳	H 3. 6	H 6. 3	2年9ヶ月	宇美町
6代	長憲一	H 6. 3	H7.11	1年8ヶ月	粕屋町
7代	吉松昭幸	H 7.11	H11. 3	3年4ヶ月	須恵町
8代	佐伯勝重	H11. 4	H12. 6	1年2ヶ月	久山町
9代	神武照	H12. 6	H14. 3	1年9ヶ月	宇美町
10代	小池弘輔	H14. 3	H17. 3	3年1ヶ月	粕屋町
11代	南里辰己	H17. 3	H19. 3	2年1ヶ月	志免町
12代	三浦正	H19. 4	H21. 3	2年	篠栗町
13代	安川博	H21. 4	H23. 3	2年	宇美町
14代	篠崎久義	H23. 4	H23.10	7ヶ月	粕屋町
15代	中嶋裕史	H23.11	H26. 3	2年5ヶ月	須恵町
16代	久芳菊司	H26. 4	H28. 3	2年	久山町
17代	木原忠	H28. 4	H30. 3	2年	宇美町
18代	世利良末	H30. 4	R2. 3	2年	志免町
19代	平松秀一	R2. 4	R4. 3	2年	須恵町
20代	箱田彰	R4. 4	現組合長		粕屋町

歴代議長

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	吉村光	S48. 4	S49. 3	1年	宇美町
2代	安河内伝	S49. 4	S50. 3	1年	須恵町
3代	山口偉寿	S50. 4	S54. 5	4年1ヶ月	宇美町
4代	大林今朝澄	S54. 5	S57. 4	2年11ヶ月	志免町
5代	御手洗明	S57. 4	S62. 4	5年	須恵町
6代	諸永宗義	S62. 5	H 6. 2	6年9ヶ月	宇美町
7代	西本僥	H 6. 4	H11. 4	5年	志免町
8代	堤晋一	H11. 5	H14. 3	2年10ヶ月	宇美町
9代	臼井徳義	H14. 4	H15. 5	1年1ヶ月	篠栗町
10代	後藤一磨	H15. 6	H17. 6	2年	宇美町
11代	大林弘明	H17. 6	H19. 4	1年10ヶ月	志免町
12代	佐伯源吾	H19. 5	H21. 9	2年4ヶ月	久山町
13代	木下康一	H21.10	H23. 5	1年6ヶ月	久山町
14代	三角良人	H23. 5	H25. 5	2年	須恵町
15代	進藤啓一	H25. 5	H27. 5	2年	粕屋町
16代	白水英至	H27. 5	H29. 5	2年	宇美町
17代	阿部寛治	H29. 5	R1. 6	2年	篠栗町
18代	丸山真智子	R1. 6	R3. 5	2年	志免町
19代	阿部文俊	R3. 5	R3. 10	5月	久山町
20代	只松秀喜	R3. 10	R5. 5	1年8ヶ月	久山町
21代	松山力弥	R5. 5	現議長		須恵町

歴代消防長

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	世利健助	S48. 4	S50. 3	2年	志免町
2代	光安金美	S50. 4	S63. 3	13年	志免町
3代	高尾克磨	S63. 4	H 3. 3	3年	須恵町
4代	世利敏實	H 3. 4	H 8. 3	5年	志免町
5代	武藤義則	H 8. 4	H12. 3	4年	志免町
6代	川口建典	H12. 4	H19. 3	7年	志免町
7代	豊福康廣	H19. 4	H25. 3	6年	志免町
8代	橋本広幸	H25. 4	H27. 3	2年	宇美町
9代	橋本俊嗣	H27. 4	H29. 3	2年	志免町
10代	百田修一	H29. 4	R 3. 3	4年	須恵町
11代	安河内恒	R 3. 4	現消防長		久山町

7 消防庁舎の現況

粕屋南部消防組合消防本部・南部消防署

〒811-2204

福岡県糟屋郡志免町大字田富170番地

TEL(代表)092-935-5111



管轄区域	志免町 宇美町 須恵町
敷地面積	7,106.45㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上4階建て 建築面積 1,713㎡ 延べ面積 4,562㎡
訓練塔	主塔 RC造7階 延476㎡ 副塔 RC造2階 延158㎡ 補助塔 RC造3階 延182㎡
その他	防災センター併設 329㎡ 駐輪場 52㎡ 平成18年3月竣工



消防庁舎の現況

中部消防署

〒811-2301

福岡県糟屋郡粕屋町大字上大隈55番地の1

TEL092-938-3216



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	6,160.71 m ² (自治会館分除く)
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上4階建て 建築面積 1,015m ² 延べ面積 3,259m ²
訓練塔	主塔 RC造5階 延201m ²
その他	糟屋郡自治会館併設 平成3年10月竣工



消防庁舎の現況

中部消防署 西出張所

〒811-2304

福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原 1854 番 1

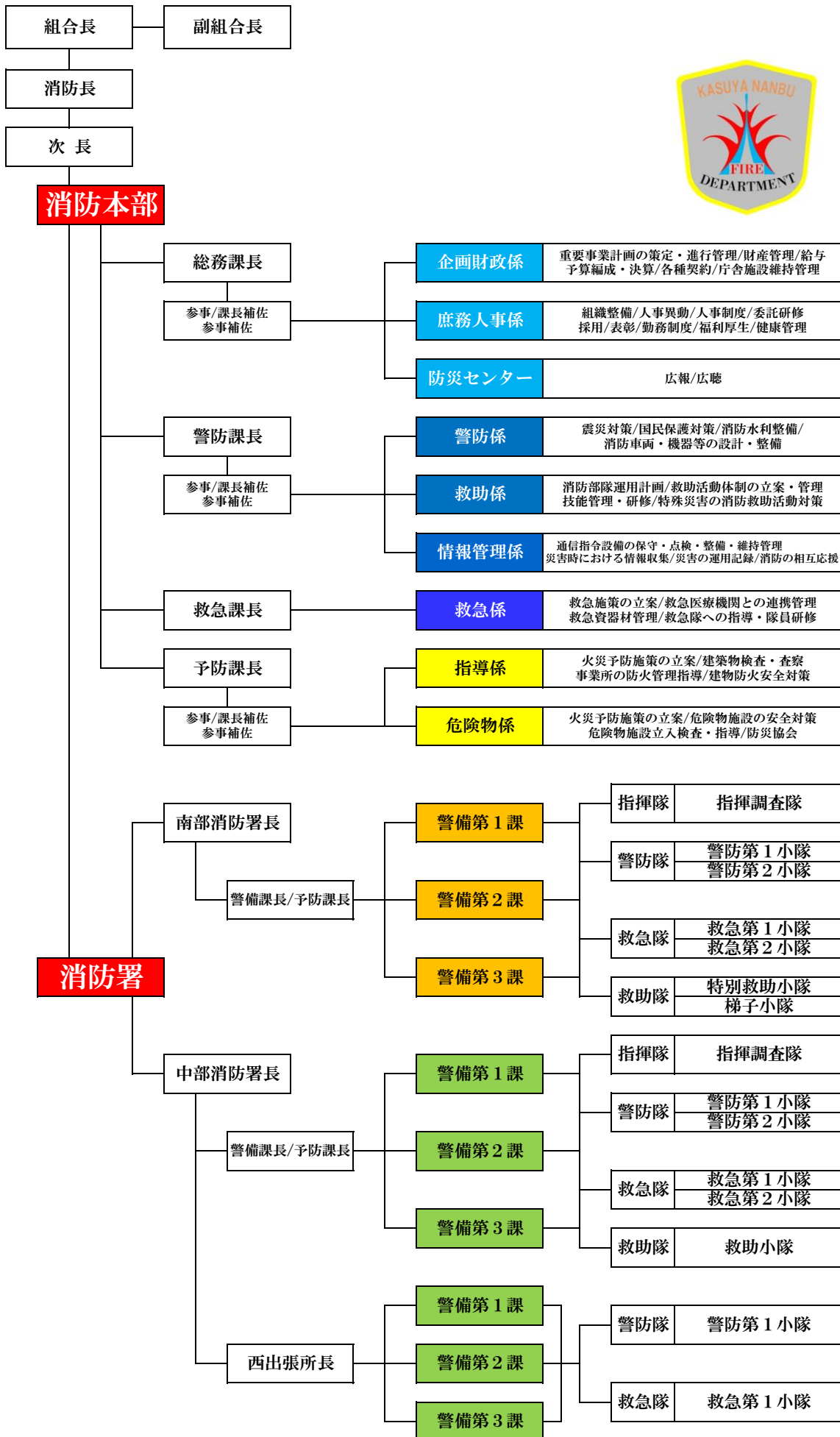
TEL092-629-6271



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	1,682.65㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上2階建て 建築面積 324.00㎡ 延べ面積 464.64㎡
その他	平成28年1月竣工



8 粕屋南部消防組合組織図



9 消防本部の事務分掌



総務課

庶務人事係

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 消防本部、課の庶務に関する事● 組合議会に関する事● 消防本部の組織、制度及び職務権限に関する事● 人事に関する事● 消防長の秘書に関する事● 儀式及び行事に関する事● 職員の任免、服務、分限、懲戒その他身分に関する事● 職員の勤務時間及び勤務条件に関する事● 職員の勤務成績の評定及び人事記録に関する事● 職員の教養訓練、研修及び監察に関する事● 職員の公務災害補償、賞じゅつ及び消防表彰に関する事 | <ul style="list-style-type: none">● 職員共済組合、退職年金及び退職手当に関する事● 職員の福利厚生及び安全衛生管理に関する事● 条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関する事● 例規集の編集に関する事● 文書の收受、発送及び整理に関する事● 文書規程その他重要な文書の審査等に関する事● 公印に関する事● 公平委員会に関する事● 消防年報の作成に関する事● 庁舎の管理に関する事● 他の課、係の所掌に属さない事項 |
|--|--|

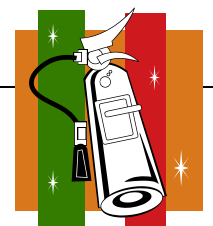
企画財政係

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 消防事務事業等の総合企画及び調整に関する事● 消防力整備及び重要施策の総合調整に関する事● 財政計画及び財務諸調査に関する事● 予算の編成及び執行管理に関する事● 予算の収支及び決算に関する事● 職員の給与、旅費及び諸手当の認定並びに支給に関する事● 支出負担行為の確認に関する事● 現金の出納及び保管に関する事● 組合債及び国、県補助金に関する事 | <ul style="list-style-type: none">● 財産の取得、管理及び保管に関する事● 物品の出納、保管及び処分に関する事● 基金の管理に関する事● 職員の被服の貸与に関する事● 契約に関する事● 寄付採納に関する事● 監査に関する事● 財務及び給与システムに関する事● その他財政に関する事 |
|--|---|

予防課

危険物係

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 危険物の規制に関する事● 危険物規制違反の処理に関する事● 防災協会の育成指導に関する事● 課の庶務に関する事 |
|--|



指導係

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">● 予防査察に関する事● 防火管理及び防災管理に関する事● 幼年・少年消防クラブ等の育成指導に関する事● 建築同意に関する事● 消防用設備等に関する事 | <ul style="list-style-type: none">● 火災予防広報に関する事● 違反防火対象物及び公表の処理に関する事● 火災予防運動に関する事● 防火基準適合の表示に関する事 |
|---|--|

警防課

警防係

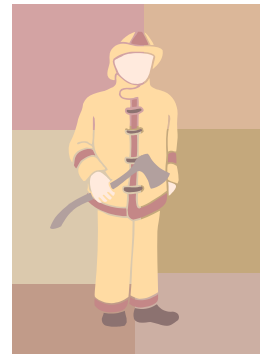
- 消防力の整備に関する事
- 総合的警防計画の策定に関する事
- 火災その他災害の原因及び損害調査に関する事
- 開発行為に対する協議に関する事
- 消防地理、水利の企画、整備に関する事
- 水防計画に関する事
- 消防団に関する事
- その他警防に関する事

救助係

- 消防機械器具の整備及び管理に関する事
- 特殊災害に関する事
- 各種訓練及び演習の企画に関する事
- 火災、その他災害の警戒、防ぎよ等警防諸活動の推進上の企画に関する事
- その他救助に関する事

情報管理係

- 課の庶務に関する事
- 法に基づく通信指令設備の設置、変更、移設等の手続きに関する事
- 通信指令設備の保全計画の策定及び障害の未然防止並びに改善、研究に関する事
- 通信指令設備の保守、点検、整備、維持管理に関する事
- 通信指令設備に係る関係書類の管理に関する事
- 災害の運用記録に関する事
- 災害時における情報収集及び関係機関への連絡・記録に関する事
- 通信指令設備の監視並びに障害の対応に関する事
- 火災、災害等即報に関する事
- 気象、水象に係る情報の収集・連絡・記録に関する事
- 消防通信に係る関係書類の管理に関する事
- 消防隊の配置運用に関する事
- 消防相互応援(緊急消防援助隊を含む)に関する事
- 火災・救助の統計及び消防情報に関する事
- 火災の警報に関する事
- その他課内の他の係の所掌に属さない事項



救急課

救急係

- 課の庶務に関する事
- 救急医療情報に関する事
- 救急装備及び資器材の整備及び管理に関する事
- 救急の統計に関する事
- その他救急に関する事



10 消防署の事務分掌

予防

- 職員の人事及び教養に関すること
- 公印の取扱いに関すること
- 文書の收受、発送及び整理保存に関すること
- 職員の公務災害に関すること
- 庁舎の管理に関すること
- 署の庶務に関すること
- 予防査察に関すること
- 防火管理に関すること
- 圧縮アセチレンガス等及び毒物、劇物の届出に関すること
- 危険物の仮貯蔵、仮取扱いに関すること
- 粕屋南部消防組合火災予防条例の規制に関すること
- 意見書の交付に関すること
- 行政命令に関すること
- 消防用設備等に関すること
- 違反防火対象物の処理に関すること
- 防火基準適合の表示に関すること
- その他火災予防に関すること

警備

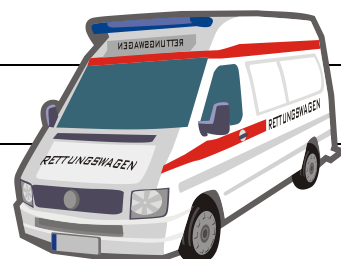
- 消防隊の編成及び小隊業務に関すること
- 火災、その他災害の警戒及び防ぎよに関すること
- 消防警備に関すること
- 消防地理水利に関すること
- 通信機器の管理及び取扱いに関すること
- 警防計画の樹立及び実施に関すること
- 火災の原因及び損害の調査に関すること
- 諸災害の被害調査に関すること
- 消防団に関すること
- 火災、その他の災害の検討に関すること
- 各種届出に関すること
- リ災証明に関すること
- その他警備に関すること

救急

- 救急装備及び資器材の管理及び取扱いに関すること
- 救急業務に関すること
- その他救急に関すること

救助

- 消防演習その他消防隊の訓練に関すること
- 消防用機械器具の管理及び取扱いに関すること
- 救助業務に関すること
- その他救助に関すること



11 防災センターの紹介

見て聞いて触って 体験する！ 防災学習の 体験ゾーン！

頭と体で覚えて、 自主防災力を高める！

防災センターは、皆さんの防災学習の場、住民同士、住民と消防職員との交流の場となることを目指しています。

また当施設は、住民一人ひとりの防災に対する意識を高め、災害や事故などに対する自主防災力の向上を図るための、住民防災学習の場です。

災害時・緊急時に不可欠となる自主防災力を「見る」「聞く」「触る」体験することで、より深い理解とより効果的な学習が可能になります。

是非、いざというときの対処法を学んでください。



ホール（エントランス）
ホールには、案内6町をイメージしたタペストリーと、防災センターのシンボルである消防車のイラストが壁飾をお見いただけます。



防災シミュレーター
「センターの役割や、実際にどのような体験ができるのか」を映像などを使って紹介するシアタールームです。また、クイズ学習や緊急手当の講習もここでを行います。



地震体験コーナー Earthquake simulator



このコーナーは、スーパーマーケットの売り場で地震が発生した場面を想定し、震度3～6強まで揺れを体験できます。

●ディスプレイの映像は、スーパーマーケットの食品売り場で地震が発生したときの様子が増設されており、リアルに地震体験することが出来ます。



水害体験コーナー Flood disaster simulator



浸水時の対処法や、水害時の泥水歩行を擬似的に体験するコーナーです。また、身近な環境に起こりうる水害の危険性も学習することができます。

●泥水歩行を体験できるボールのプール、歩みにくさを体験しましょう。



風体験コーナー Wind simulator



風体験コーナーでは、強風体験ができます。風速25mまでの強烈な風を体感し、風の危険性を再確認しましょう。

●窓外は、身近な場所を体験できるように商店街を背景にしています。



煙体験コーナー Simulator to escape from smoke



実際に火事が起こったときに、恐ろしい煙、睡やみなどの室内には、階段やスライドドア、扉などがあり、臨場感ある避難通路を体験することができます。

●視界が悪い中を手探りで避難します。慎重に出口を探しましょう。

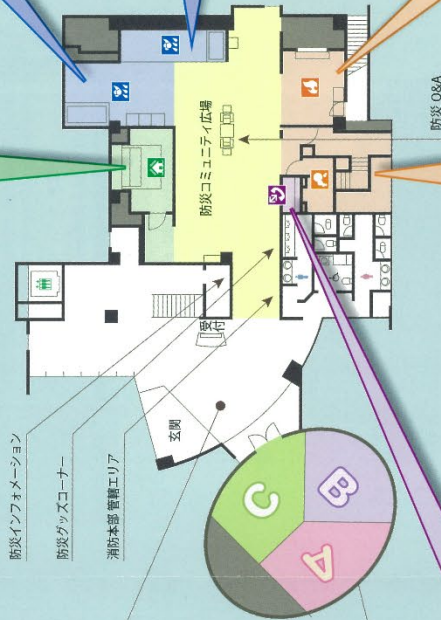


消火体験コーナー Fire extinguishing simulator



実際に消火器を使って消火体験ができるコーナーです。消火器の使用方法を体で覚えましょう。

●画面上の炎を消火器で消火体験ができます。



12 防災センターの利用状況

令和4年度防災センター施設利用集計表

総利用者数(開館～)	69485名
------------	--------

令和4年度来館者数	3050名	
内訳	幼児	1042名
	小学生	1213名
	中学生	18名
	高校生	2名
	大人	775名

3050名

月別来館者数		
月別	令和4年4月	76名
	5月	97名
	6月	186名
	7月	123名
	8月	274名
	9月	194名
	10月	352名
	11月	554名
	12月	367名
	令和5年1月	386名
	2月	291名
3月	150名	

3050名

曜日別来館者数		
曜日	月	63名
	火	493名
	水	495名
	木	987名
	金	599名
	土	261名
	日	152名

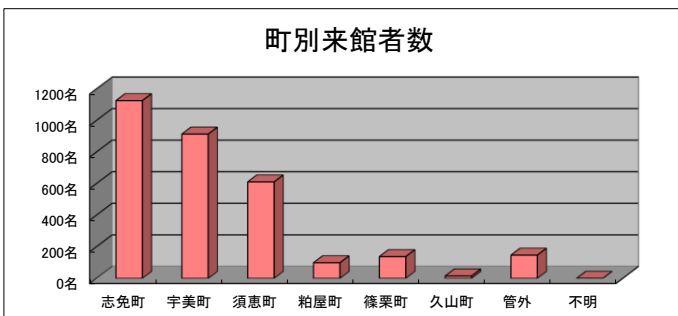
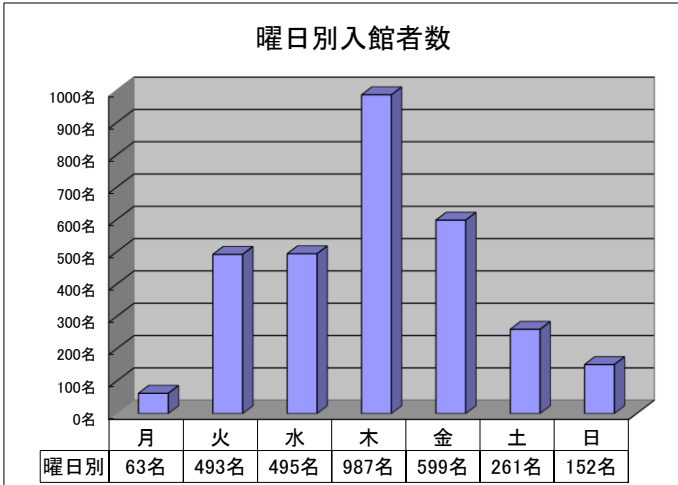
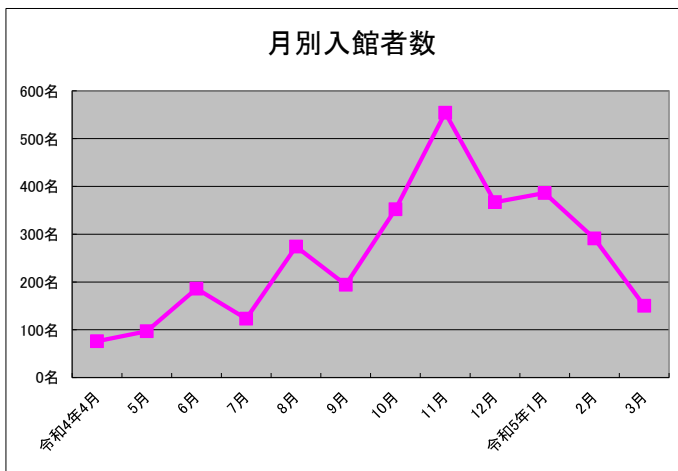
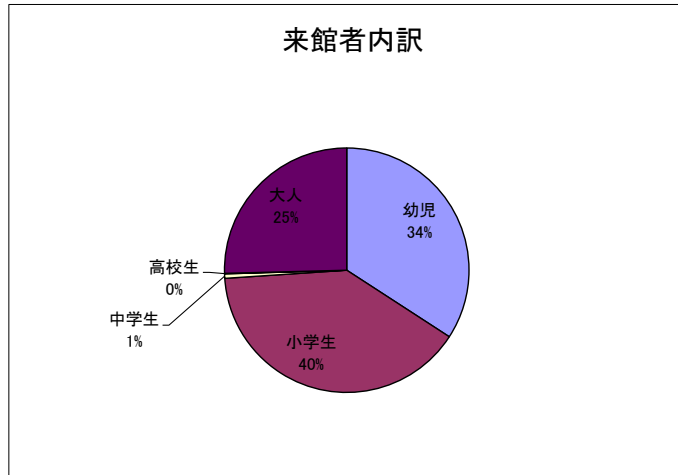
3050名

時間別来館者数		
時間	9時	434名
	10時	1940名
	11時	100名
	12時	0名
	13時	233名
	14時	179名
	15時	47名
	16時	117名
17時	0名	

3050名

町別来館者数		
町別	志免町	1126名
	宇美町	914名
	須恵町	611名
	粕屋町	99名
	篠栗町	138名
	久山町	15名
	管外	147名
	不明	0名

3050名



13 消防組合消防本部の沿革

○設立の経過

昭和47年志免町・宇美町・須恵町の3ヶ町は、社会、経済、住宅事情等の変化に伴い、常備消防設置の必要性から、その準備に着手し、消防費の効率的運用と、広域行政の一環として、3ヶ町で共同処理するための消防組合を組織すべく関係者並びに議会関係者が数度の会合を重ね、それぞれの議会で消防組合設立を議決、3ヶ町協議の上、福岡県知事の組合設置許可申請、昭和48年1月27日付、47地行第857号を以って許可、さらに昭和48年4月5日付、自治省告示第74号により、当時の消防組織法第10条に規定する政令指定を受け消防本部、署の設置をみる。その後、昭和61年4月2日付、政令第68号で常備消防を設置すべき自治体として指定を受けた粕屋町・篠栗町・久山町の3町が当組合に加入し、構成自治体は6町となり、従来よりも広域の行政責任を負うこととなった。

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和47年 (1972年)	12	・志免町、宇美町、須恵町で構成する消防組合設置について各町議会議決				
昭和48年 (1973年)	1	・県知事へ粕屋南部消防組合設置申請～許可	36	5		5
	4	・消防本部・消防署設置政令指定 ・粕屋南部消防組合消防本部設置 (組合仮事務所：志免町大字志免1178番地志免町役場内に置く) (本部仮事務所：志免町大字志免1500番地旧志免中学校内に置く)				
	5	・福岡県消防学校第64回初任教育入校(8名)				
	6	・司令車(日産ブルーバード)購入				
	7	・救急車(トヨタハイエース)購入				
	8	・福岡県消防学校第65回初任教育入校(12名)				
9	・ポンプ車及びタンク車購入 ・消防庁舎用地取得(3,563㎡) (志免町大字田富170番地)					
10	・粕屋南部消防署開設・実働開始 ・庁舎新築工事着工		2		28	
昭和49年 (1974年)	4	・福岡県消防学校第67回初任教育入校(5名)		7	1	34
	5	・消防本部・消防署庁舎竣工(692.98㎡) ・査察広報車(三菱ジープ)寄贈(株)ゲラン化学を受ける				
	9	・訓練場拡張のため用地取得(1940.77㎡)				

年	月	消防組合の動き	人事状況					
			条例 定数	採用	退職	実員		
昭和50年 (1975年)	3	・油庫完成(9㎡) ・救急車(トヨタハイエース)寄贈(日本損害保険協会)を受ける			1	32		
	10	・福岡県消防学校第70回初任教育入校(3名)		3	1	35		
昭和51年 (1976年)	6	・訓練塔2基寄贈(㈱辻組)を受ける	49		1	34		
	10	・指令装置B型設置						
	12	・ポンプ車(BD-1)寄贈(日本損害保険協会)を受ける						
昭和52年 (1977年)	1	・消防公用車(日産グロリア)購入			1	33		
	4	・福岡県消防学校第73回初任教育入校(7名)					7	40
	10	・福岡県消防学校第74回初任教育入校(6名)					6	46
	12	・無線サイレン制御装置設置(ゼネラル)						1
昭和53年 (1978年)	8	・救助工作車(日野KL505)購入 ・消防本部庁舎増築(仮眠室37.75㎡)	55			46		
	11	・マイクロバス(日産シビリアン)寄贈(福岡若杉ライオンズクラブ)を受ける						
昭和54年 (1979年)	4	・福岡県消防学校第77回初任教育入校(5名)				51		
	10	・福岡県消防学校第78回初任教育入校(4名)					5	55
昭和55年 (1980年)	3	・消防本部・署庁舎増築(688.91㎡)	61			54		
	4	・福岡県救急医療情報FAX設置 ・訓練塔(補助塔)完成						
	6	・司令車(トヨタクラウンバン)購入						
	11	・救急車(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける						
昭和56年 (1981年)	4	・福岡県消防学校第81回初任教育入校(4名)			2	57		
	10	・福岡県消防学校第82回初任教育入校(4名)					5	61
	11	・16m級屈折梯子自動車購入(日野)					4	
昭和57年 (1982年)	3	・消防庁長官表彰「竿頭授」受章 ・訓練場拡張のため用地取得(1,655㎡)			1	60		
昭和58年 (1983年)	3	・査察車(三菱ミニカ)寄贈(粕屋南部農協)を受ける						
	10	・化学車Ⅱ型(三菱)購入 ・総合気象観測装置設置(日本エレクトロニクス)						
	12	・救急車(日産キャラバン)寄贈(山之内製薬)を受ける						

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和59年 (1984年)	11	・ 第1回「防災のつどい」開催 (後に平成2年まで6回実施)				
	12	・ 粕屋町、篠栗町、久山町より当消防組合加入申し込み				
昭和60年 (1985年)	6	・ 指揮車(三菱デリカ)購入				
	8	・ 消防体制常備化に係る政令希望町村調査 (消防庁)				
	9	・ タンク車Ⅱ型(三菱)購入				
昭和61年 (1986年)	2	・ 消防本部・署設置市町村を定める政令告示 (粕屋町、篠栗町、久山町)				
	5	・ 中部3町消防常備化に関する関係町長会議				
	6	・ 志免町、宇美町、須恵町各町議会で中部3町加入に伴う組合規約の変更について議決			1	59
	7	・ 久山町議会で当消防組合加入について議決				
	8	・ 粕屋町、篠栗町各町議会で当消防組合加入について議決				
		・ 県知事へ組合規約変更について申請				
	9	・ 県知事より組合規約変更について許可	81			
		・ 消防署の名称変更 (南部消防署、中部消防署)				
		・ 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱)購入				
	10	・ 中部消防署設置・実働開始 (仮事務所：粕屋町大字仲原5番地)				
	・ 消防本部及び消防署の設置に関する条例一部改正 (1本部2署体制)		11		70	
昭和62年 (1987年)	2	・ 指令装置PD2100設置				
		・ 消防・救急無線中継基地局設置				
	3	・ 消防緊急情報システム新設				
	4	・ 福岡県消防学校第93回初任教育入校(11名)		11		81
	7	・ 査察車(スバルドミンゴ)購入 (本部配置)	90			

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
昭和63年 (1988年)	2	・消防本部庁舎増築(178.26㎡)			1	80
	4	・消防本部、南部消防署機材倉庫完成(99.81㎡)		10		90
	7	・化学車Ⅱ型(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。中部消防署配置				
	11	・林野工作車(トヨタランドクルーザー)購入				
	12	・救急車2B型(トヨタ)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。南部消防署配置				
平成元年 (1989年)	1	・消防公用車(トヨタクラウン)購入			1	89
	8	・中部消防署訓練場用地取得(6,701㎡)	94		1	88
平成2年 (1990年)	4	・福岡県消防学校第96回初任教育入校(6名)		6		94
		・糟屋郡自治会館組合より中部消防署・自治会館庁舎併設について申し入れ				
	7	・組合議会定例会において中部消防署・自治会館庁舎併設について承認				
	8	・消防本部・南部消防署機材倉庫増築(28.43㎡)				
	9	・中部消防署・自治会館合同庁舎用地拡張のため用地取得(1,769㎡)				
12	・中部消防署・自治会館合同庁舎建設工事着工					
平成3年 (1991年)	4	・福岡県消防学校第97回初任教育入校(1名)		1	2	93
	7	・連絡車(トヨタマークⅡ)本部配置				
	9	・中部消防署新庁舎へ移転・開署	100			
	10	・中部消防署・自治会館合同庁舎竣工 ・救急車2B型(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける 中部消防署配置				
	11	・第1回屋内消火栓・消火器操法大会実施(後に毎年実施)			1	92
平成4年 (1992年)	4	・福岡県消防学校第98回初任教育入校(5名)	104	5		97
		・司令車(トヨタマークⅡ)購入 本部配置				
	10	・救助工作車Ⅱ型(三菱)購入 中部消防署配置				
	12	・マイクロバス(三菱ローザ)購入 本部配置				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成5年 (1993年)	3	・消防本部・南部消防署庁舎増築(275.66㎡)	108	7		104
	4	・福岡県消防学校第99回初任教育入校(4名)				
	6	・査察車(トヨタマークII)購入 中部消防署配置				
	9	・幼年消防クラブ結成				
	10	・福岡県消防学校第100回初任教育入校(3名)				
平成6年 (1994年)	4	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 南部消防署配置 ・福岡県消防学校第101回初任教育入校(4名)		4		107
平成7年 (1995年)	2	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 中部消防署配置 ・阪神・淡路大震災に出動	116	4		111
	4	・査察車(トヨタカローラ)購入 中部消防署配置 ・福岡県消防学校第102回初任教育入校(4名)				
	5	・防災指導車(トヨタマークII)寄贈(粕屋南部地域防 災協会)を受ける 本部配置				
	10	・緊急消防援助隊(救助小隊)消防庁登録				
	12	・中部消防署・自治会館用地拡張のため用地取得 (3,019㎡)				
平成8年 (1996年)	3	・中部消防署用地拡張工事完了(3,019㎡)		5	1	110
	4	・査察車(トヨタスプリンター)購入 本部配置 ・福岡県消防学校第103回初任教育入校(5名)				115
	5	・救急救命士国家試験合格(第1号)				
	6	・ガルーダ・インドネシア航空機炎上事故に応援 出動し、運輸大臣、消防庁長官より感謝状授与				
	10	・消防職員委員会施行				
平成9年 (1997年)	1	・高規格救急車(日産パラメディック)購入 南部消防署配置	120			116
	4	・3部制交替勤務体制施行 ・福岡県消防学校第104回初任教育入校(1名)				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
平成10年 (1998年)	1 3 4 5 9	・救助工作車Ⅲ型(日野)購入 南部消防署配置 ・第19回消防職員意見発表会 (アザレアホール須恵) ・福岡県消防学校第105回初任教育入校(4名) ・粕屋南部消防組合消防本部創立25周年、自治体 消防発足50周年記念式典 ・化学車(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける 南部消防署配置		4	1	115 119
平成11年 (1999年)	2 3 4 7	・高規格救急車(トヨタ)寄贈(篠栗町南蔵院)を受ける ・第20回消防職員意見発表会(クリエイト篠栗) ・福岡県消防学校第106回初任教育入校(1名) ・組合規約一部変更 (H12年度、休日診療所開設に伴う変更)	124	1		120
平成12年 (2000年)	2 3 4 12	・指揮調査車(トヨタ)購入 南部消防署配置 ・第21回消防職員意見発表会(志免町民センター) ・救急車2B型(日産)寄贈(日本消防協会)を受ける ・福岡県消防学校第107回初任教育入校(4名) ・指揮調査車(三菱)購入 中部消防署配置		4	2	118 122
平成13年 (2001年)	1 3 4	・タンク車(三菱)購入 南部消防署配置 ・第22回消防職員意見発表会(粕屋町中央公民館) ・福岡県消防学校第108回初任教育入校(2名)	128	2		124
平成14年 (2002年)	2 3 4 8 10 11	・消防本部、南部消防署庁舎増築(93㎡) ・第23回消防職員意見発表会(宇美町中央公民館) ・40m伸縮水路付梯子車購入 南部消防署配置 ・福岡県消防学校第109回初任教育入校(4名) ・ミニバイク5台(ホンダ)の寄贈(かすや南ライオン ズクラブ)を受ける ・消防公用車(トヨタクラウン)購入 本部配置 ・タンク車Ⅱ型(三菱)購入 中部消防署配置		4	1	123 127

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
平成15年 (2003年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック4WD)購入 南部消防署配置	138			
	3	・第24回消防職員意見発表会(レスポアール久山)				
	9	・心肺蘇生法訓練人形の寄贈(若杉ライオンズクラブ)を受ける ・支援車(トヨタコースター)購入 本部配置				
平成16年 (2004年)	1	・化学車(三菱)購入 中部消防署配置		6	1	125
	3	・第25回消防職員意見発表会(志免町民センター)				
	4	・福岡県消防学校第111回初任教育入校(6名)				
	7	・本部・南部消防署新庁舎建設起工式				
平成17年 (2005年)	3	・第26回消防職員意見発表会(クリエイト篠栗) ・福岡県西方沖地震(M7)3月20日10時53分発生		4	2	135
	4	・福岡県消防学校第112回初任教育入校(4名)				
	6	・本部・南部消防署新庁舎、訓練塔(主塔)完成				
	10	・指令装置(II型)運用開始 ・本部・南部消防署新庁舎実働開始				
平成18年 (2006年)	3	・第27回消防職員意見発表会 (アザレアホール須恵) ・本部・南部消防署新庁舎竣工式 ・組合規約一部変更(収入役制度廃止)	147			
	4	・福岡県消防学校第113回初任教育入校(5名) ・緊急消防援助隊(救急小隊)消防庁登録				
平成19年 (2007年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置		5	2	136
	3	・第28回消防職員意見発表会(サンレイクかすや)				
	4	・福岡県消防学校第114回初任教育入校(5名)				
平成20年 (2008年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 南部消防署配置		4	1	140
	3	・第29回消防職員意見発表会(宇美中央公民館)				
	4	・福岡県消防学校第116回初任教育入校(4名)				
	6	・消防公用車(トヨタクラウン)競売売却				
	12	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置 空港環境整備協会助成				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
平成21年 (2009年)	3	・第30回消防職員意見発表会（レスポアール久山）			3	141
	4	・福岡県消防学校第118回初任教育入校(3名)		6		147
	10	・福岡県消防学校第119回初任教育入校(3名)				
平成22年 (2010年)	1	・高規格救急車（日産パラメディック）購入 南部消防署配置 空港環境整備協会助成				
	3	・第31回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・本部連絡車更新（日産セレナ）			3	144
	4	・福岡県消防学校第120回初任教育入校(3名)		3		147
平成23年 (2011年)	2	・救助工作車Ⅱ型（日野自動車）更新 中部消防署配置				
	3	・第32回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・東日本大震災発生 緊急消防援助隊派遣			2	145
	4	・福岡県消防学校第122回初任教育入校(2名)		2		147
	8	・中部査察車(トヨタノア)更新				
	10	・マスコットキャラクター「かすにゃん」誕生				
平成24年 (2012年)	1	・南部査察車(トヨタノア)更新	150			
	3	・第33回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館） ・防災指導車（トヨタアイシス）寄贈（粕屋南部 地域防災協会）を受ける			2	145
	4	・福岡県消防学校第124回初任教育入校（5名） ・緊急消防援助隊(後方支援小隊)消防庁登録		8		153
	10	・福岡県消防学校第125回初任教育入校（3名）				
平成25年 (2013年)	2	・予防査察車（ホンダNボックス）更新	159			
	3	・第34回消防職員意見発表会（サンレイクかすや）			5	148
	4	・福岡県消防学校第126回初任教育入校（10名）		15		163
	10	・福岡県消防学校第127回初任教育入校（5名） ・化学車（日野自動車）購入 南部消防署配置				
平成26年 (2014年)	2	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置	162			
	3	・第35回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗）			5	158
	4	・福岡県消防学校第128回初任教育入校（7名）		10		168
	5	・中部消防署 西出張所用地購入				
	10	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置 空港振興・環境整備支援機構助成 ・福岡県消防学校第129回初任教育入校（3名）				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成27年 (2015年)	3	・第36回消防職員意見発表会（レスポアール久山）			8	160
	4	・福岡県消防学校第130回初任教育入校（5名）		5		165
	11	・中部消防署 西出張所完成				
平成28年 (2016年)	1	・中部消防署 西出張所実働開始 救急隊配備				
	2	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署 西出張所配置				
	3	・第37回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・救助工作車Ⅲ型（テイセンテクノ）更新 南部消防署配置			6	159
	4	・消防救急デジタル無線運用開始 ・福岡県消防学校第132回初任教育入校（5名） ・平成28年熊本地震発生 緊急消防援助隊派遣		5		164
平成29年 (2017年)	1	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置 ・タンク車（日野自動車）購入 南部消防署配置 ・指揮調査車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置	169			
	3	・第38回消防職員意見発表会 （須恵アザレアホール）			3	161
	4	・福岡県消防学校第133回初任教育入校（8名）		8		169
	7	・九州北部豪雨県応援協定に基づき応援出動				
	11	・福岡都市圏消防共同指令センター運用を開始				
平成30年 (2018年)	1	・高規格救急車タイラーⅡ号（トヨタハイメディック）寄贈（志免町在住者）を受ける 南部消防署配置	175			
	2	・タンク車（日野自動車）購入 中部消防署 西出張所配置				
	3	・第39回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館）			1	168
	4	・福岡県消防学校第134回初任教育入校（7名）		7		175
	7	・平成30年7月豪雨（広島県）に緊急消防援助隊派遣				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
平成31年 (2019年)	3	・第40回消防職員意見発表会（サンレイクかすや）	176	4	3	172
	4	・福岡県消防学校第135回初任教育入校（4名）				
令和2年 (2020年)	3	・第41回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	181	8	4	172
	4	・福岡県消防学校第136回初任教育入校（8名）				
	7	・令和2年7月豪雨災害（熊本県）に緊急消防援助 隊派遣				
令和3年 (2021年)	3	・第42回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	187	5	6	174
	4	・福岡県消防学校第137回初任教育入校（5名）				
	11	・支援車（日野自動車）購入 南部消防署配置				
令和4年 (2022年)	1	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置		8		
	3	・第43回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）				
	4	・福岡県消防学校第138回初任教育入校（8名）				
	11	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署 西出張所配置				
令和5年 (2023年)	3	・第44回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	202	7	5	181
	4	・福岡県消防学校第139回初任教育入校（7名）				
	5	・緊急連絡車（トヨタハイラックス）購入				
	6	・化学車（日野自動車）購入 中部消防署配置				

総務編

1	令和4年度消防組合（一般会計）決算額	34
2	消防組合の財政	35
3	令和5年度消防組合（一般会計）当初予算	35
4	令和5年度構成町分担金	36
5	当初予算の推移	36
6	消防相互応援協定等の状況	37
7	消防力の基準と現有の比較	39
8	職員の特殊技能免許・有資格	40
9	職員の配置状況	41
10	職員の階級別年齢	42
11	職員の階級別勤務年数	43
12	職員の研修	44
13	職員互助会及びクラブ活動	47

1 令和4年度 消防組合(一般会計)決算額

歳 入

(単位:円)

款	項	予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 分担金及び負担金		2,067,585,000	2,067,585,000	94.6
	1 分担金	2,067,585,000	2,067,585,000	
2 使用料及び手数料		2,000,000	1,982,750	0.1
	1 手数料	2,000,000	1,982,750	
3 国庫支出金		1,000	0	0.0
	1 国庫補助金	1,000	0	
4 県支出金		1,000	0	0.0
	1 県補助金	1,000	0	
5 繰越金		21,941,000	21,941,795	1.0
	1 繰越金	21,941,000	21,941,795	
6 諸収入		20,551,000	20,815,289	1.0
	1 組合預金利子	27,000	28,687	
	2 雑 入	20,524,000	20,786,602	
7 組合債		107,200,000	72,500,000	3.3
	1 組合債	107,200,000	72,500,000	
歳 入 合 計		2,219,279,000	2,184,824,834	100

歳 出

(単位:円)

款	項	予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 議会費		2,269,000	1,960,443	0.1
	1 議会費	2,269,000	1,960,443	
2 総務費		110,481,000	107,571,846	5.1
	1 総務管理費	110,238,000	107,433,062	
	2 監査委員費	243,000	138,784	
3 消防費		1,890,475,000	1,799,620,904	84.8
	1 消防費	1,890,475,000	1,799,620,904	
4 公債費		212,951,000	212,946,007	10.0
	1 公債費	212,951,000	212,946,007	
5 予備費		3,103,000	0	0.0
	1 予備費	3,103,000	0	
歳 出 合 計		2,219,279,000	2,122,099,200	100

2 消防組合の財政

消防組合の令和5年度一般会計の総額は2,347,418千円で前年度との比較84,019千円の増となっています。

一般会計の歳入の構成を見ると、構成6町(志免町・宇美町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町)からの分担金が2,071,815千円で全体の88.3%を占めています。

また、歳出では、消防費2,099,411千円(89.4%)、公債費155,303千円(6.6%)、総務費86,013千円(3.7%)、予備費4,000千円(0.2%)、議会費2,691千円(0.1%)となっています。

消防組合は、構成6町で消防事務を共同処理することにより、一般家庭や事業所における火災、その他災害を未然に防止、あるいは発生した火災を最小限度にくいとめるための消防施設や人員を効率的に配置し、健全な財政運営を行っています。

○粕屋南部消防組合同約抜粋

(経費負担の方法)

第15条 組合の経費は、各町に分賦金及びその他の収入をもってあてる。

2 前項の分賦金の総額の25パーセントを均等割とし、75パーセントを人口割とする。

3 前項に定める人口割の人口は、最近の国勢調査による各町の人口とする。

3 令和5年度 粕屋南部消防組合(一般会計)当初予算

歳入

(単位:千円)

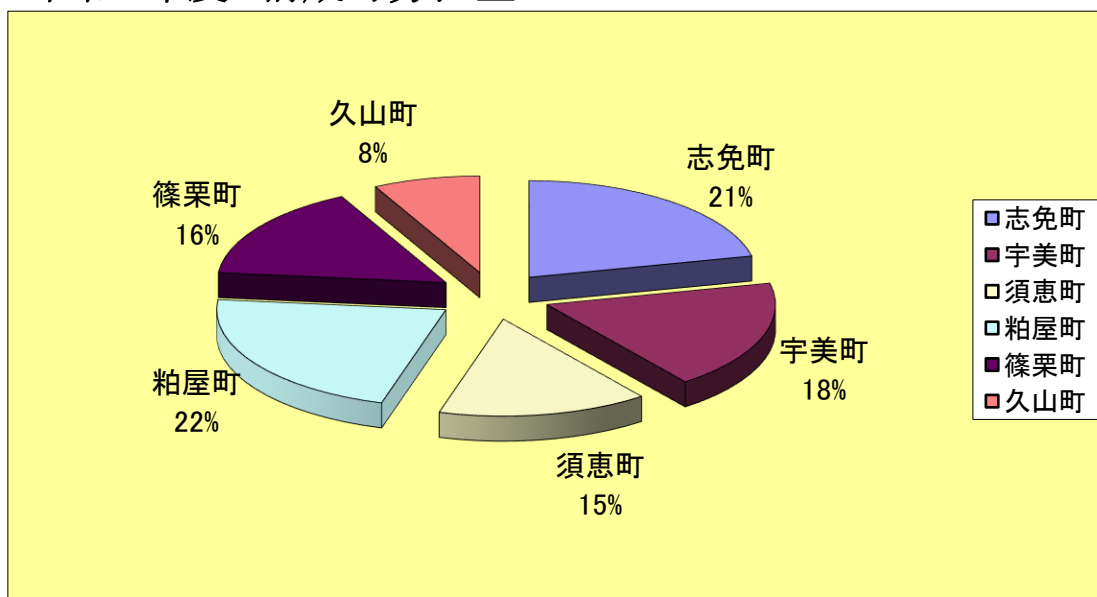
款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 分担金及び負担金	2,071,815	2,098,738	△ 26,923
2. 使用料及び手数料	2,000	2,600	△ 600
3. 国庫支出金	1	1	0
4. 県支出金	1	1	0
5. 繰越金	5,000	8,536	△ 3,536
6. 諸収入	38,501	19,923	18,578
7. 組合債	230,100	133,600	96,500
歳入合計	2,347,418	2,263,399	84,019

歳出

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 議会費	2,691	2,569	122
2. 総務費	86,013	132,611	△ 46,598
3. 消防費	2,099,411	1,911,248	188,163
4. 公債費	155,303	212,971	△ 57,668
5. 予備費	4,000	4,000	0
歳出合計	2,347,418	2,263,399	84,019

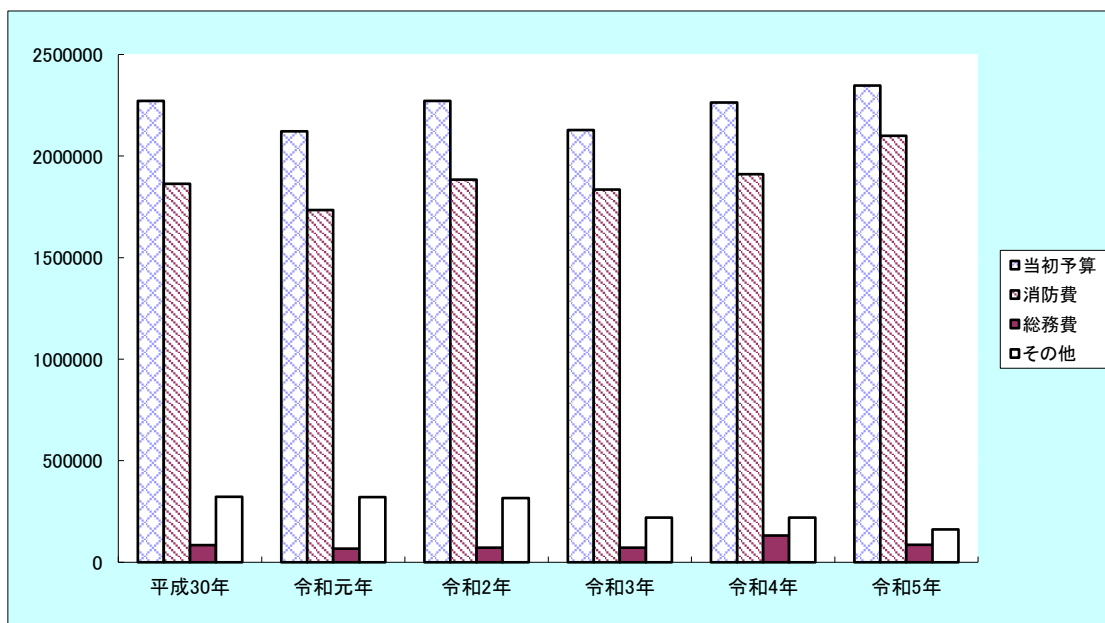
4 令和5年度 構成町分担金



志免町	444,595,230	(21%)
宇美町	377,340,014	(18%)
須恵町	307,481,419	(15%)
粕屋町	458,600,940	(22%)
篠栗町	327,420,049	(16%)
久山町	156,377,348	(8%)
分担金合計	2,071,815,000	(100%)

5 当初予算の推移

(単位：千円)



6 消防相互応援協定の状況

(1) 福岡県消防相互応援協定

福岡県内において大規模な災害が発生した場合の広域応援体制を確立する為、福岡県内の全市町村60団体と全消防本部25本部が相互に応援を行う為の、福岡県消防相互応援協定が締結され、平成元年4月1日から施行された。

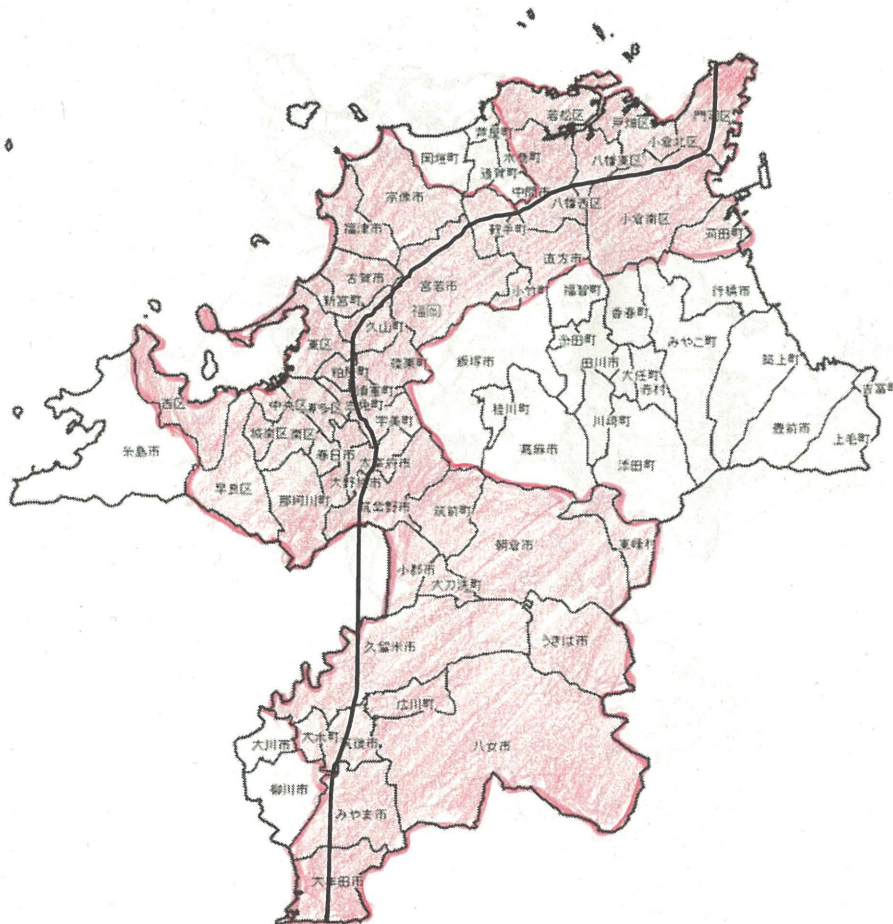
尚、この協定は、航空機による応援体制も福岡県広域航空消防応援実施要綱として盛り込まれている。

(2) 高速自動車道における消防相互応援協定

九州縦貫高速自動車道において火災、事故等消防業務を必要とする災害が発生した場合に協定市、及び組合相互間の消防力を活用して、災害による被害の軽減を図ることを目的とし、福岡県内の6市と10消防本部との間に高速自動車道における消防相互応援協定が締結され昭和61年10月15日から施行された。

・福岡県消防相互応援協定 福岡県全域

・高速自動車道



福岡県

(3) 福岡都市圏市町消防相互応援協定

火災、救急救助事案その他の災害が発生したとき、協定市町（現在9市10町・6消防組合）相互間の消防力を活用して、災害等による被害を最小限に防止し、安寧秩序を保持することを目的とし、福岡都市圏市町村消防相互応援協定が締結され、昭和55年3月1日から施行された。

(4) 常備消防間消防相互応援協定

火災又は地震等の災害発生の際、関係組合の消防力を活用して災害による被害を最小限度に防止することを目的とする。

(ア) 飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定（昭和63年10月17日）

(イ) 直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定（平成元年5月1日）

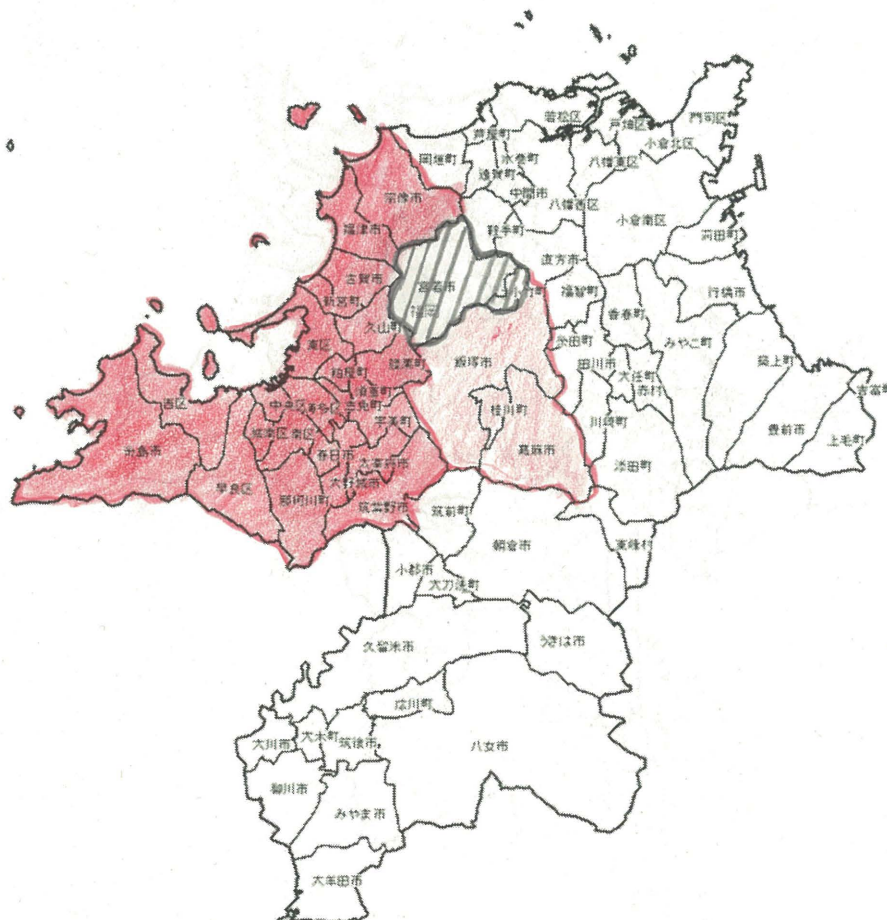
・福岡都市圏市町消防相互応援協定



・直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定



・飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定



福岡県

7 消防力の整備指針と現有の比較

(1) 署所数 (基準日: 令和5年4月1日)

署所数	基準	現有
	3	3



(2) 車両・人員

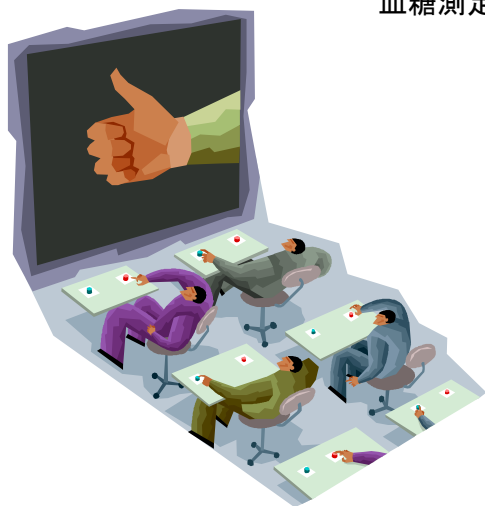
区分		基準台数 (台)	基準台数に 対する人員 の基準 (人)	現有台数 (非常用を 除く) (台)	現有台数に 対する人員 の基準 (人)	現有人員 (人)	備考			
指揮隊員	指揮調査車	2	242	2	180	147	南部消防署1台 中部消防署1台			
消防隊員	消防ポンプ自動車	5		3			南部消防署1台 中部消防署1台 西出張所1台			
	はしご自動車	2		1			消防本部配備 乗換運用			
	化学消防車	2		2			普通火災の場合は、 ポンプ車として運用			
	特殊車両 支援車	2		2			各種災害乗換運用			
救急隊員	救急自動車	7		5			・全車両高規格救急車 ・緊急消防援助隊1台登録			
救助隊員	救助工作車 (省令第4条)	1		1			南部消防署配備 緊急消防援助隊登録			
	救助工作車 (省令第2条)	1		1			中部消防署配備			
通信員				3				3	3	現有人員を基準人員とする
人員の小計				245				168	150	交替勤務者数 (通信員含む)
庶務の処置等の人員			27		27	32	管理職及び総務課(総務課付 新任者含)・警防課・救急課・ 出張所日勤者・研修等			
予防要員			23		23	9	実態に相応した人員			
合計		22	295	17	218	191				

8 職員の特殊技能免許・有資格

令和5年9月1日現在

区分	自動車免許				二輪		小型船舶	小型移動式クレーン運転	玉掛	特殊無線技士	酸素欠乏作業主任者	ガス溶接士	ボイラー技師	電気工事士	救助課程	潜水士	鉱山保安センター修了者
	牽引	大型特殊一種	大型一種	普通一種	大型	中型											
人	1	3	111	191	35	78	10	78	76	132	1	2	3	6	42	157	41
区分	救急関連資格									危険物取扱者			予防技術資格（防火査察）	予防技術資格（消防用設備）	予防技術資格（危険物）	消防設備士	衛生管理者
	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程	救急標準課程・救急科	救命士	指導救命士（県認定）	気管挿管認定者	薬剤投与認定者	※処置拡大2項目認定	応急手当指導員	甲種	乙種	丙種					
人	17	12	150	39	7	30	33	33	156	2	96	4	80	11	10	17	3

※心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液
血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与



9 職員の配置状況

令和5年4月1日現在

階級別 配置別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
合計		1	3	5	24	29	66	9	54	191	
消防本部	消防長	1								1	
	次長		1							1	
	総務課	課長		1							1
		参事			1						1
		企画財政係				1	1	3			6
		庶務人事係				1					1
		派遣・入校・研修等						2		7	9
	予防課	課長			1						1
		課長補佐・参事補佐				2					2
		指導係					1	2			3
		危険物係				1	1	1			3
	警防課	課長			1						1
		課長補佐				1					1
		警防係				1	1	(5)	(1)		3(6)
		救助係									
情報管理係					1						
救急課	課長			1						1	
	救急係				2	1				3	
小計		1	2	4	10	5	8(5)	(1)	7	37(6)	

※()は、交替勤務者(署兼務)を表す

消防署	署長		1							1
	予防課				1					1
	警備第1課				2	4	10	0	7	23
	警備第2課				2	3	10	0	8	23
	警備第3課				2	4	6	3	8	23
小計		0	1	0	7	11	26	3	23	71
消防署	署長			1						1
	予防課				1					1
	警備第1課				2	3	6	2	7	20
	警備第2課				2	3	9	0	6	20
	警備第3課				2	3	7	1	7	20
西出張所	所長									0
	警備第1課					1	4	1	1	7
	警備第2課					2	3	1	1	7
	警備第3課					1	3	1	2	7
小計		0	0	1	7	13	32	6	24	83

10 職員の階級別年齢

令和5年4月1日現在

階級別 配置別	合 計	うち女性 消防吏員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	191	6	1	3	5	24	29	66	9	54
平均年齢	37.7	30.8	59	57.7	55	51.2	43.3	36.6	51.7	24.4
18	1									1
19										
20	3									3
21	5									5
22	7	1								7
23	5									5
24	8									8
25	6									6
26	6	1							1	5
27	8							1		7
28	6							4		2
29	7	1						4		3
30	7							6		1
31	4							4		
32	9	1						8		1
33	6						1	5		
34	4							4		
35	3	1					1	2		
36	4							4		
37	3							3		
38	3						2	1		
39	5						2	3		
40	4						3	1		
41	6	1					3	3		
42										
43	3					1	2			
44	5					1	2	2		
45	4					1	3			
46	5					2	2	1		
47	2						1	1		
48	7					1	3	3		
49	7					4	2		1	
50	4					3	1			
51	4					2		1	1	
52	2						1	1		
53	3							1	2	
54	4				2	2				
55	4				2	2				
56										
57	5			1	1	2			1	
58	6			2		2			2	
59	3		1					2		
60						1		1	1	
61以上										

11 職員の階級別勤務年数

令和5年4月1日現在

階級 配置別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	191	1	3	5	24	29	66	9	54
平均勤続年数		36	35.7	35.4	30.7	21.3	15.4	31.9	3.8
1年未満	7								7
1	8								8
2	5								5
3	8								8
4	4								4
5	7								7
6	8						2		6
7	6						4		2
8	5						3	1	1
9	9						5		4
10	15						13		2
11	7					1	6		
12	2						2		
13	3					1	2		
14	6					3	3		
15	3						3		
16	5					1	4		
17	4					1	3		
18	3					3			
19	6				1	4	1		
20									
21	4					1	3		
22	2					2			
23	4					3	1		
24	1				1				
25	4				1	2	1		
26	1				1				
27	4				2	2			
28	4				2	1	1		
29	3				2		1		
30	7				3	2	2		
31	4				1	1		2	
32	1						1		
33	5				2	1	1	1	
34									
35	6		1	3			1	1	
36	18	1	2	2	8		2	3	
37									
38									
39									
40									
41	2						1	1	
42									
43									
44以上									

12 職員の研修

高度・多様化する行政需要の中で、消防行政を迅速に、的確に執行していくため、職員には効果的な勤務効率の発揮と消防職員としての使命感が強く求められています。

この認識にたつて消防職員としての基本的意識を徹底させるとともに職務遂行に必要な知識・技術を習得させ、意欲的に考え、行動する能力を向上させるために研修を実施しており、昭和63年以降新たな研修機関として、福岡県市町村職員研修所更に、平成7年から救急救命士養成のため救急救命研修所を加え、時代に即応した研修の充実強化に努めています。

令和4年度

機関	種別	目的	委託人員	日数
福岡県消防学校	第138回 初任教育	新たに採用された消防職員のすべてに対して行う基礎的教育訓練を行い、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。	8名	115日
	消防操法 指導員研修	消防ポンプ操法の指導員として必要な知識技術を修得し、消防団員に対し、効果的にポンプ操法の指導が行える職員を養成する。	4名	2日
	第14回 上級幹部科	原則として消防司令長以上に対し、上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備え、かつ、職務遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できる職員を養成する。	1名	3日
	第51回 初級幹部科(B)	消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	10日
	第16回 警防実務研修	消防士・消防副士長に対し、火災防ぎよを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎよ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。	2名	5日
	第20回 火災調査科	火災原因調査に係る専門的知識及び技能を修得し、これらの知識を適切に活用して火災調査業務を的確に遂行できる職員を養成する。	2名	10日
	第15回 初級幹部科(A)	消防士長に対し、分隊長(小隊長)として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	5日
	第39回救急科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。	5名	34日

福岡市消防学校	九州地区 警防実務研修	各消防本部の係長級職員を対象に、警防活動における指揮能力及び業務管理能力の向上を図ることを目的とする。	1名	10日
消防大学校	第84期 救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	1名	53日
	第111期 警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	1名	51日
九州研修所	第41期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	126日
	第2期 感染防止対策 強化研修	消防本部において感染防止対策に関するマニュアル整備、研修の企画・実施等を行う者を対象に、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染防止対策全般に対する体系的かつ短期集中的な研修を行うことにより、感染防止対策に関する知識及び技能の向上を図ることを目的とする。	1名	126日
	第1期 指導救命士 研修	救急救命士の資格を有する消防職員に対して、指導救命士に必要なとされる知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	30日
	第2期 指導救命士 研修		1名	30日
東京研修所	第62期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	126日

福岡県市町村職員研修所	情報公開・個人情報保護研修	情報管理法制(情報公開・個人情報保護制度)について、その法的仕組みと運用に関する基礎力の養成を図る。	2名	2日
	契約事務研修 (集合形式)	契約事務の遂行に必要な基本的知識・制度を学び、これからの実務で生かせる力を養う。また、契約事務に関する疑問点や問題点を解消し、理解を深めて、自治体職員としての役割を認識する。	1名	2日
	契約事務研修 (オンライン)		1名	2日
	採用試験面接力 アップ研修	面接技法を向上させ、各自治体が必要とする職員の獲得に繋がるよう面接官のレベルアップを図る。	1名	1日
	法制執務 基礎研修 (集合形式)	職務遂行に当たって必要な基礎的知識を修得する。	1名	2日
	法制執務 基礎研修 (オンライン)		1名	2日
	政策法務研修 (入門編)	地方分権改革の進展により地域の政策を自ら立案し、実施していく「自治体による政策法務」が必要とされている。自治体職員が政策を実現するための制度や仕組みをつくるための法的基礎能力を養成する。	1名	2日
	地方自治法 研修	地方公務員法についての基本的な知識だけでなく実務的な解釈を学ぶ。	1名	2日

13 職員互助会及びクラブ活動

職員の相互共済及び福利増進を目的として、福利厚生等に関するさまざまな事業を実施しています。

また体育クラブを主として、クラブ活動も積極的に行い、地域住民とのコミュニケーションを図り、より一層の消防に対する信頼性・人間形成の充実を図っています。

職員互助会の主な事業

- ボウリング大会・研修旅行・教養図書購入等の福利厚生事業を行っています。

クラブ活動

- ・ 職員のクラブ活動を応援しています。



剣道部



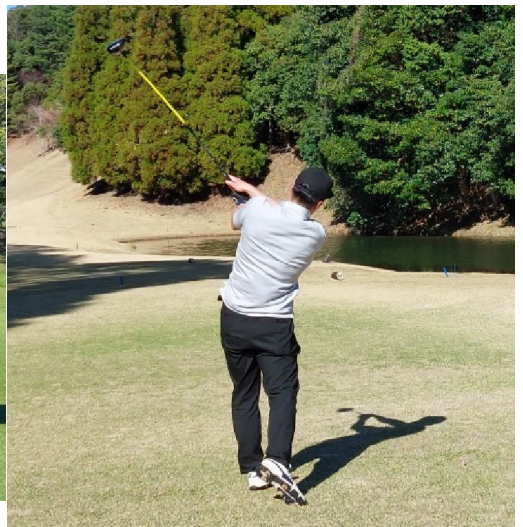
野球部



釣り倶楽部



ゴルフ部



予防編

1	防火対象物現況表	50
2	防火対象物の予防査察状況	51
3	建築確認同意事務処理状況	52
4	中高層建築物（4階以上）の現況	53
5	防火管理者選任状況	54
6	消防用設備等着工届出事務処理状況	54
7	危険物施設状況	55
8	製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況	55
9	液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況	56
10	危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況	56
11	手数料収入状況	56
12	町別危険物設置許可施設・事業所数状況	57
13	製造所等状況グラフ	57
14	粕屋南部地域防災協会	58
15	幼年・少年消防クラブ	59

1 防火対象物現況表

令和5年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別							合計
		志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	2	0	1	1	2	6
	ロ	公会堂、集会場	39	28	20	27	24	12	150
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	2	1	2	0	3	11
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	2	0	0	1	0	1	4
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	2	1	0	3
	ロ	飲食店	36	7	3	20	11	15	92
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	63	36	24	48	26	19	216
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	2	0	1	1	14	1	19
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	605	260	254	780	330	57	2286
6	イ	病院、診療所、助産所	36	20	19	20	20	4	119
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)	9	9	7	9	9	7	50
	ハ	6項口以外の社会福祉施設等	27	42	19	28	19	10	145
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	4	1	3	3	1	17
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	15	25	17	16	11	6	90
8		図書館、博物館、美術館の類	0	1	2	1	0	0	4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	1	0	0	0	1
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	0	0	0	1	2	0	3
11		神社、寺院、教会の類	20	7	10	14	34	11	96
12	イ	工場、作業場	149	212	221	173	70	64	889
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	17	20	22	18	14	9	100
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	193	218	189	331	73	77	1081
15		全各号に該当しない事業所	166	112	89	193	84	64	708
16	イ	特定複合用途防火対象物	85	30	27	63	39	16	260
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	57	36	20	72	30	9	224
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		文化財	1	0	0	0	0	0	1
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0	0	0
合 計			1530	1071	947	1824	815	388	6575

2 防火対象物の予防査察状況

令和5年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別	対象物数	査 察 数						合計
				志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	6		1		1		2	4
	ロ	公会堂、集会場	150	7	3	4	6	4	2	26
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0							0
	ロ	遊技場、ダンスホール	11	3	1	1	2		3	10
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0							0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	4	2			1		1	4
3	イ	待合、料理店の類	3							0
	ロ	飲食店	92	7	4		2	1	9	23
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	216	32	14	8	15	11	11	91
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	19	2		1	1	10		14
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	2286				25	9		34
6	イ	病院、診療所、助産所	119	10	3	3	7	8	1	32
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)	50	5	4	6	6	7	5	33
	ハ	6項ロ以外の社会福祉施設等	145	12	20	6	13	7	5	63
	ニ	幼稚園、特別支援学校	17	5	4	1	1	3	1	15
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	90	3	10		16		3	32
8		図書館、博物館、美術館の類	4		1	1	1			3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0							0
	ロ	イ以外の公衆浴場	1							0
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	3							0
11		神社、寺院、教会の類	96		1	2		6	4	13
12	イ	工場、作業場	889	10	39	36	42	14	24	165
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0							0
13	イ	自動車車庫、駐車場	100	3	7	5	5	2	4	26
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0							0
14		倉庫	1081	26	52	42	96	18	22	256
15		全各号に該当しない事業所	708	15	18	15	41	14	19	122
16	イ	特定複合用途防火対象物	260	26	10	14	35	18	13	116
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	224	7	4		14	5	3	33
17		文化財	1							0
18		アーケード	0							0
19		市町村長の指定する山林	0							0
20		総務省令で定める舟車	0							0
合 計			6575	175	196	145	330	137	132	1115

3 建築確認同意事務処理状況

令和5年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別						合計	
		志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						0	
	ロ	公会堂、集会場						0	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類						0	
	ロ	遊技場、ダンスホール						0	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類						0	
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗						0	
3	イ	待合、料理店の類						0	
	ロ	飲食店						0	
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	2		1	6	1	11	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所						0	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	4		1	7	5	1	18
6	イ	病院、診療所、助産所		2	1	1			4
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)					3		3
	ハ	6項口以外の社会福祉施設等	4		2	2	1		9
	ニ	幼稚園、特別支援学校							0
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類				3		3	
8		図書館、博物館、美術館の類						0	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類						0	
	ロ	イ以外の公衆浴場			1				1
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場						0	
11		神社、寺院、教会の類	2					2	
12	イ	工場、作業場		4	3	2	4	1	14
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							0
13	イ	自動車庫庫、駐車場	1	2		1	1	1	6
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫							0
14		倉庫	6	9	2	5	4	9	35
15		全各号に該当しない事業所	4	6	5	8	11	4	38
16	イ	特定複合用途防火対象物	1	1	3	2			7
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1		1			2
17		文化財							0
専 用 住 宅			10	25	25	8	8	3	79
併 用 住 宅									0
長 屋 式 住 宅			5	8	2	8	4		27
その他(農業用倉庫)			2			2			4
合 計			41	58	46	56	39	23	263

4 中高層建築物(4階以上)の現況

令和5年3月31日現在

15 F	5
14 F	8
13 F	3
12 F	6
11 F	16
10 F	20
9 F	23
8 F	39
7 F	57
6 F	114
5 F	194
4 F	316
合 計	801

志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町
	1		1	3	
2			4	2	
			1	2	
3		1	1	1	
4			7	5	
3	1		11	5	
2	1	1	14	5	
6	1	3	19	10	
30	1	1	15	9	1
37	6		44	27	
68	27	17	57	23	2
93	34	22	102	58	7
248	72	45	276	150	10



・R4.6/2
 ・R4.9/22
 ・R5.1/16
 ・R5.2.15
 ・R4.7/29

第1回甲種防火管理新規講習 修了者39名
 第2回甲種防火管理新規講習 修了者35名
 第3回甲種防火管理新規講習 修了者8名
 甲種防火管理再講習 修了者35名
 乙種防火管理新規講習 修了者8名

5 防火管理者選任状況

令和5年3月31日現在

町名	種別	選任義務 対象物数	選任済 対象物	選任率
志免町	甲種	340	237	70 %
	乙種	68	40	59 %
宇美町	甲種	150	125	83 %
	乙種	36	14	39 %
須恵町	甲種	117	95	81 %
	乙種	20	6	30 %
粕屋町	甲種	346	281	81 %
	乙種	40	35	88 %
篠栗町	甲種	204	160	78 %
	乙種	23	14	61 %
久山町	甲種	90	80	89 %
	乙種	15	10	67 %
合計	甲種	1247	978	78 %
	乙種	202	119	59 %

6 消防用設備等着工届事務処理状況

令和4年度中

区分	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
屋内消火栓設備	1	2	2	7	3	5	20
スプリンクラー設備	1			4		1	6
特定施設水道連結型 スプリンクラー設備			1			1	2
泡消火設備	1		1				2
ハロゲン化物消火設備							0
屋外消火栓設備		1		1	1	2	5
自動火災報知設備	9	15	16	34	7	10	91
消防機関へ通報する 火災報知設備	1	4	1	3		5	14
非常警報設備	3			6		1	10
避難器具	2	1		11	4		18
誘導灯	1	4	3	3	4	2	17
連結送水管	1			3	2		6
共同住宅用自動火災報知設備	1	1		3	2		7
パッケージ型消火設備		2				1	3
合計	21	30	24	75	23	28	201

7 危険物施設状況

令和5年3月31日現在

製造所等の別 区分		計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
施設数	前年度末	458	13	272	93	30	11	59		57	22	173	137	1	35	
	今年度末	466	12	281	94	29	11	57		67	23	173	137	1	35	
施設別	5倍以下	118	3	101	35	9	9	25		19	4	14	4		10	
	5倍を超え10倍以下	93	2	58	25	6	2	10		13	2	33	16		17	
	10 " 50 "	152	6	76	27	9		19		4	17	70	62	1	7	
	50 " 100 "	43	1	28	2	3		3		20		14	13		1	
	100 " 150 "	16		13	1	1				11		3	3			
	150 " 200 "	4		1		1						3	3			
	200 " 1000 "	40		4	4							36	36			
	1000 " 5000 "	0		0								0				
類別	単独	第1類	0		0							0				
		第2類	0		0							0				
		第3類	0		0							0				
		第4類	460	11	276	89	29	11	57		67	23	173	137	1	35
		第5類	0		0								0			
		第6類	0		0								0			
	混在	6	1	5	5							0				

8 製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況

製造所等の別 区分		計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
許可	設置	5		5	1					3	1					
	変更	18		2	1					1		16	9		7	
	常置場所 変更	他許可行政庁に転出	2		2						2					
		他許可行政庁から転入	12		12						12					
完成検査	設置	3		3	1					1	1					
	変更	16		2	1					1		14	10		4	
	他許可行政庁から転入	12		12						12						
廃止		7	1	6		1		2		3						
検査前設置許可の取り消し																

9 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

令和4年度

合 計	水 張 検 査				
	小 計	10kl以下	10klを超え 1,000kl.以下	1,000klを超え 2,000kl.以下	2,000kl.を 超えるもの
108	108	106	2		

水 圧 検 査				
小 計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kl.以下	10klを超え 20kl.以下	20kl.を 超えるもの
0				

10 危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況

仮 使 用														仮 貯 蔵	仮 取 扱
計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
14		1	1							13	7		6	33	2

11 手数料収入状況

(単位:千円)

合 計	許 可 手 数 料			完 成 検 査 手 数 料		
	小 計	設 置	変 更	小 計	設 置	変 更
1960	684	111	573	296	29	267

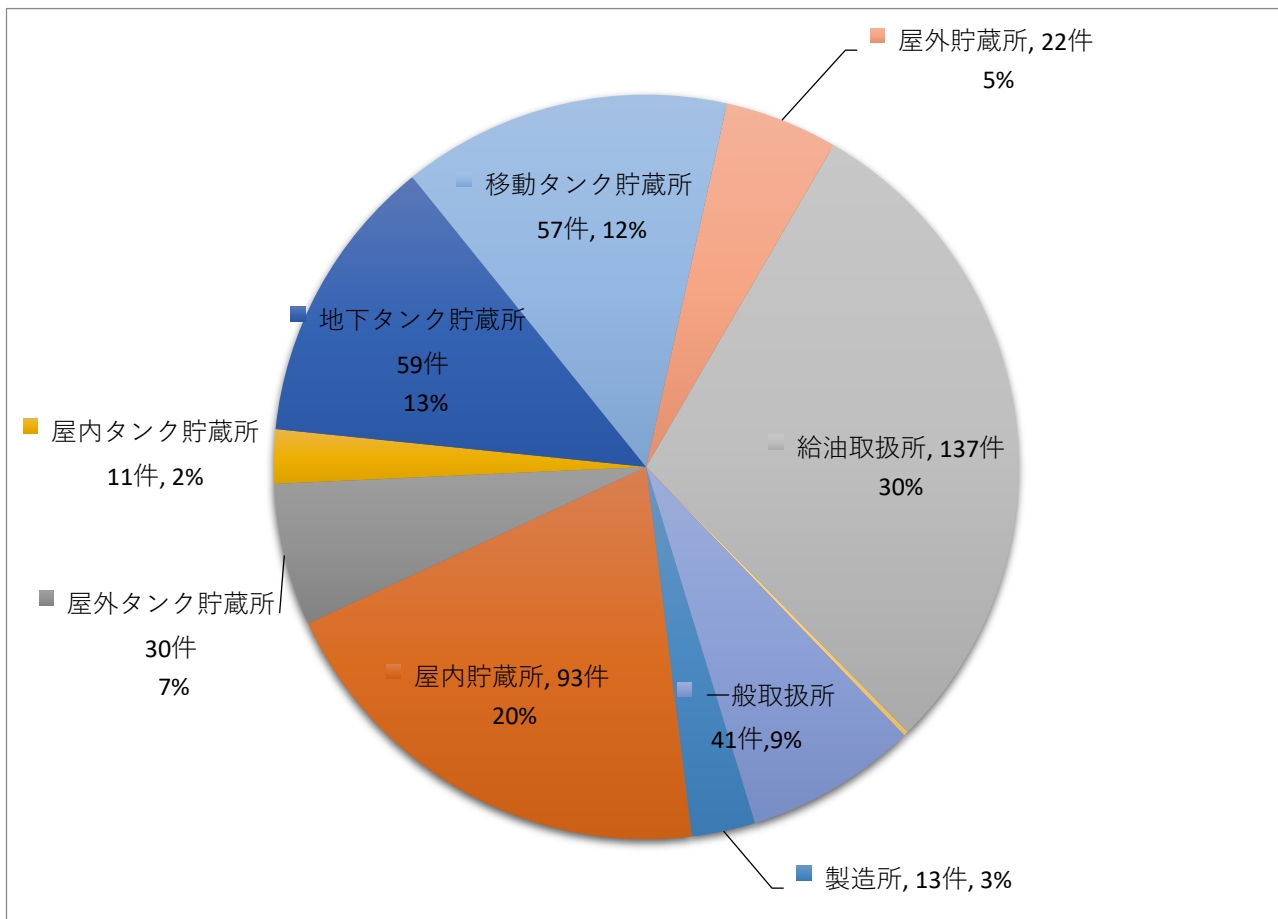
完成検査前検査手数料			仮貯蔵、仮取扱及び仮使用手数料			
小 計	水張検査	水圧検査	小 計	仮貯蔵 手数料	仮取扱 手数料	仮使用 手数料
715	674	41	265	178	11	76

12 町別危険物設置許可施設・事業所数状況

令和5年3月31日現在

町名	計	製造所	貯蔵所								取扱所				事業所数
			小計	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
志免町	80	3	49	27	3	2	13		3	1	28	20	1	7	45
宇美町	87		50	18	11	2	12		6	1	37	27		10	56
須恵町	78	1	54	11	4		7		32		23	18		5	37
粕屋町	118	7	71	19	7	1	9		15	20	40	36		4	61
篠栗町	44	1	28	6	3	3	7		9		15	9		6	30
久山町	59		29	13	1	3	9		2	1	30	27		3	42
合計	466	12	281	94	29	11	57		67	23	173	137	1	35	271

13 製造所等状況グラフ



14 粕屋南部地域防災協会

昭和51年6月、粕屋南部(志免、宇美、須恵)の石油販売を業とする事業所を主体として、危険物災害の発生防止と安全推進の為、設立されました。

昭和62年4月には、中部地区(粕屋、篠栗、久山)の加入に伴い組織・機構の強化が図られ、危険物はもとより防火管理業務に起因する災害の防止に努め、自主防災確立を目的として、安全・安心な職場作りと明るい町づくりを推進しています。

令和4年度の主な事業

令和4年4月21日

●定例総会

令和4年6月1日～2日(2日間)

●第1回甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和4年6月5日～11日(危険物安全週間)

●危険物施設安全週間啓発ポスター配布

令和4年6月10日

●危険物施設消防演習(サカタインクス)

令和4年6月11日

●第1回危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和4年7月7日、7月14日

●普通救命講習(南部消防署・中部消防署)

令和4年9月9日

●第36回親善ボウリング大会(粕屋町 仲原Jボウル)

中止

令和4年9月16日

●福岡県危険物安全協会福岡地区会議

中止

令和4年9月21日～22日(2日間)

●第2回甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和4年10月22日

●第2回危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和4年10月21日

●第32回屋内消火栓・消火器操法大会(中部消防署)

中止

令和4年11月17日

●小児・乳児に対する救命講習(消防本部防災シアター)

令和4年12月3日

●防災防犯フェア

令和5年1月12日

●会報誌「防災かすやなんぶ75号」発行

令和5年1月17日～18日(2日間)

●防災協会会員事業所対象

甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和5年1月28日

●第3回危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和5年2月10日

●役員視察研修

中止

令和5年2月15日

●甲種防火管理者再講習(消防本部研修室)

<会員事業所内訳(209事業所)>

令和5年4月1日現在

石油部会 36	LPガス部会 19	少量危険物部会 1	工場部会 47
医療福祉部会 38	大店舗部会 8	運輸倉庫部会 43	旅館料飲部会 1
一般部会 16			

令和4年度役員

会 長	副 会 長	理 事			監 事
百濟敏美	中西達也 三宅史員 佐道和記 牛房良幸	安川和久 古藤英紀 稲永政貴 梶 陽嘉	嶋田謙二 高倉 徹 谷口幹夫 諸石 豊	樋口寿次 藤 康則 久芳貴浩 清竹健一	飯田泰弘 今任輝彦 井上裕紀 青木義典

15 幼年・少年消防クラブ

幼年組織現況

32クラブ

1,165 人

令和5年4月1日時点

町 名	クラブ名称(クラブ員数)	合 計
志 免	志免中央幼稚園 (94) かめやま保育園 (37) 志免東保育園 (23) 志免あおぞら保育園 (25) 志免南保育園 (28) 別府つくし保育園 (34) 志免幼稚園 (51) タンポポ保育園 (26) 洞清寺あかつき幼稚園 (57)	375 人
宇 美	宇美八幡宮保育園 (20) 宇美幼稚園 (47) 貴船保育園 (18) 博多第二幼稚園 (75) 早見保育園 (21) 原田保育園 (21) 柳原ふらす保育園 (23)	225 人
須 恵	れいんぼ一幼児園 (70) アザレア幼児園 (64) わかすぎの杜保育園 (24) 須恵南幼稚園 (33)	191 人
粕 屋	大川保育園 (35) 大川幼稚園 (23) 中央保育園 (21) 仲原幼稚園 (20) 西保育園 (61)	160 人
篠 栗	栗の子保育園 (37) 篠栗保育園 (21) 篠栗どろんこ保育園 (14) 勢門幼児園 (26) 勢門幼稚園 (46) 和田幼稚園 (42)	186 人
久 山	ひさやま保育園 (28) 杜の郷	28 人

少年消防クラブ

少年組織現況

1クラブ

8 人

篠 栗	篠栗小学校萩尾分校 (8)	8 人
-----	-----------------	-----



警防編

警防

1	車両保有状況	62
2	消防車両紹介	63
3	火災の総括	66
4	火災の総括表	67
	① 前年比較総括表	
	② 月別総括表	
	③ 町別総括表・南部管内3ヶ町	
	④ 町別総括表・中部管内3ヶ町	
5	火災件数	70
	① 月別火災件数	
	② 曜日別火災件数	
	③ 時間別火災件数	
	④ 覚知別火災件数	
	⑤ 気象別火災件数	
6	建物火災における罹災状況	73
7	出火原因の状況	74
8	過去5年間の推移	75
	① 火災発生件数及び損害額状況	
	② 出火率及び管内総人口状況	
	③ 火災種別	
	④ 主な出火原因	
	⑤ 地域別火災件数	
9	月別・各町建物火災総括表	79
10	消防水利状況	80

救急

1	救急の総括	81
2	救急の概要	83

救急

3	出動状況	83
	① 事故種別出動件数前年比	
	② 出動件数の推移	
	③ 救急1件あたりの人口推移・世帯推移	
	④ 町別出動件数	
	⑤ 月別・事故種別出動件数	
	⑥ 事故種別・時刻別出動件数	
4	搬送状況	87
	① 事故種別程度別搬送状況	
	② 程度別搬送人員の推移	
	③ 年齢別・事故種別搬送状況	
	④ 高齢者搬送状況（過去5年間）	
	⑤ 管内・管外搬送状況	
	⑥ 事故種別・医療機関別搬送状況	
5	所要時間	91
6	救急隊員の行った応急処置件数	92
7	不搬送状況	93
8	応急手当の普及啓発活動状況	93

救助

1	救助の総括	94
2	救助の概要	95
3	救助機械器具等の保有状況	98

通信

1	通信指令系統図	99
2	月別119着信数内訳	100
3	類別119着信割合	100

1 車両保有状況

令和5年4月1日現在

所属	無線呼出	車種別	車名	購入先	登録年月日	車検満了日	更新予定年度 (第5次整備計画)	運転資格	備考
		登録番号	型式	機装・保守				総重量	
本部車両		警防連絡車	トヨタ プリウス	篠栗モーター	平成23年3月2日	令和6年3月1日	令和7年度 令和4年度中部署移管	普通 1,585	警防課管理 令和5年度 緊急連絡車納車後に移管
		福岡 301 め 21-22	DAA-ZVW30						
		総務連絡車	ニッサン セレナ	吉村自動車	平成22年2月23日	令和5年2月22日	令和6年度	普通 2,060	総務課管理
		福岡 502 ほ 17-18	DBA-C25						
		予防査察車	ホンダ Nボックス	篠栗モーター	平成25年2月7日	令和6年2月6日	令和9年度	普通 1,150	予防課管理
		福岡 581 い 55-59	DBA-JF1						
		防災指導車	トヨタ アイリス	篠栗モーター	平成24年3月21日	令和5年3月20日	令和8年度	普通 1,845	予防課管理 防災協会寄贈
		福岡 502 ら 57-52	DBA-ZGM11G						
南部署車両	支援1	支援車	日野レンジャー	モリタ	令和3年11月25日	令和4年11月24日 (毎年車検)	令和21年度	大型 10,350	支援車Ⅲ型 緊急消防援助隊 後方支援小隊登録 福岡国際空港(株)地域共生事業費助成
		福岡 830 さ 21-11	2KG-GX2ABA	坪井特殊車体					
	指揮1	指揮調査車	トヨタハイエース	消防防災	平成30年3月13日	令和4年3月12日	令和17年	普通 3,210	4WD
		福岡 830 せ 18-01	CBF-TRH226S						
	粕南1	タンク車	日野レンジャー	消防防災	平成29年1月25日	令和5年1月24日	令和10年	中型 10,700	Ⅱ型 4WD 水2.0t積載 空港環境整備協会助成
		福岡 830 す 17-01	SDG-GX7JGAA改	日本機械					
	化学1	化学車	日野レンジャー	消防防災	平成26年1月22日	令和6年1月21日	令和7年	大型 11,130	Ⅱ型 4WD 水1.3t 薬0.25t×2積載 (水1.55t 薬0.25t×1積載中)
		福岡 831 す 119	SDG-GX7JGAA改	日本機械					
	救助1	救助工作車	日野レンジャー	キンパイ	平成28年3月16日	令和6年3月15日	令和15年	大型 11,790	緊急消防援助隊 救助小隊登録 救助工作車Ⅲ型 4WD
		福岡 830 さ 16-01	SDG-GX7JGAA改	テイセンテクノ					
	梯子1	はしご車	日野 スーパートルフィンプロフィア	モリタ	平成14年2月22日	令和6年2月26日	令和5年度	大型 21,950	水路管付40m級はしご車
		福岡 830 ち 119	KL-FW4FTHA	モリタテクノス					
	粕南5	非常用消防車	三菱FUSO ファイター	福岡トーハツ	平成13年1月30日	令和5年2月3日	令和4年度廃車	中型 9,150	Ⅱ型 水2.0t積載 車両を廃車化
		福岡 800 は 337	KK-FK61HGX	吉谷ポンプ					
救急1	救急車1	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	平成30年1月9日	令和6年1月8日	令和6年度	普通 3,155	高規格救急車 4WD 寄贈(タイラーⅡ)	
	福岡 801 の 11-11	CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト						
救急2	救急車2	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	令和4年1月6日	令和6年1月5日	令和10年度	普通 3,215	緊急消防援助隊 救急小隊登録 高規格救急車 4WD	
	福岡 830 せ 22-01	3BF-TRH226S	トヨタカスタマイジング						
救急7	救急車7	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	平成26年12月10日	令和4年12月9日	令和4年度	普通 3,215	高規格救急車 4WD 空港環境整備協会助成	
	福岡 800 せ 47-30	CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト						
		査察車	トヨタ ノア	篠栗モーター	平成24年1月24日	令和5年1月23日	令和8年度	普通 2,020	
		福岡 502 ゆ 91-93	DBA-ZRR70G						
		ミニバイク1	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かすや南ライオンズクラブ寄贈
		志免町 公・418	BA-AA01						
		ミニバイク2	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かすや南ライオンズクラブ寄贈
		志免町 公・420	BA-AA01						
中部署車両	支援2	支援車	トヨタ コースター	福岡トーハツ	平成15年9月24日	令和4年9月24日 (毎年車検)	令和6年度	中型 3,955	
		福岡 800 す 15-24	KK-HZB46V	福岡トヨタ自動車					
	指揮2	指揮調査車	トヨタハイエース	消防防災	平成29年1月26日	令和5年1月25日	令和14年度	普通 3,210	4WD
		福岡 830 さ 17-02	CBF-TRH226S						
	粕南2	タンク車	日野レンジャー	福岡トーハツ	令和3年2月3日	令和5年2月2日	令和18年度	大型 11,720	緊急消防援助隊 消火小隊登録 Ⅱ型 水2.0t積載 4WD 福岡国際空港(株)地域共生事業費助成
		福岡 830 さ 21-02	2KG-GX2ABA	吉谷ポンプ					
	化学2	化学車	三菱FUSO ファイター	福岡トーハツ	平成16年1月26日	令和6年1月28日	令和4年度	大型 11,620	Ⅱ型 水1.5t 薬0.25t×2積載 (水1.75t 薬0.25t×1積載中)
		福岡 830 の 119	KK-FK61HGY	吉谷ポンプ					
	救助2	救助工作車	日野 レンジャー	キンパイ	平成23年2月24日	令和5年2月24日	令和10年度	大型 11,050	救助工作車Ⅱ型 4WD 車両を更新し の-119は非常
		福岡 830 り 119	BDC-GX7JGWA改	テイセンテクノ					
	粕南4	非常用消防車	三菱FUSO ファイター	福岡トーハツ	平成14年11月8日	令和4年11月18日	令和6年度廃車	中型 9,180	Ⅱ型 水2.0t積載
		福岡 830 て 119	KK-FK61HGX	吉谷ポンプ					
救急3	救急車3	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	平成29年1月10日	令和5年1月9日	令和5年度	普通 3,175	高規格救急車 4WD	
	福岡 830 さ 17-06	CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト						
救急4	救急車4	トヨタハイエース	福岡トヨタ自動車	令和2年11月17日	令和4年11月16日	令和9年度	普通 3,230	緊急消防援助隊 救急小隊登録 災害対応特殊救急自動車 4WD 福岡国際空港(株)地域共生事業費助成	
	福岡 830 せ 20-11	3BF-TRH226S	トヨタテクノクラフト						
救急6	救急車6(非常用)	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	平成26年1月16日	令和6年1月21日	令和8年度更新	普通 3,265	高規格救急車 4WD	
	福岡 800 せ 38-84	CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト						
		査察車	トヨタ ノア	伊藤自動車	平成23年8月19日	令和4年8月18日	令和8年度	普通 2,020	
		福岡 502 も 49-39	DBA-ZRR70G						
		ミニバイク4	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かすや南ライオンズクラブ寄贈
		志免町 公・422	BA-AA01						
		ミニバイク5	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かすや南ライオンズクラブ寄贈
		志免町 公・423	BA-AA01						
西出張所	粕南3	タンク車	日野レンジャー	福岡トーハツ	平成30年2月21日	令和6年2月20日	令和14年度	中型 10,960	Ⅱ型 水2.0t積載 4WD 空港環境整備協会助成
		福岡 830 さ 18-03	2KG-GX2ABA	吉谷ポンプ					
	救急5	救急車5	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	平成28年2月9日	令和6年2月8日	令和4年度	普通 3,165	高規格救急車 4WD
		福岡 830 さ 16-05	CBF-TRH226S	トヨタテクノクラフト					
		査察車2	スズキエブリイ	今任自動車	平成28年5月20日	令和4年5月19日	令和12年度	普通 1,320	
		福岡 480 ち 62-09	HBD-DA17V						
		ミニバイク3	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かすや南ライオンズクラブ寄贈
		志免町 公・421	BA-AA01						

2 消防車両紹介

南部消防署

指揮調査車



- ・災害現場で現場消防本部を設置、指揮活動
- ・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

タンク車



- ・水槽付消防ポンプ自動車 ・4WD
- ・水槽 2.0t

化学車



- ・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型 ・4WD
- ・水槽 1.3t 泡原液槽 0.5t

救助工作車



- ・救助工作車Ⅲ型 ・4WD ・高度救助資機材積載
- ・緊急消防援助隊 救助小隊登録車両

はしご車



- ・水路管付 40m 級はしご自動車

支援車1



- ・資機材搬送や人員搬送に活躍
- ・緊急消防援助隊 後方支援小隊登録車両

非常用消防車(タンク車)



- ・水槽付消防ポンプ自動車 ・水槽 2.0t
- ・高圧ポンプ積載

救急車1



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・タイラーⅡ号

救急車2



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・災害対応特殊救急自動車
- ・緊急消防援助隊 救急小隊登録車両

非常用救急車(救急車7)



- ・高規格救急車 ・4WD



中部消防署

指揮調査車



- ・災害現場で現場消防本部を設置
- ・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

タンク車



- ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
- ・水槽 2.0t ・4WD
- ・緊急消防援助隊 消火小隊登録車両

化学車



- ・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
- ・水槽 1.5t 泡原液槽 0.5t 積載
- ・高圧ポンプによる放水が可能

救助工作車



- ・救助工作車Ⅱ型 ・4WD

非常用消防車



- ・水タンク付消防ポンプ自動車 ・水タンク 2.0t
- ・高圧ポンプ積載

支援車 2



- ・資機材搬送や人員搬送に活躍

救急車3



- ・高規格救急車 ・4WD

救急車4



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・災害対応特殊救急自動車
- ・緊急消防援助隊 救急小隊登録車両

非常用救急車(救急車6)



- ・高規格救急車 ・4WD



西出張所

タンク車



- ・水タンク付き消防ポンプ自動車 ・4WD
- ・水タンク 2.0t

高規格救急車5



- ・高規格救急車 ・4WD

3 火災の総括

① 発生状況及び出火率

令和4年中(令和4年1月1日～令和4年12月31日)における火災件数は28件で、前年から15件減少している。前年比の内訳は、車両火災が8件減少し、その他火災が1件増加、林野火災は横ばいであった。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が16件(57.1%)と最も多く、次いで車両火災が5件(17.8%)、その他火災(建物、車両、林野火災に該当しないもの)が7件(25%)、林野火災が0件となっている。

出火件数を月別に見ると、10月が最も多く5件、次いで4月・7月が4件、1月・2月・3月・6月・8月・11月が2件、5月・9月・12月が1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が6件(37.5%)、共同住宅が2件(12.5%)、併用住宅が1件(6.3%)、店舗が2件(12.5%)、工場・作業場が3件(18.8%)、倉庫が0件、事務所が1件(6.3%)、その他が1件(6.3%)となっている。

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は1.4件で、前年から0.7件減少している。この数値は、前年(令和3年中)の全国平均出火率2.8件より1.4件少ない数値である。

② 死傷者

火災による死者は2人(前年1人)で、負傷者は1人(前年7人)である。

③ 焼損状況及び損害額

焼損棟数は21棟で、前年の49棟より28棟減少し、火元建物の焼損床面積は464.0㎡で、前年の661.0㎡より197.0㎡減少している。

火災による損害額は44,205千円で、前年の101,105千円より、56,900千円減少している。

④ 出火原因

出火原因で最も多かったのが、火入れ3件(前年0件)。次いで、たばこ、こんろ、電灯・電話等の配線、溶断機・切断機、放火がそれぞれ2件の順となっている。

◆令和4年火災総括表

総火災件数		28 件
火災種別	建物	16 件
	林野	0 件
	車両	5 件
	その他	7 件
焼損棟数		21 棟
罹災世帯		13 世帯
罹災人員		32 人
建物焼損床面積(火元)		464.0 m ²
" (類焼)		0.0 m ²
建物焼損表面積(火元)		4.0 m ²
" (類焼)		39.0 m ²
林野焼損面積		0.0 アール
死者		2 人
負傷者		1 人
総損害額		44,205 千円
内訳	建物	43,157 千円
	林野	0 千円
	車両	882 千円
	その他	166 千円

◆各種別平均

件数	
1か月当り	2.3 件
1日当り	0.08 件
損害額	
1件当り	1,578.8 千円
1か月当り	3,683.8 千円
1日当り	121.1 千円
1時間当り	5.0 千円
1分当り	0.1 千円
焼損床面積(建物火災・火元)	
1件当り	29.0 m ²
1か月当り	38.7 m ²
1日当り	1.3 m ²

出火率 (人口1万人当り)

1.4 件

◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	火入れ	3件
2位	たばこ	2件
	こんろ	
	電灯・電話等の配線	
	溶断機・切断機	
	放火	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。

4 火災の総括表

① 前年比較総括表

区分		単位	令和4年	令和3年	前年比	
火災件数	計	件	28	43	△ 15	
	建物	〃	16	24	△ 8	
	林野	〃	0	0	0	
	車両	〃	5	13	△ 8	
	その他	〃	7	6	1	
焼損面積	建物	床面積(火元)	m ²	464.0	661.0	△ 197.0
		〃 (類焼)	〃	0.0	266.0	△ 266.0
		表面積(火元)	〃	4.0	22.0	△ 18.0
		〃 (類焼)	〃	39.0	62.0	△ 23.0
	林野	a	0.0	0.0	0.0	
焼損棟数	計	棟	21	49	△ 28	
	全焼	〃	3	9	△ 6	
	半焼	〃	0	4	△ 4	
	部分焼	〃	5	21	△ 16	
	ぼや	〃	13	15	△ 2	
損害額	計	千円	44,205	101,105	△ 56,900	
	建物	〃	43,157	95,366	△ 52,209	
	林野	〃	0	0	0	
	車両	〃	882	5,638	△ 4,756	
	その他	〃	166	101	65	
死者	人	2	1	1		
負傷者	〃	1	7	△ 6		
罹災世帯	計	世帯	13	23	△ 10	
	全損	〃	4	3	1	
	半損	〃	0	1	△ 1	
	小損	〃	9	19	△ 10	
罹災人員	人	32	68	△ 36		
管内人口	〃	202,227	202,013	214		
管内世帯数	世帯	88,886	87,678	1,208		
1人当りの損害額	円	219	500	△ 281		
1世帯当りの損害額	千円	0.5	1.2	△ 0.7		
出火率	件	1.4	2.1	△ 0.7		

② 月別総括表

月別	区分		火災種別					焼損面積			内訳				
	火災件数	建物	内訳		林野	車両	その他	床面積 m ²	表面積 m ²	林野 a	焼損棟数	全焼	半焼	部分焼	ぼや
			住家	非住家											
1	2	2		2				4			2			1	1
2	2	1	1				1	130			1	1			
3	2	2	1	1				237			2	1			1
4	4	1		1		3			3		1			1	
5	1						1								
6	2	2	1	1				10			2			1	1
7	4					2	2								
8	2	1	1				1		1		1				1
9	1	1	1								1				1
10	5	4	3	1			1	1			4				4
11	2	1	1				1	82			1	1			
12	1	1		1							1				1
計	28	16	9	7		5	7	464	4		16	3		3	10

月別	区分		内訳			罹災人員数	死者	負傷者	損害額 (千円)	内訳			
	罹災世帯数	全損	半損	小損	建物					林野	車両	その他	
1								376	376				
2	2	2			4			13,854	13,854				
3	2	1		1	7	1		19,470	19,470				
4								836	12		824		
5								1					1
6	1			1	2			559	559				
7								169			58		111
8	1			1	5			34	31				3
9	1			1	1			5	5				
10	3			3	6	1		197	147				50
11	3	1		2	7	1		8,696	8,695				1
12								8	8				
計	13	4		9	32	2	1	44,205	43,157		882		166

③ 町別総括表・南部管内3か町

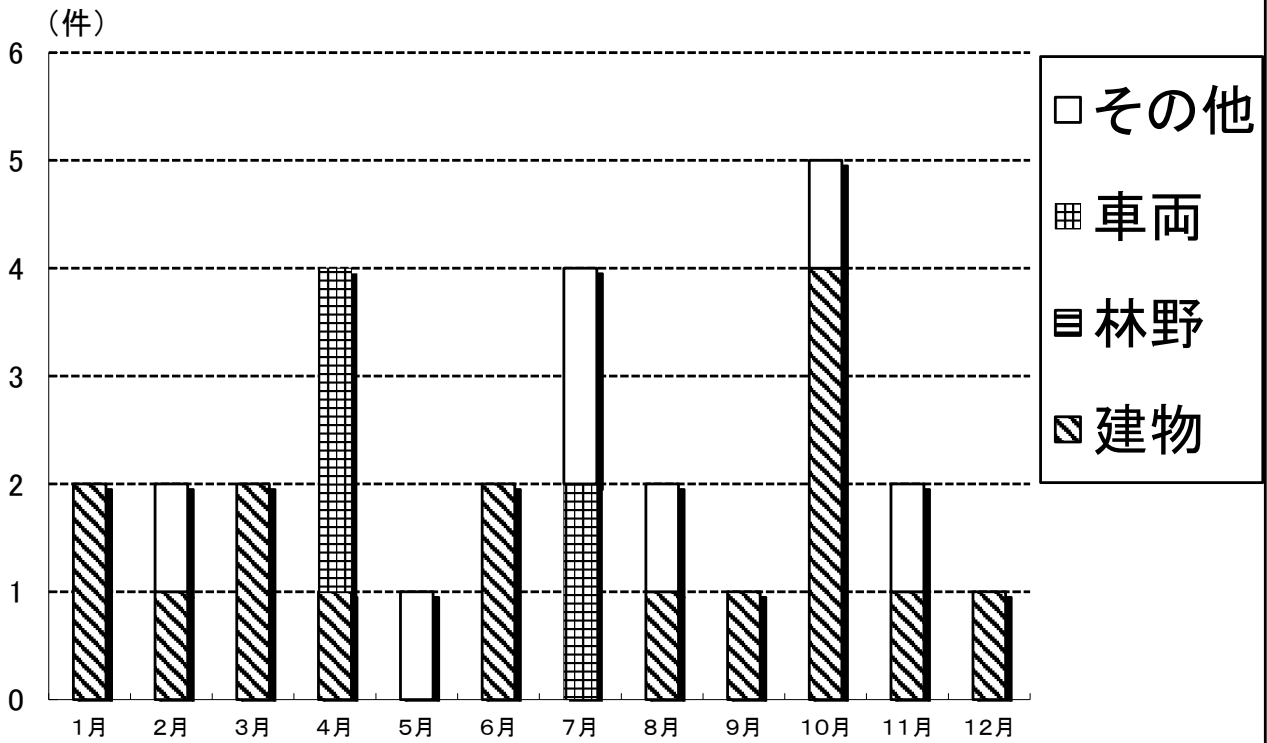
区分			志免町			宇美町			須恵町			南部署合計		
			令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比
火災件数	計	件	6	3	3	4	11	△ 7	4	7	△ 3	14	21	△ 7
	建物	"	4	2	2	3	8	△ 5	2	3	△ 1	9	13	△ 4
	林野	"												
	車両	"	1	1			1	△ 1	1	3	△ 2	2	5	△ 3
	その他	"	1		1	1	2	△ 1	1	1		3	3	
焼損面積	建物	床面積 ㎡	247.0	8.0	239.0	85.0	328.0	△ 243.0	130.0	121.0	9.0	462.0	457.0	5.0
		火元 類焼					93.0	△ 93.0					93.0	△ 93.0
	表面積 ㎡	火元					2.0	△ 2.0					2.0	△ 2.0
		類焼					19.0	△ 19.0		41.0	△ 41.0		60.0	△ 60.0
	林野	a												
焼損棟数	計	棟	4	2	2	3	21	△ 18	2	6	△ 4	9	29	△ 20
	全焼	"	1		1	1	6	△ 5	1	1		3	7	△ 4
	半焼	"												
	部分焼	"	1	1		1	9	△ 8		4	△ 4	2	14	△ 12
	ぼや	"	2	1	1	1	6	△ 5	1	1		4	8	△ 4
損害額	計	千円	18,887	4,349	14,538	10,168	50,951	△ 40,783	14,349	12,049	2,300	43,404	67,349	△ 23,945
	建物	"	18,884	4,279	14,605	10,168	50,779	△ 40,611	13,976	11,120	2,856	43,028	66,178	△ 23,150
	林野	"												
	車両	"	2	70	△ 68		172	△ 172	270	929	△ 659	272	1,171	△ 899
	その他	"	1		1	1			103		103	104		104
死者	人	1		1	1	1					2	1	1	
負傷者	"		2	△ 2								2	△ 2	
罹災世帯	計	世帯	4	1	3	3	14	△ 11	2	3	△ 1	9	18	△ 9
	全損	"	1		1	1	2	△ 1	2		2	4	2	2
	半損	"												
	小損	"	3	1	2	2	12	△ 10		3	△ 3	5	16	△ 11
罹災人員	人	10	4	6	7	40	△ 33	4	7	△ 3	21	51	△ 30	
人口	"	46,561	46,575	△ 14	37,119	37,250	△ 131	29,270	29,045	225	112,950	112,870	80	
世帯数	世帯	20,649	20,492	157	16,464	16,267	197	12,651	12,368	283	49,764	49,127	637	
出火率		1.3	0.6	0.7	1.1	3.0	△ 1.9	1.4	2.4	△ 1.0	1.2	1.9	△ 0.7	

④ 町別総括表・中部管内3か町

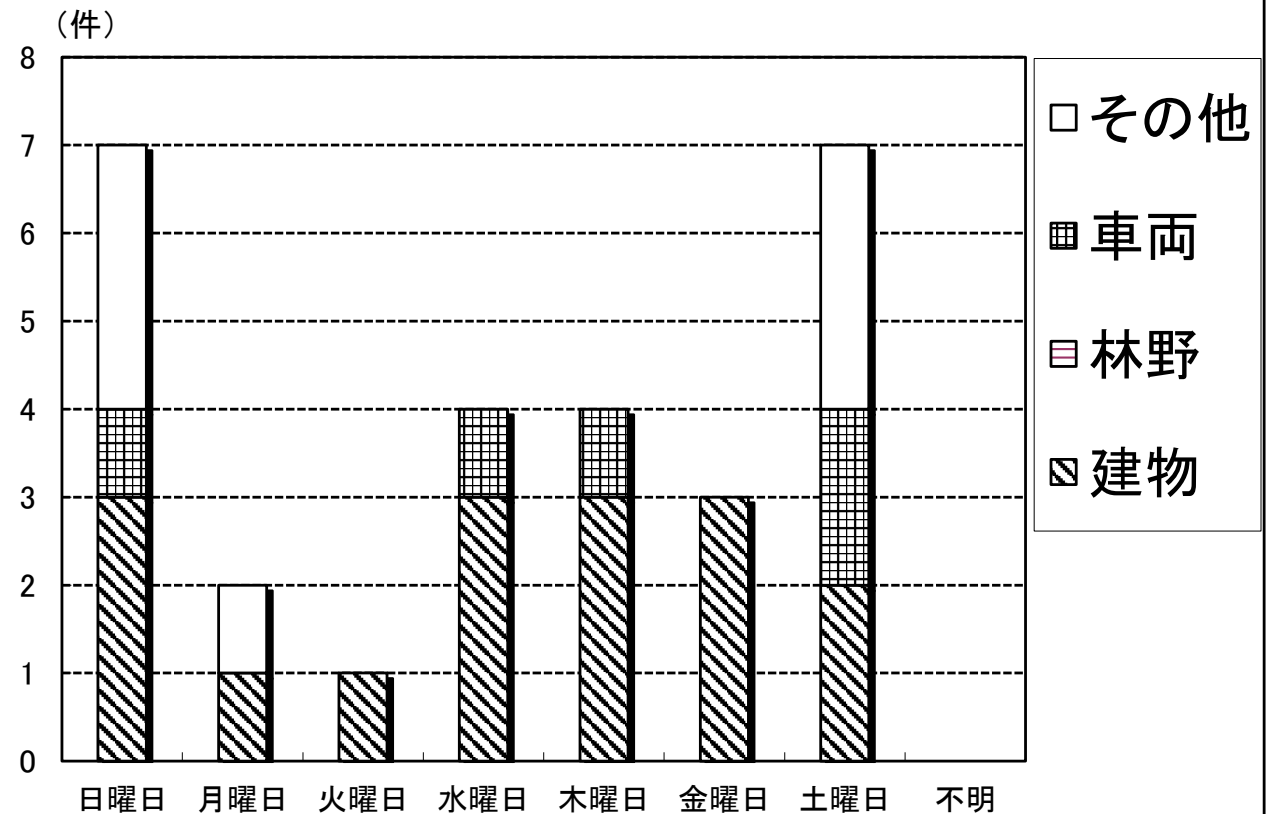
区分			粕屋町			篠栗町			久山町			中部署合計		
			令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比
火災件数	計	件	6	11	△ 5	7	2	5	1	9	△ 8	14	22	△ 8
	建物	"	5	6	△ 1	2		2		5	△ 5	7	11	△ 4
	林野	"												
	車両	"		4	△ 4	3	2	1		2	△ 2	3	8	△ 5
	その他	"	1	1		2		2	1	2	△ 1	4	3	1
焼損面積	建物	床面積 ㎡	2.0	179.0	△ 177.0					25.0	△ 25.0	2.0	204.0	△ 202.0
		火元 類焼								173.0	△ 173.0		173.0	△ 173.0
	表面積 ㎡	火元	4.0	1.0	3.0					19.0	△ 19.0	4.0	20.0	△ 16.0
		類焼		2.0	△ 2.0								2.0	△ 2.0
	林野	a												
焼損棟数	計	棟	5	7	△ 2	2		2		13	△ 13	7	20	△ 13
	全焼	"								2	△ 2		2	△ 2
	半焼	"		2	△ 2					2	△ 2		4	△ 4
	部分焼	"	1	2	△ 1					5	△ 5	1	7	△ 6
	ぼや	"	4	3	1	2		2		4	△ 4	6	7	△ 1
損害額	計	千円	123	26,386	△ 26,263	670	135	535	8	7,235	△ 7,227	801	33,756	△ 32,955
	建物	"	120	24,709	△ 24,589	9		9		4,479	△ 4,479	129	29,188	△ 29,059
	林野	"												
	車両	"		1,676	△ 1,676	610	135	475		2,656	△ 2,656	610	4,467	△ 3,857
	その他	"	3	1	2	51		51	8	100	△ 92	62	101	△ 39
死者	人													
負傷者	"		4	△ 4	1	1					1	5	△ 4	
罹災世帯	計	世帯	2	3	△ 1	2		2	2	△ 2		4	5	△ 1
	全損	"		1	△ 1								1	△ 1
	半損	"		1	△ 1								1	△ 1
	小損	"	2	1	1	2		2		2	△ 2	4	3	1
罹災人員	人	7	10	△ 3	4		4		7	△ 7	11	17	△ 6	
人口	"	48,933	48,580	353	31,020	31,353	△ 333	9,324	9,210	114	89,277	89,143	134	
世帯数	世帯	21,634	21,259	375	13,735	13,635	100	3,753	3,657	96	39,122	38,551	571	
出火率		1.2	2.3	△ 1.1	2.3	0.6	1.7	1.1	9.8	△ 8.7	1.6	2.5	△ 0.9	

5 火災件数

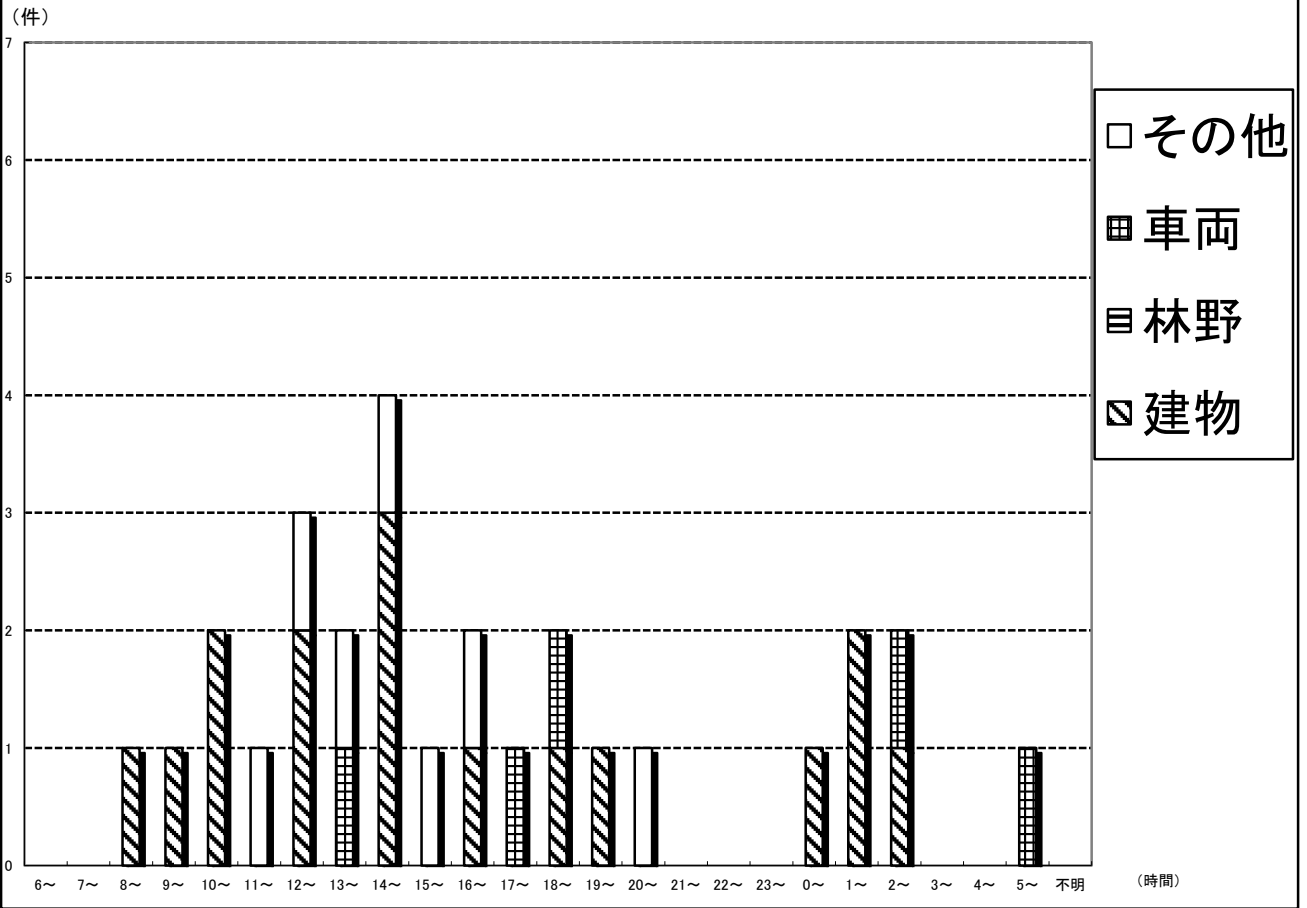
① 月別火災件数



② 曜日別火災件数

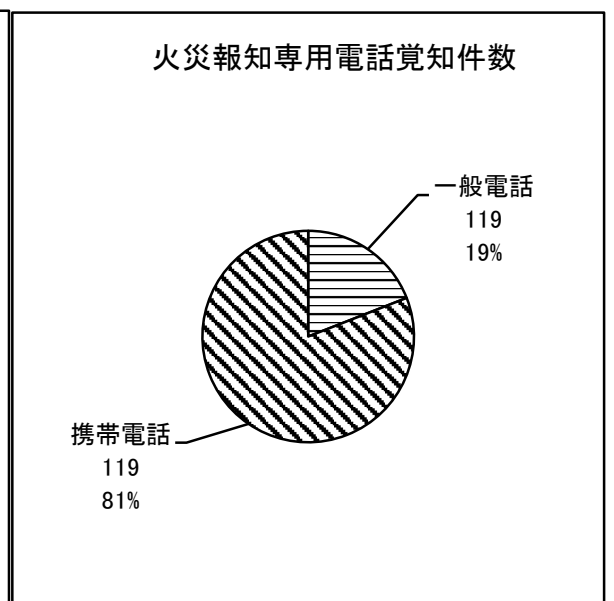
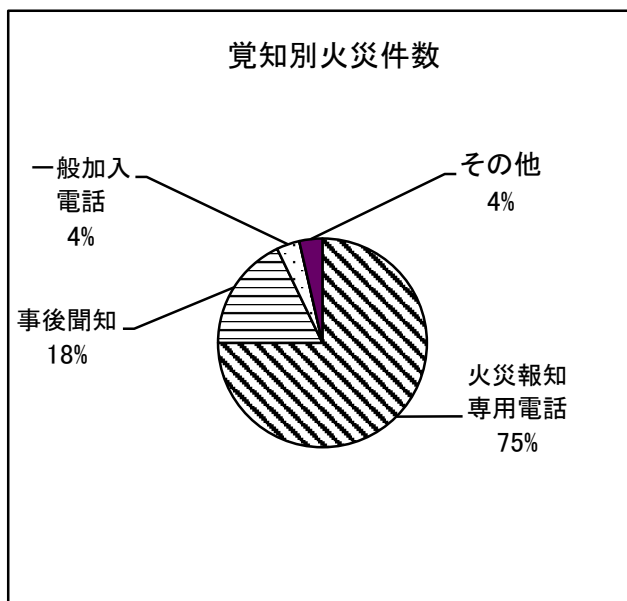


③ 時間別火災件数

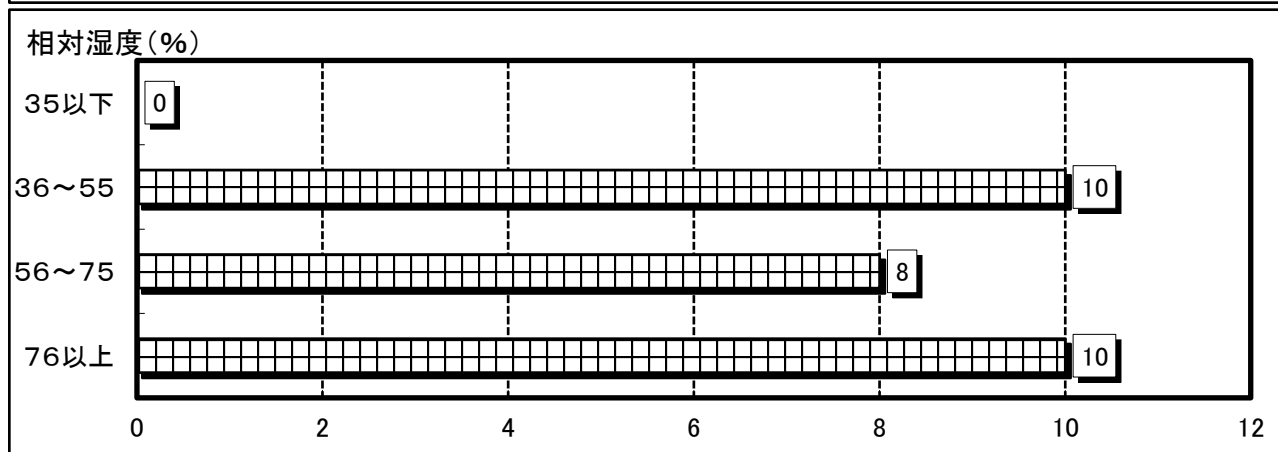
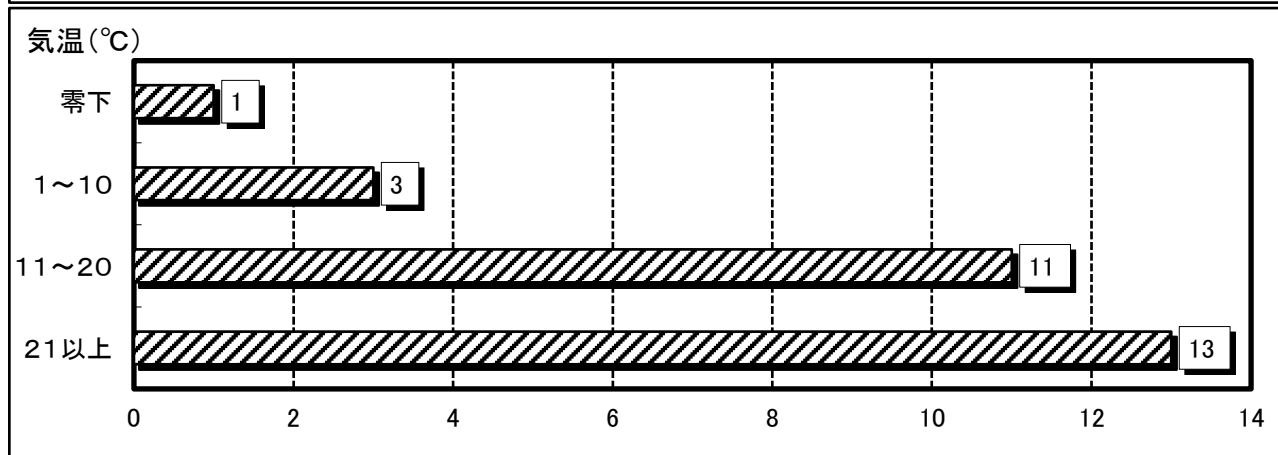
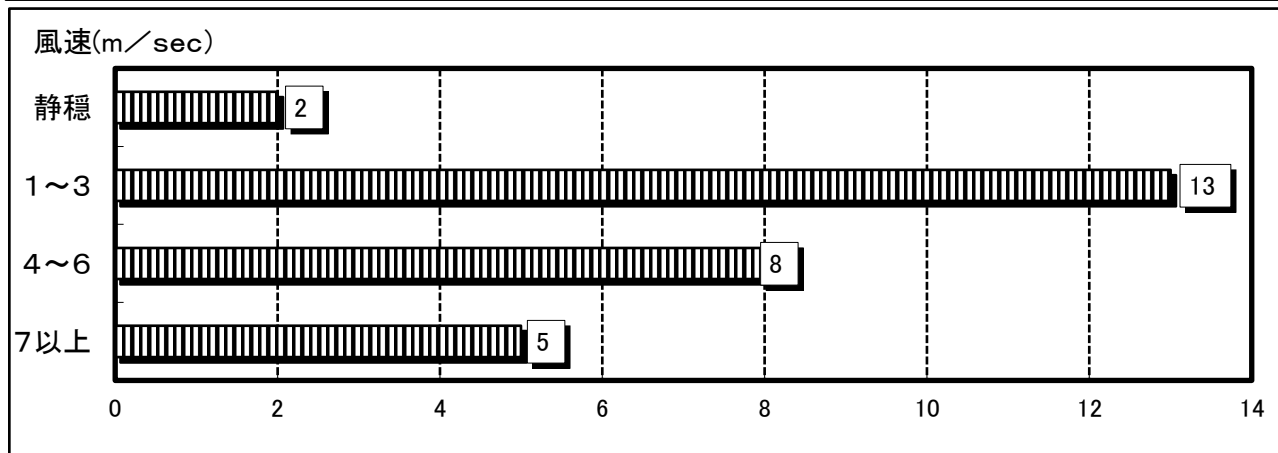
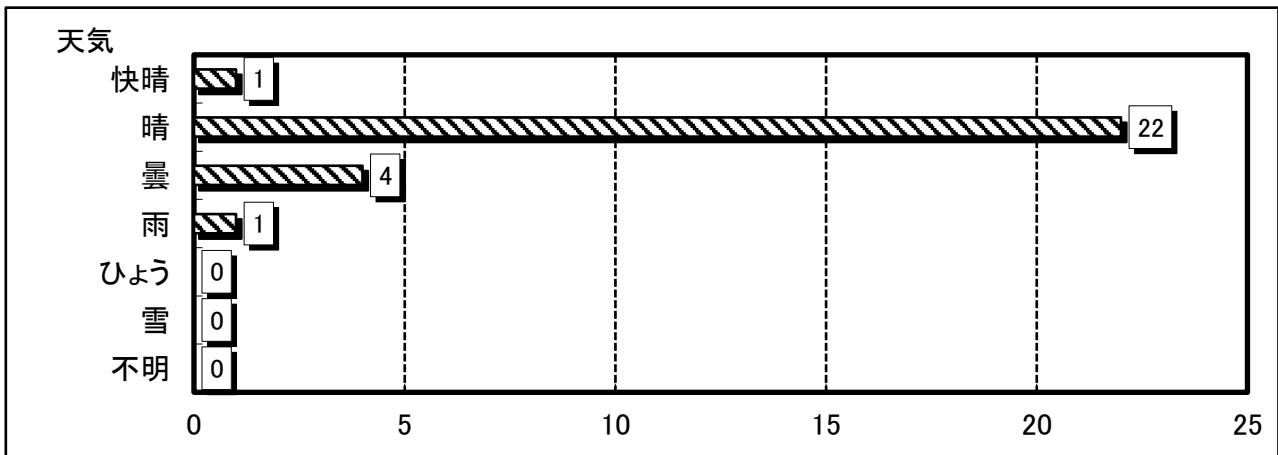


④ 覚知別火災件数 (*点線より右側の数値は、携帯電話からの通報数再掲)

区分	建物	林野	車両	その他	計
合計	16	12	5	4	28
火災報知専用電話	13	10	3	2	21
事後聞知	3	2	1	1	5
一般加入電話			1	1	1
駆け付け					
その他				1	1



⑤ 気象別火災件数



6 建物火災における罹災状況

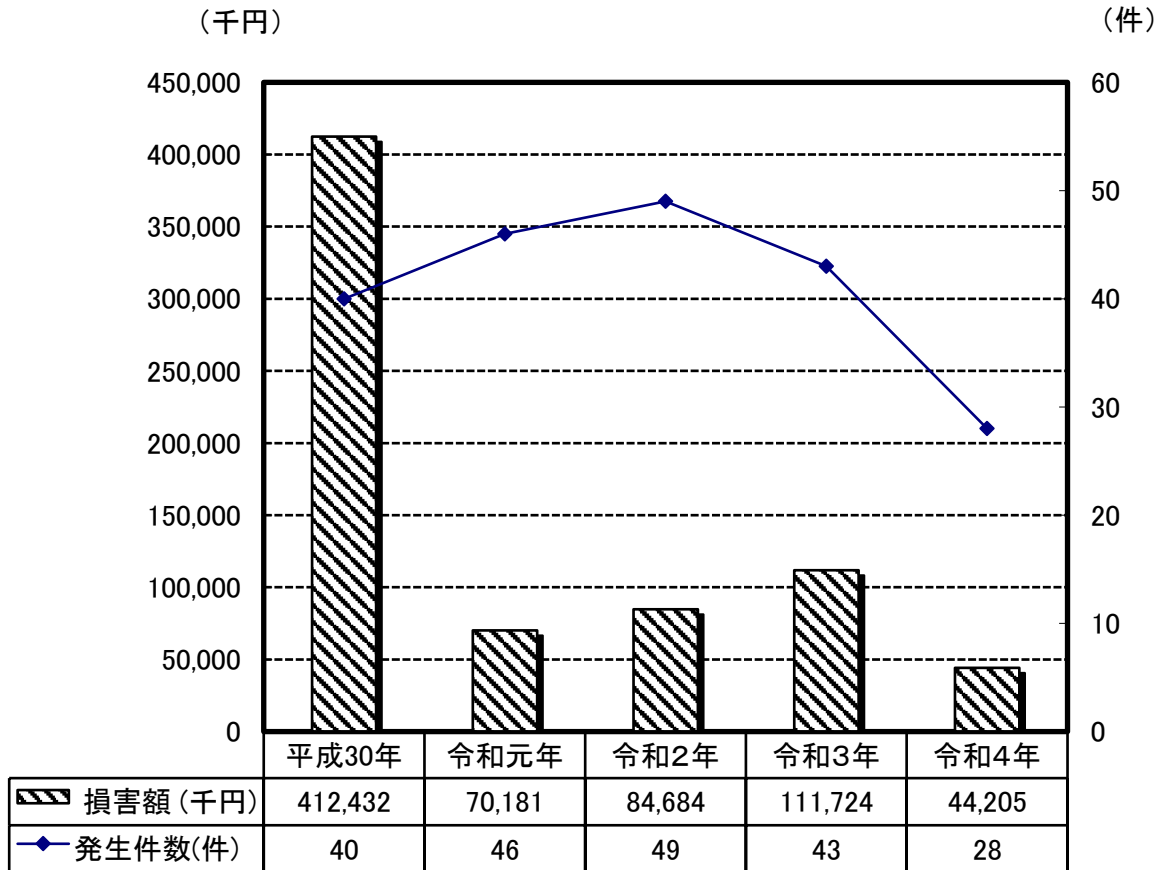
区分		火元建物			類焼建物		
		棟数	焼損床面積	焼損表面積	棟数	焼損床面積	焼損表面積
構造	木造	10	461.0	4.0	4	0.0	39.0
	防火造	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	準耐(木)	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	準耐(非木)	2	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	耐火造	2	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	1	3.0	0.0	1	0.0	0.0
階層	平家建	5	3.0	3.0	0	0.0	0.0
	2階建	9	461.0	1.0	5	0.0	39.0
	3階以上	2	0.0	0.0	0	0.0	0.0
用途	専用住宅	6	460.0	0.0	3	0.0	35.0
	共同住宅	1	0.0	0.0	2	0.0	4.0
	併用住宅	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	店舗	2	3.0	0.0	0	0.0	0.0
	工場・作業場	3	1.0	0.0	0	0.0	0.0
	倉庫	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	事務所	1	0.0	1.0	0	0.0	0.0
	病院	1	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	1	0.0	3.0	0	0.0	0.0
焼損程度	全焼	3	449.0	0.0	0	0.0	0.0
	半焼	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	部分焼	3	13.0	3.0	2	0.0	39.0
	ぼや	10	2.0	1.0	3	0.0	0.0
合計		16	464.0	4.0	5	0.0	39.0

7 出火原因の状況

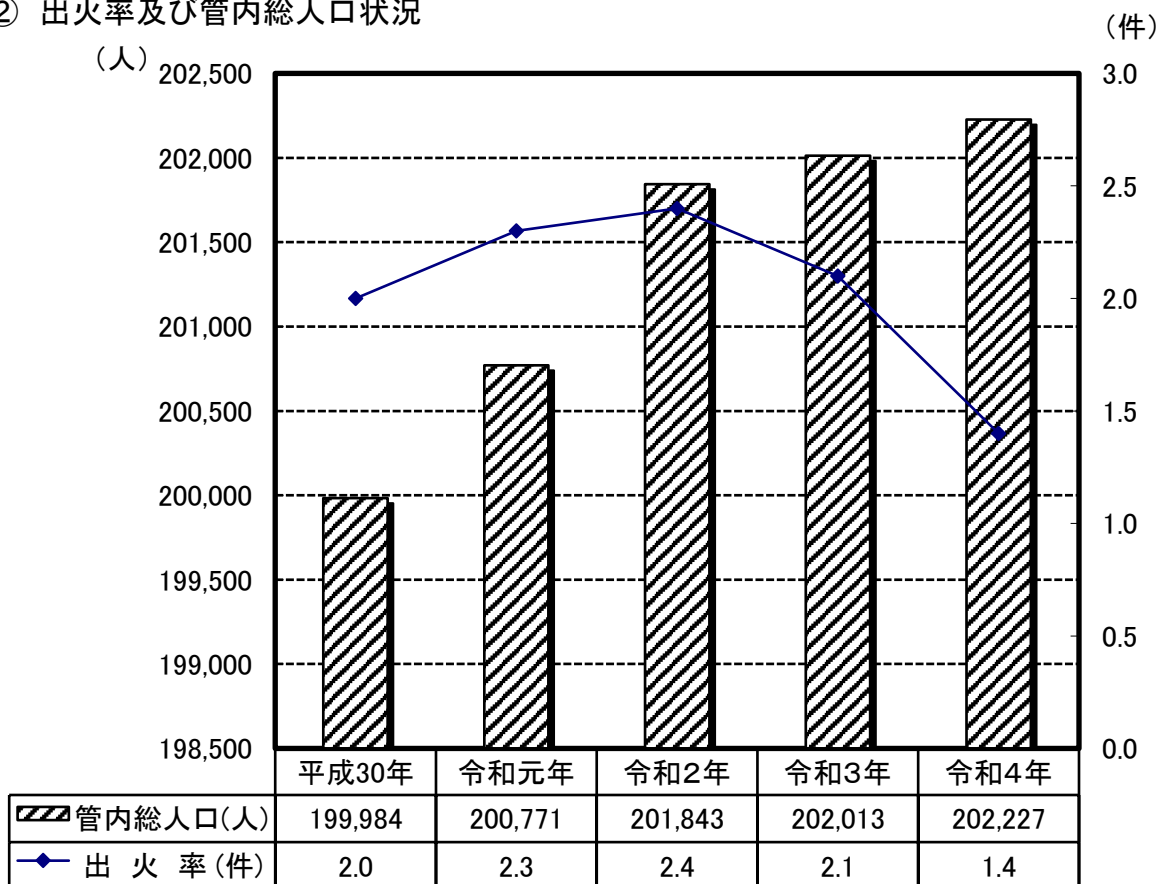
区分	令和4年					令和3年					前年比				
	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計
たばこ			1	1	2	1		1	1	3	△ 1				△ 1
こんろ	2				2	2				2					
かまど															
風呂かまど															
炉								1		1			△ 1		△ 1
焼却炉															
ストーブ	1				1	1				1					
こたつ															
ボイラー															
煙突・煙道															
排気管			1		1			1		1					
電気機器						1		1		2	△ 1		△ 1		△ 2
電気装置								1		1			△ 1		△ 1
電灯・電話等の配線	1			1	2	2				2	△ 1			1	
内燃機関															
配線器具	1				1	4				4	△ 3				△ 3
火あそび															
マッチ・ライター															
たき火									1	1				△ 1	△ 1
溶接機・切断機	2				2	1				1	1				1
灯火															
衝突の火花															
取灰	1				1						1				1
火入れ	1			2	3						1			2	3
放火	1			1	2	1				1				1	1
放火の疑い	1				1			3	1	4	1		△ 3	△ 1	△ 3
その他			2	2	4	8		4	3	15	△ 8		△ 2	△ 1	△ 11
不明	5		1		6	3		1		4	2				2
種別合計	16		5	7	28	24		13	6	43	△ 8		△ 8	1	△ 15

8 過去5年間の推移

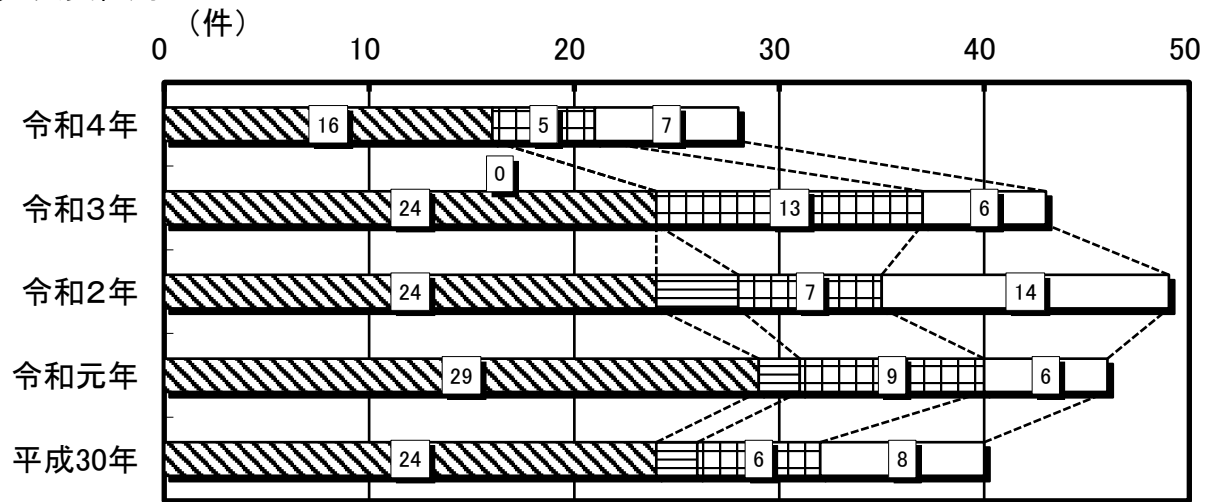
① 火災発生件数及び損害額状況
(千円)



② 出火率及び管内総人口状況



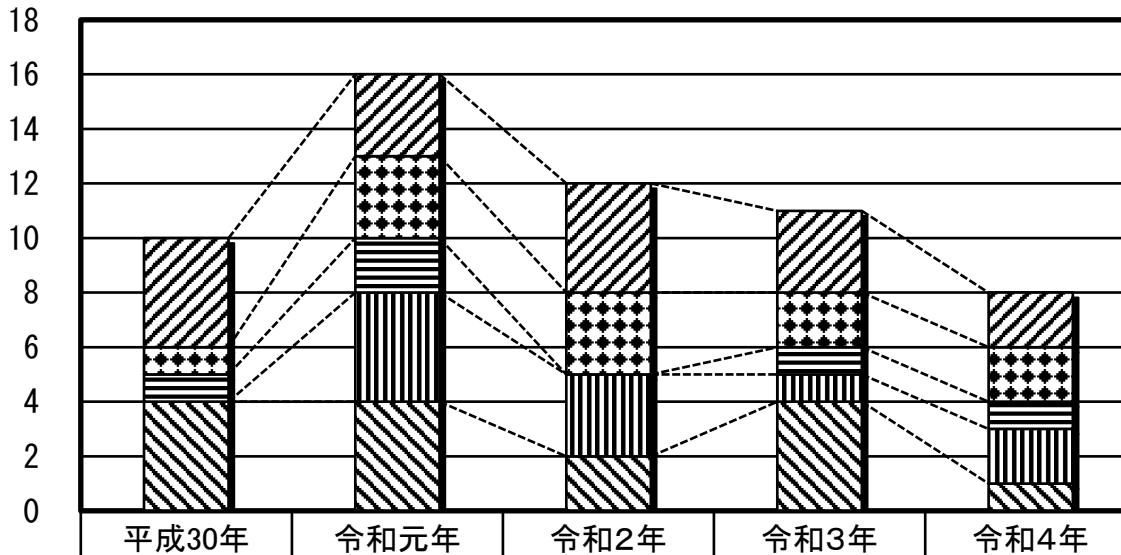
③ 火災種別



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
▣建物	24	29	24	24	16
▤林野	2	2	4	0	0
□車両	6	9	7	13	5
□その他	8	6	14	6	7

④ 主な出火原因

(件)



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
▣たばこ	4	3	4	3	2
▤こんろ	1	3	3	2	2
▥ストーブ	1	2	0	1	1
▧放火	0	4	3	1	2
▨放火の疑い	4	4	2	4	1

⑤ 地域別火災件数

区 分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計	
志 免 町	石 橋 台	0	0	1	0	0	1
	王 子	1	0	0	0	0	1
	片 峰	0	0	0	0	0	0
	片 峰 中 央	1	0	1	0	1	3
	坂 瀬	0	1	0	0	0	1
	桜 丘	0	0	0	0	0	0
	志 免	0	1	3	0	0	4
	志 免 中 央	1	2	2	0	1	6
	志 免 東	0	1	0	0	0	1
	田 富	0	0	1	1	1	3
	東 公 園 台	0	0	0	0	0	0
	別 府	1	3	0	0	1	5
	別 府 北	1	0	1	0	0	2
	別 府 西	1	0	0	0	0	1
	別 府 東	0	0	1	0	0	1
	松 ケ 丘	1	0	0	0	0	1
	御 手 洗	0	0	0	0	0	0
	南 里	3	2	2	1	1	9
	向 ケ 丘	0	0	0	0	0	0
吉 原	0	0	0	1	1	2	
計	10	10	12	3	6	41	
宇 美 町	井 野	1	0	0	1	0	2
	宇 美	3	0	3	1	1	8
	宇 美 中 央	2	0	0	0	1	3
	宇 美 東	0	0	0	1	1	2
	貴 船	0	0	1	1	0	2
	光 正 寺	1	0	1	0	0	2
	桜 原	0	0	1	1	0	2
	四 王 寺	0	0	0	0	0	0
	四 王 寺 坂	0	0	1	1	0	2
	障 子 岳	0	0	1	0	0	1
	障 子 岳 南	1	3	0	1	1	6
	神 武 原	0	0	0	0	0	0
	炭 焼	0	0	0	0	0	0
	と び た け	0	0	1	0	0	1
	原 田	0	1	0	1	0	2
	ひ ば り が 丘	0	0	0	0	0	0
	平 和	0	0	0	0	0	0
	明 神 坂	0	0	0	0	0	0
	ゆ り が 丘	1	0	0	2	0	3
若 草	0	0	0	1	0	1	
計	9	4	9	11	4	37	
須 恵 町	植 木	1	2	4	0	2	9
	上 須 恵	1	1	2	1	1	6
	佐 谷	0	1	2	3	0	6
	新 原	0	0	1	0	0	1
	須 恵	1	2	1	0	1	5
	旅 石	1	1	0	3	0	5
計	4	7	10	7	4	32	
南 部 署 計	23	21	31	21	14	110	

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計	
粕	阿 恵	0	0	0	1	0	1	
	内 橋	0	1	0	0	0	1	
	内 橋 東				1	0	1	
	内 橋 西					0	0	
	江 辻	1	0	0	0	0	1	
	大 隈	1	1	0	1	2	5	
	上 大 隈	1	0	0	1	2	4	
	駕 与 丁	0	2	0	1	1	4	
	甲 仲 原	0	0	0	0	0	0	
	酒 殿	0	0	0	0	0	0	
屋	長 者 原	1	0	0	0	0	1	
	長 者 原 西	0	0	0	1	0	1	
	長 者 原 東	0	0	0	0	0	0	
	戸 原	0	0	0	0	0	0	
	戸 原 東	0	1	0	0	0	1	
	戸 原 西			0	0	0	0	
町	仲 原	1	5	3	3	0	12	
	花 ケ 浦	0	0	0	0	0	0	
	原 町	0	1	1	0	1	3	
	柚 須	1	2	0	2	0	5	
	若 宮	0	0	2	0	0	2	
	計	6	13	6	11	6	42	
	篠 栗	乙 犬	0	1	0	0	1	2
		尾 仲	1	1	5	1	0	8
金 出		0	0	0	0	1	1	
篠 栗		2	4	0	0	1	7	
高 田		1	0	0	0	0	1	
田 中		1	1	1	0	0	3	
中 央			0	1	0	2	3	
津 波 黒		0	0	0	0	1	1	
内 住		0	0	1	0	0	1	
萩 尾		0	0	0	0	0	0	
若 杉		1	1	0	1	0	3	
和 田		1	0	0	0	0	1	
彩 り 台					0	1	1	
計		7	8	8	2	7	32	
久 山 町	猪 野	0	2	0	1	0	3	
	久 原	1	0	1	3	0	5	
	山 田	3	2	3	5	1	14	
	計	4	4	4	9	1	22	
中 部 署 計		17	25	18	22	14	96	
両 署 合 計		40	46	49	43	28	206	

9 月別・各町建物火災総括表

志免町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数			1			2			1				4
	焼損面積			237.0			10.0							247.0
	焼損表面積													
	焼損棟数			1			2			1				4
	罹災世帯			2			1			1				4
	罹災人員			7			2			1				10
	死者			1										1
	負傷者													
損害額			18,320			559				5				18,884
宇美町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1		1								1		3
	焼損面積	3.0										82.0		85.0
	焼損表面積													
	焼損棟数	1		1								1		3
	罹災世帯											3		3
	罹災人員											7		7
	死者											1		1
	負傷者													
損害額	323		1,150								8,695		10,168	
須恵町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数		1								1			2
	焼損面積		130.0											130.0
	焼損表面積													
	焼損棟数		1								1			2
	罹災世帯		2											2
	罹災人員		4											4
	死者													
	負傷者													
損害額		13,854									122		13,976	
粕屋町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1			1				1		1		1	5
	焼損面積	1.0									1.0			2.0
	焼損表面積				3.0				1.0					4.0
	焼損棟数	1			1				1		1		1	5
	罹災世帯								1		1			2
	罹災人員								5		2			7
	死者													
	負傷者													
損害額	53			12				31		16		8	120	
篠栗町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数										2			2
	焼損面積													
	焼損表面積													
	焼損棟数										2			2
	罹災世帯										2			2
	罹災人員										4			4
	死者													
	負傷者										1			1
損害額										9			9	
久山町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数													
	焼損面積													
	焼損表面積													
	焼損棟数													
	罹災世帯													
	罹災人員													
	死者													
	負傷者													
損害額														

10 消防水利状況

令和5年4月末現在

種別 町別	消火栓		防火水槽			
			40m ³ 以上		40m ³ 未満	
	公設	私設	公設	私設	公設	私設
志免町	450	0	32	29	4	9
宇美町	432	0	111	28	14	12
須恵町	422	0	92	16	10	7
粕屋町	433	0	85	57	2	18
篠栗町	356	1	15	19	5	6
久山町	220	5	3	22	1	9
計	2313	6	338	171	36	61

1 救急の総括

① 活動概要

令和4年中における救急の活動概要は、出動件数が9,835件、搬送件数が8,816件、搬送人員が8,854人である。

前年と比較すると、出動件数が1,568件(19.0%)の増、搬送件数が1,172件(15.3%)の増、搬送人員が1,163人(15.1%)の増となっている。

過去5年間を比較すると、令和元年まで増加。令和2年は大きく減少(要因は新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる)。令和3年から再び増加している。

② 出動状況

出動件数を事故種別ごとに前年と比較すると、件数的に最も増加したのは急病で1,220件(23.2%)の増、次いで一般負傷で240件(19.1%)の増となっている。件数的に最も減少したのは火災及び自損で12件で火災は(36.4%)、自損は(12.6%)の減となっている。

出動件数を時刻別・事故種別でみると、それぞれのピークは、急病で8時～12時、交通は16時～20時、一般負傷は16時～18時、転院搬送は10時～14時となっている。

③ 搬送状況

搬送状況を程度別でみると前年比で、軽症が4,086人(785人増)、中等症が4,336人(423人増)、重症が432人(45人減)となっている。

年齢区分別でみると、新生児を除く全年齢で急病が最も多くなっている(新生児は転院搬送が最も多くなっている)。

収容医療機関は、管内が3,869人、管外が4,985人で全体の56.3%が、管外の医療機関へ搬送されている。

④ 所要時間

所要時間の平均は、入電から現場到着までが10.1分(前年比較で0.4分延伸)、病院収容までが42.0分(前年比較で4.4分延伸)、総所要時間が84.8分(前年比較で3.6分延伸)となっている。

⑤ 隊員の行った応急処置

搬送人員8,854人中、8,853に対し応急処置を実施している(実施率99.9%)。

実施回数が最も多いのは、観察活動の血中酸素飽和度測定、次いで血圧測定、心電図測定の順となっている。

⑥ 不搬送件数

不搬送件数は全体で1,019件となっている。不搬送理由は「辞退(到着後)」が最も多く604件、次いで「拒否」の128件、続いて「明らかな死亡」の126件となっている。

⑦ 応急手当の普及啓発活動

令和4年中は、応急手当普及員講習を1回、上級救命講習を1回、普通救命講習を28回及び救命入門コースを56回実施し、合わせて1,929人に対し講習を実施している。

(事故種別の凡例)

1. 火 災 火災現場において直接火災に起因して生じた事故。
2. 自然災害 暴風・豪雨・高潮・地震等の自然現象に起因する事故。
3. 水難事故 水泳中の溺者又は水中転落等による事故。
4. 交通事故 全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故。
5. 労働災害 各種工場・事業所・作業場等で就業中発生した事故。
6. 運動競技 運動競技の実施中に発生した事故。
7. 一般負傷 他に分類されない不慮の事故。
8. 加 害 故意に他人によって傷害等を加えられた事故。
9. 自損行為 故意に自分自身に傷害を加えた事故。
10. 急 病 疾病によるもの。
11. 転院搬送 医療機関から医療機関への搬送。
12. その他 医師・医療資器材等の搬送及び、その他上記に分類不能のもの。

2 救急の概要

① 救急出動件数等前年比較

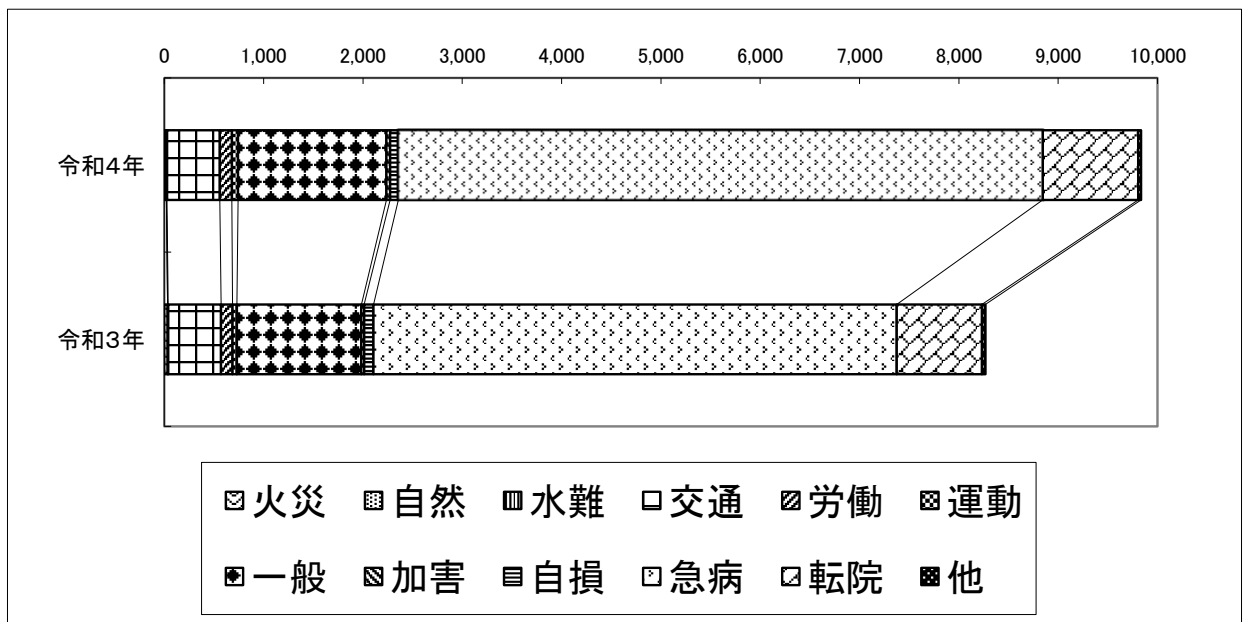
		年間				月平均				1日平均			
		本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外
出動件数	令和4年	9,835	5,829	4,003	3	819.6	485.8	333.6	0.3	26.9	16.0	11.0	0
	令和3年	8,267	4,881	3,386	0	688.9	406.8	282.2	0.0	22.6	13.4	9.3	0
	前年比	1,568	948	617	3	130.7	79.0	51.4	0.3	4.3	2.6	1.7	0
搬送件数	令和4年	8,816	5,253	3,562	1	734.7	437.8	296.8	0.1	24.2	14.4	9.8	0
	令和3年	7,644	4,511	3,133	0	637.0	375.9	261.1	0.0	20.9	12.4	8.6	0
	前年比	1,172	742	429	1	97.7	61.9	35.7	0.1	3.3	2.0	1.2	0
搬送人員	令和4年	8,854	5,269	3,584	1	737.8	439.1	298.7	0.1	24.3	14.4	9.8	0
	令和3年	7,691	4,530	3,161	0	640.9	377.5	263.4	0.0	21.1	12.4	8.7	0
	前年比	1,163	739	423	1	96.9	61.6	35.3	0.1	3.2	2.0	1.1	0

* 本部は全ての総計、南部署及び中部署は署管轄内の合計、管外は組合管外の合計である。

3 出動状況

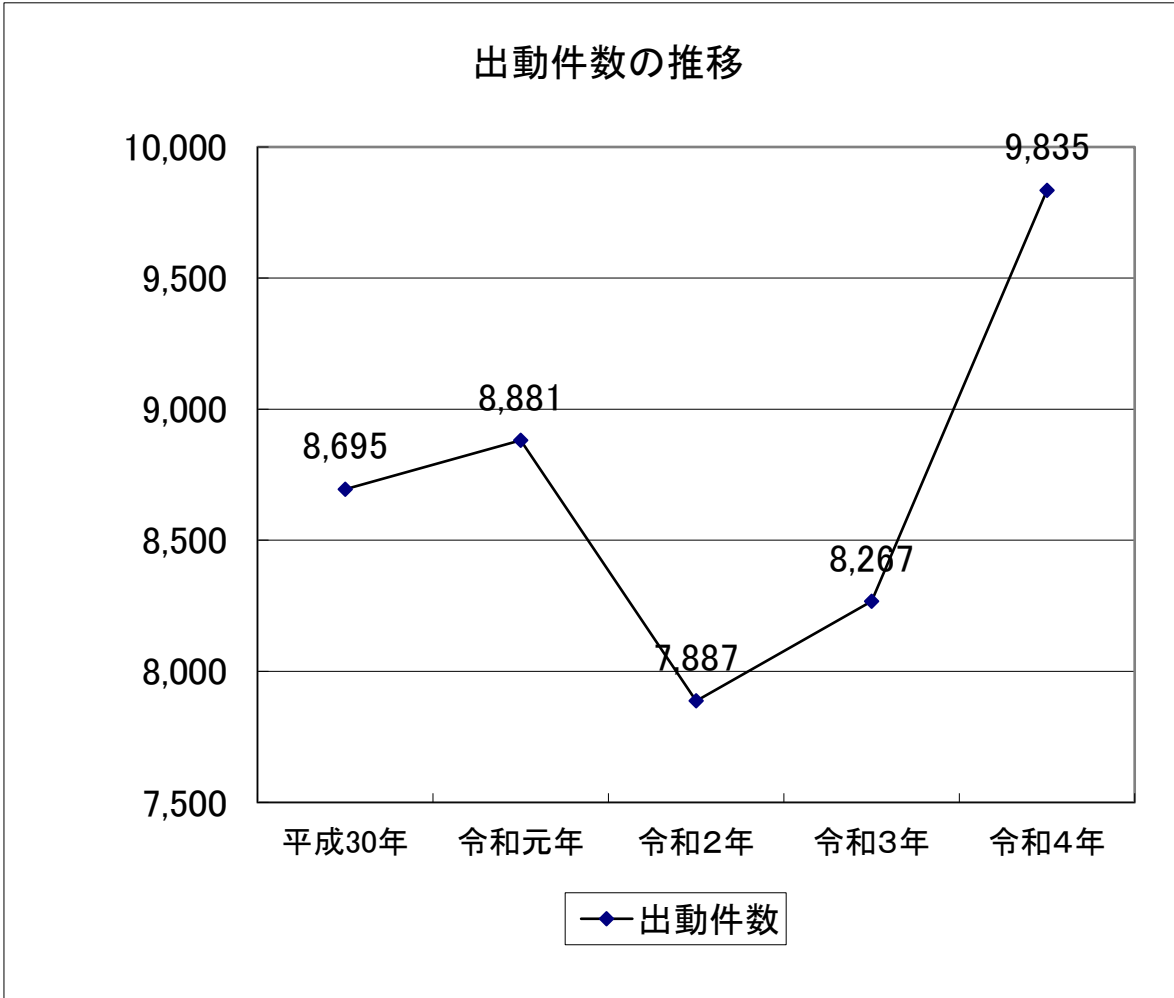
① 事故種別出動件数前年比

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院	他	合計
令和4年	21	0	6	532	121	63	1,494	37	83	6,488	962	28	9,835
令和3年	33	0	6	533	115	44	1,254	27	95	5,268	857	35	8,267
前年比	△ 12	0	0	△ 1	6	19	240	10	△ 12	1,220	105	△ 7	1,568



② 過去5年間の出動件数の推移

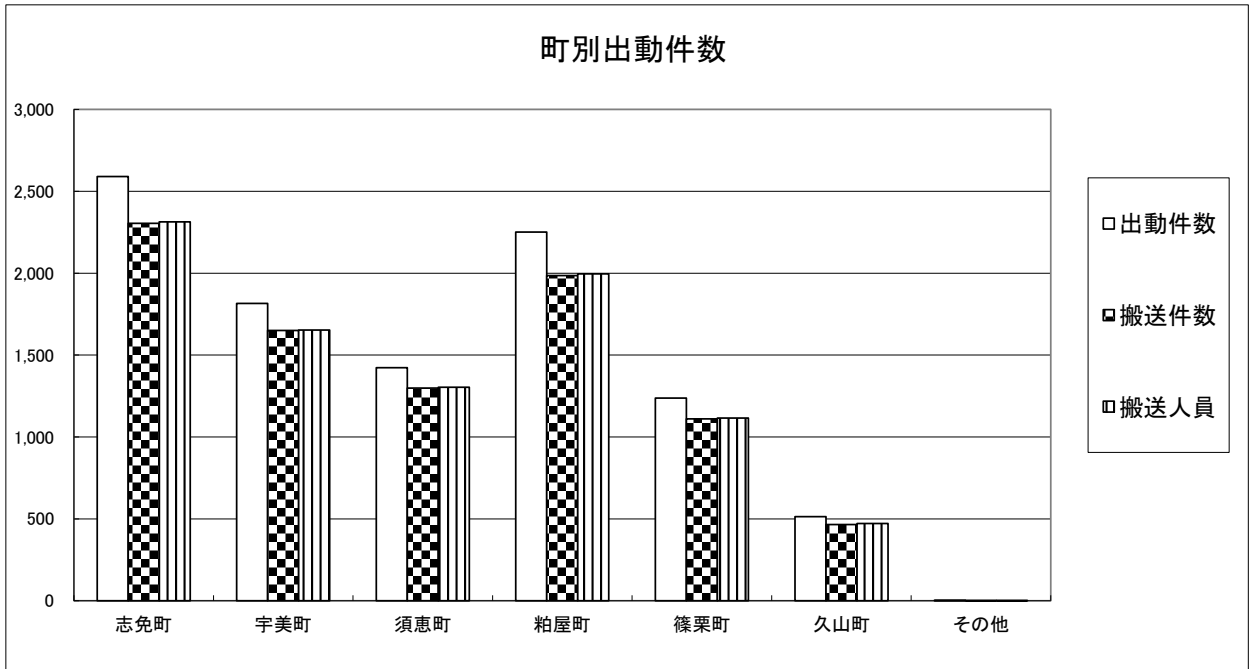
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出動件数	8,695	8,881	7,887	8,267	9,835



③ 過去5年間救急1件あたりの人口推移・世帯推移

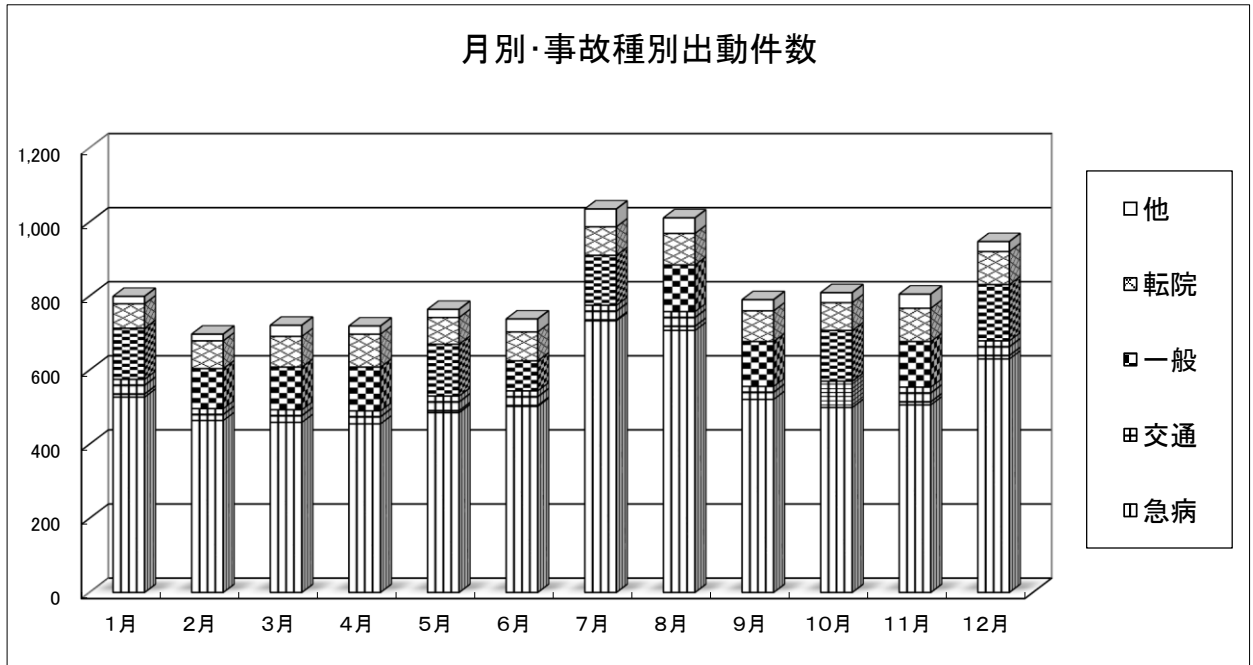
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
人口(A)	199,984	200,771	201,843	202,013	202,227
世帯数(B)	83,803	85,318	86,858	87,678	88,886
出動件数(C)	8,695	8,881	7,887	8,267	9,835
A/C (人)	23.0	22.6	25.6	24.4	20.6
B/C (世帯)	9.6	9.6	11.0	10.6	9.0

④ 町別出動件数



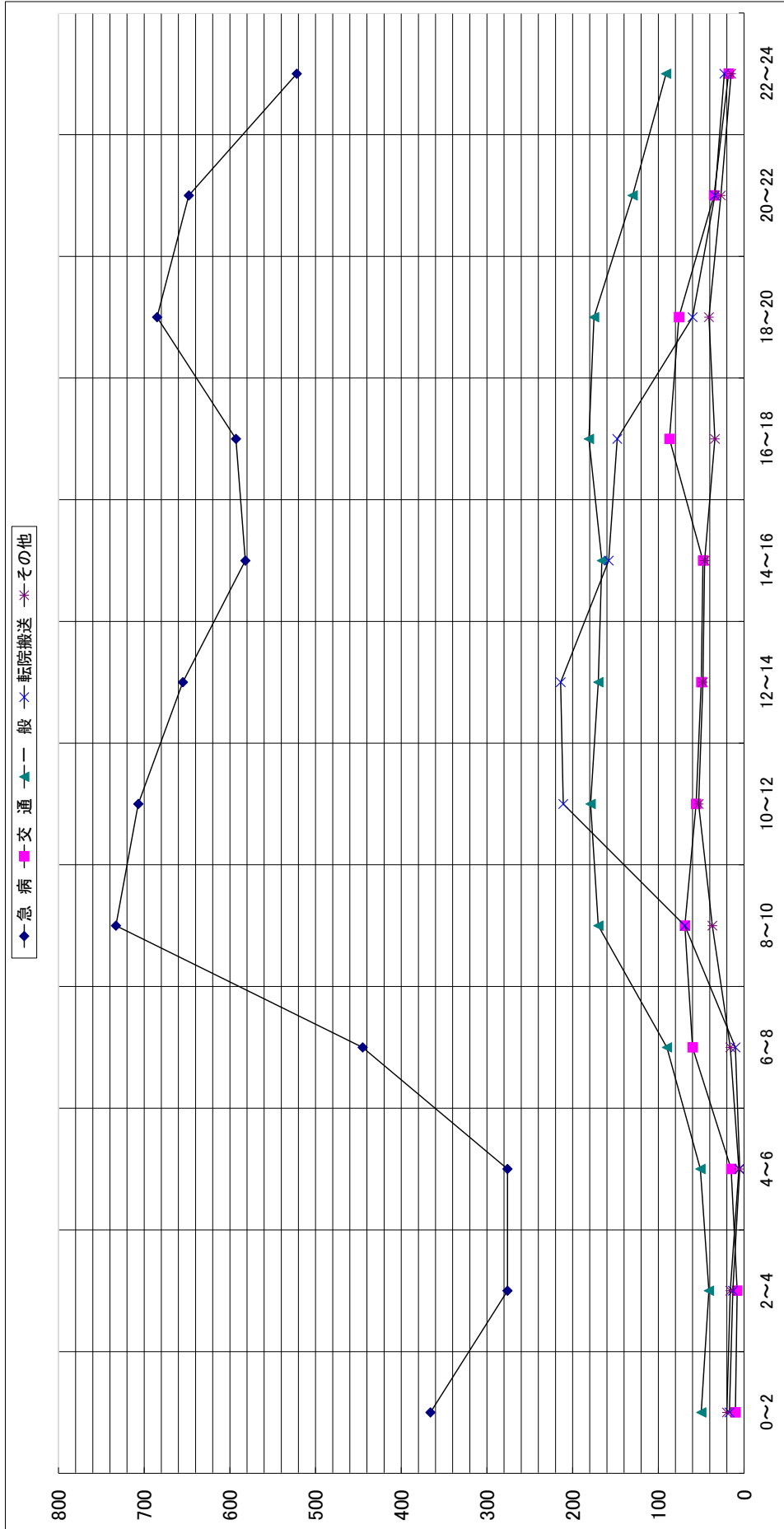
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	その他	合計
出動件数	2,590	1,816	1,423	2,251	1,238	514	3	9,835
搬送件数	2,305	1,650	1,298	1,986	1,111	465	1	8,816
搬送人員	2,313	1,653	1,303	1,996	1,116	472	1	8,854

⑤ 月別・事故種別出動件数



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	527	464	459	455	485	502	733	707	521	499	506	630	6,488
交通	48	32	34	35	45	42	42	51	35	71	48	49	532
一般	138	108	115	118	140	81	135	126	121	137	123	152	1,494
転院	66	75	83	89	72	78	77	85	83	75	90	89	962
他	20	18	30	22	22	35	48	42	30	27	38	27	359
合計	799	697	721	719	764	738	1,035	1,011	790	809	805	947	9,835

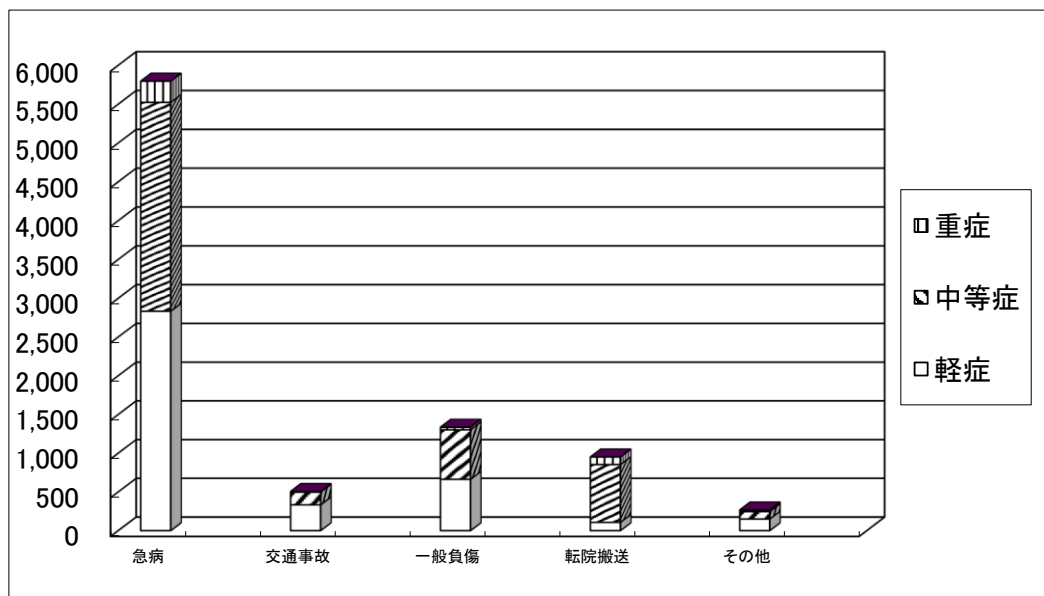
⑥ 事故種別・時刻別出動件数



事故種別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
急病	366	276	276	445	733	707	655	582	593	685	648	522	6,488
交通	10	8	15	60	69	56	50	48	87	76	35	18	532
一般	50	41	51	90	170	179	170	166	181	175	130	91	1,494
転院搬送	17	13	5	10	69	211	214	158	148	60	34	23	962
その他	20	16	6	16	37	53	48	46	34	41	27	15	359
合計	463	354	353	621	1078	1206	1137	1000	1043	1037	874	669	9,835

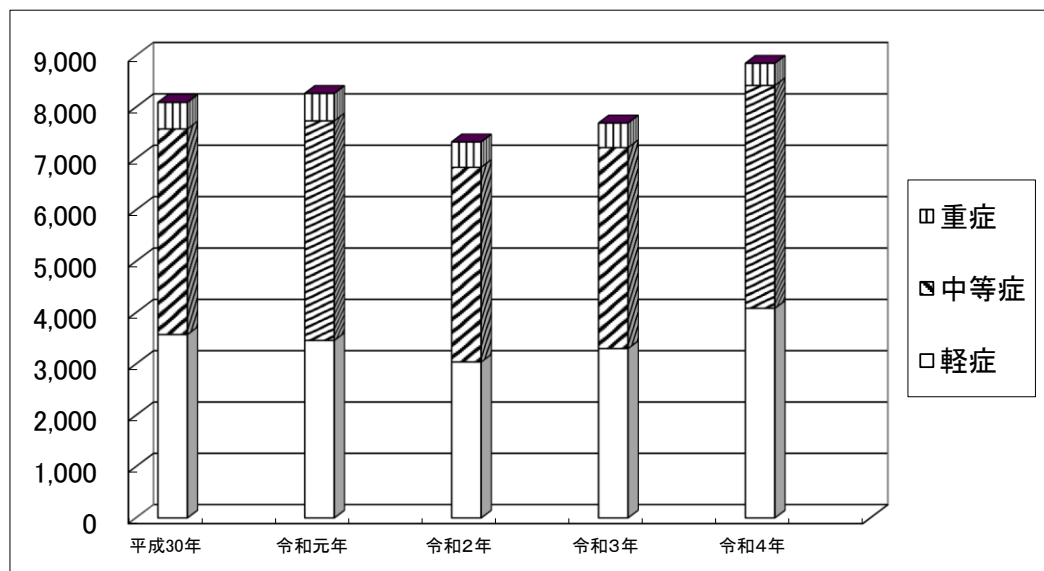
4 搬送状況

① 事故種別程度別搬送状況



	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
軽症	2,833	333	663	107	150
中等症	2,691	164	639	746	96
重症	272	8	33	98	21
死亡	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	5,796	505	1,335	951	267

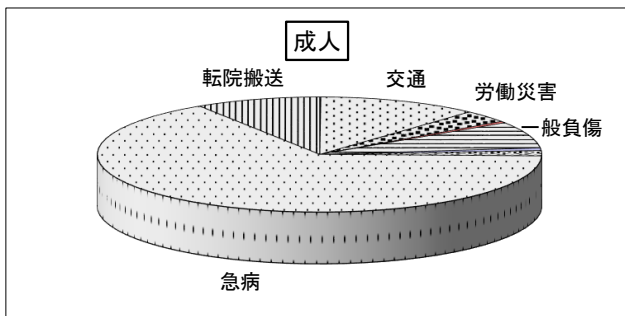
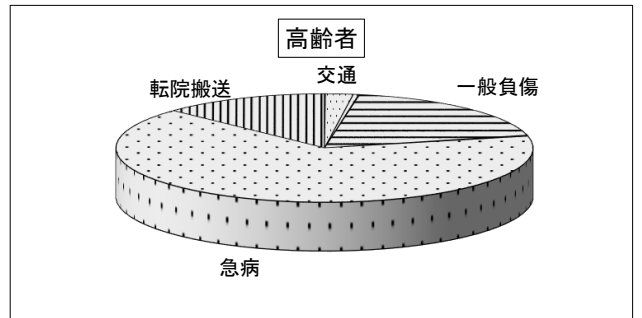
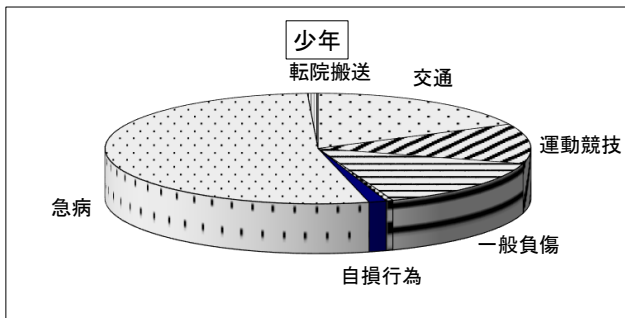
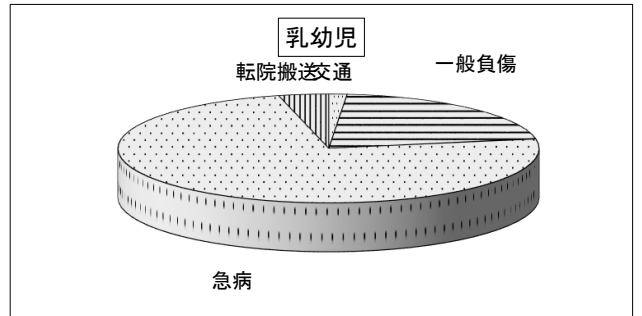
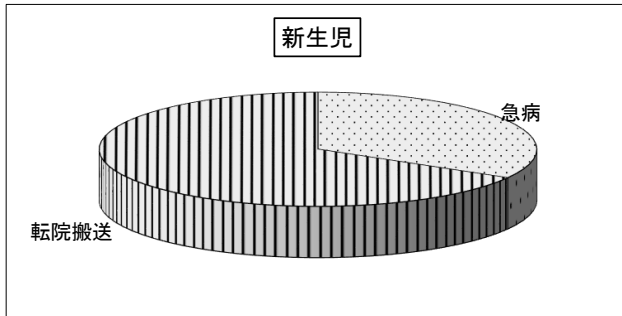
② 程度別搬送人員の推移



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
軽症	3,575	3,460	3,040	3,301	4,086
中等症	4,001	4,274	3,790	3,913	4,336
重症	517	533	493	477	432
死亡	1	1	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	8,094	8,268	7,323	7,691	8,854

③ 年齢別・事故種別搬送状況

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災	0	0	0	2	1	3
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	2	2
交通	0	8	67	319	111	505
労働災害	0	0	0	95	22	117
運動競技	0	0	44	12	3	59
一般負傷	0	119	56	204	956	1,335
加害	0	1	2	20	5	28
自損行為	0	0	5	41	12	58
急病	6	424	200	1,783	3,383	5,796
転院搬送	12	22	3	248	666	951
その他	0	0	0	0	0	0
合計	18	574	377	2,724	5,161	8,854



(参考)

新生児 生後28日以内の者
 乳幼児 生後29日以上7歳未満の者
 少年 7歳以上18歳未満の者
 成人 18歳以上65歳未満の者
 高齢者 65歳以上の者

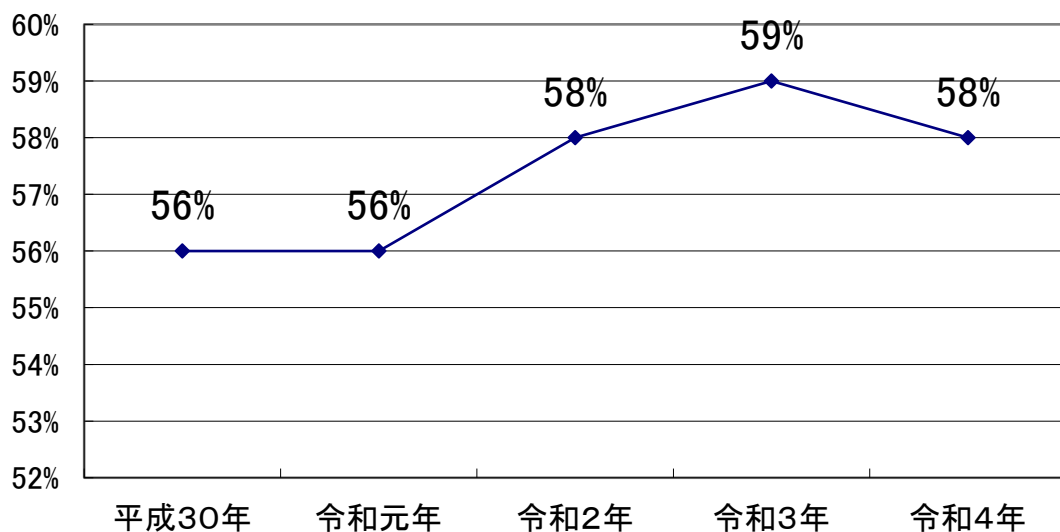
④ 高齢者搬送状況(過去5年間)

単位/人

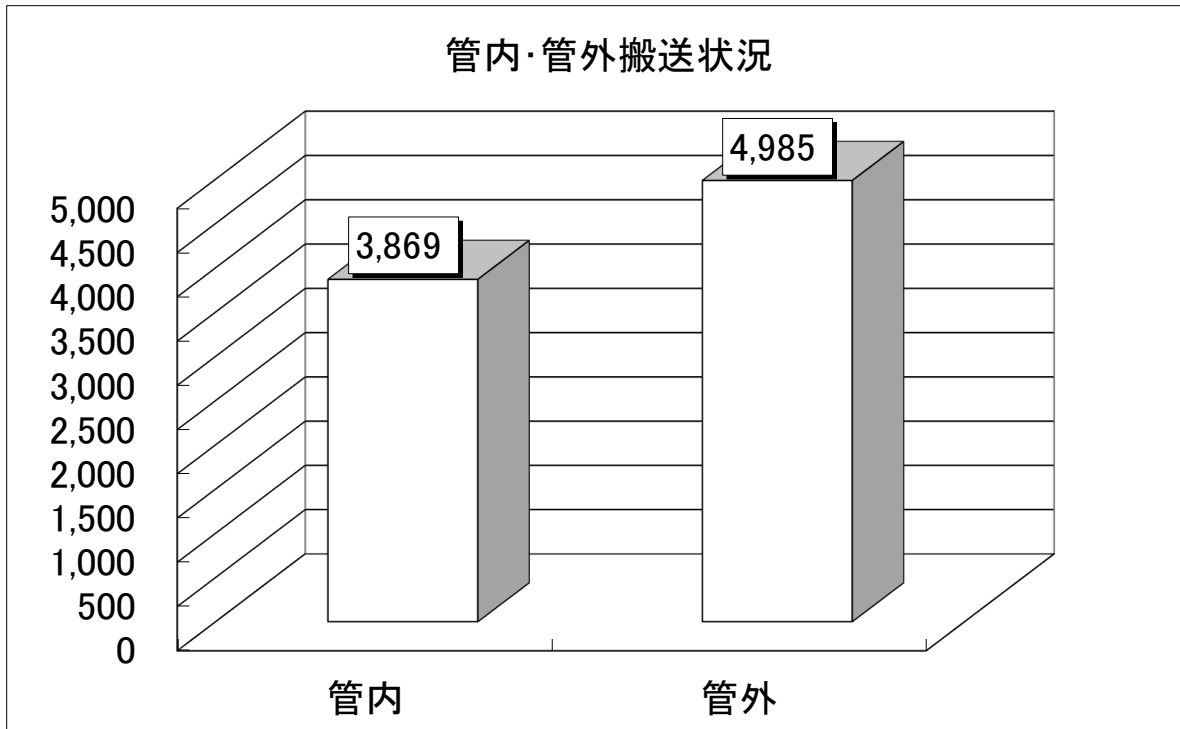
年	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体
火災	0	6	3	6	3	7	1	7	1	3
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	1	2	0	1	0	0	1	2	2	2
交通	114	586	131	573	106	493	107	529	111	505
労働災害	18	107	24	104	26	111	22	115	22	117
運動競技	2	59	4	52	2	26	2	43	3	59
一般負傷	830	1,198	846	1,218	785	1,116	821	1,157	956	1,335
加害	8	34	5	28	12	37	5	23	5	28
自損行為	12	51	11	67	5	63	17	72	12	58
急病	2,974	5,141	3,015	5,265	2,681	4,580	2,933	4,887	3,383	5,796
転院搬送	614	908	616	950	594	890	591	855	666	951
その他	0	2	1	4	0	0	0	1	0	0
合計	4,573	8,094	4,656	8,268	4,214	7,323	4,500	7,691	5,161	8,854
対全搬送人員比率	56%		56%		58%		59%		58%	

搬送人員に占める高齢者の割合

対全搬送人員…



⑤ 管内・管外搬送状況



⑥ 事故種別・医療機関別搬送状況

		急病		交通事故		一般負傷		転院搬送		その他		計		
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	
救急 医療 告示 機関	国立	299	299	20	20	52	52	121	121	13	13	505	505	
	公立	754	754	17	17	112	112	191	191	14	14	1,088	1,088	
	公的	361	361	25	25	39	39	175	175	11	11	611	611	
	私的	病院	4,053	1,711	434	135	1,104	360	448	251	226	113	6,265	2,570
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5,467	3,125	496	197	1,307	563	935	738	264	151	8,469	4,774	
その他 医療 機関	国立	19	19	0	0	0	0	2	2	0	0	21	21	
	公立	126	126	0	0	3	3	0	0	1	1	130	130	
	公的	9	9	0	0	1	1	2	2	0	0	12	12	
	私的	病院	111	31	6	1	18	3	10	5	1	0	146	40
		診療所	64	6	3	1	6	1	2	0	1	0	76	8
	計	329	191	9	2	28	8	16	9	3	1	385	211	
計	国立	318	318	20	20	52	52	123	123	13	13	526	526	
	公立	880	880	17	17	115	115	191	191	15	15	1,218	1,218	
	公的	370	370	25	25	40	40	177	177	11	11	623	623	
	私的	病院	4,164	1,742	440	136	1,122	363	458	256	227	113	6,411	2,610
		診療所	64	6	3	1	6	1	2	0	1	0	76	8
	計	5,796	3,316	505	199	1,335	571	951	747	267	152	8,854	4,985	
その他 場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		5,796	3,316	505	199	1,335	571	951	747	267	152	8,854	4,985	

5 所要時間

① 現場到着所要時間前年比較

年	所要時間	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	計	現場到着平均所要時間
			5分未満	10分未満	20分未満			
令和4年		35	122	4,810	4,651	217	9,835	10.1
令和3年		43	137	4,135	3,827	125	8,267	9.7
前年比		△ 8	△ 15	675	824	92	1,568	0.4

② 病院收容所要時間前年比較

年	所要時間	10分未満	10分以上	20分以上	30分以上	60分以上	120分以上	計	病院收容平均所要時間
			20分未満	30分未満	60分未満	120分未満			
令和4年		1	56	1,264	6,719	787	27	8,854	42.0
令和3年		1	99	1,623	5,683	279	6	7,691	37.6
前年比		0	△ 43	△ 359	1,036	508	21	1,163	4.4

③ 総所要時間前年比較

年	所要時間	30分未満	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	120分以上	計	平均所要時間
			40分未満	50分未満	60分未満	120分未満			
令和4年		253	267	419	889	7,212	795	9,835	84.8
令和3年		212	199	409	940	6,130	377	8,267	81.2
前年比		41	68	10	△ 51	1,082	418	1,568	3.6

6 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 応急処置	事故種別				合計
	急病	交通	一般負傷	その他	
対象人	5,796	505	1,335	1,217	8,853
止血	27	3	33	16	79
固定	47	209	232	53	541
人工呼吸	1	0	0	2	3
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	125	2	14	16	157
酸素吸入	934	17	77	320	1,348
気道確保	175	3	19	25	222
保温	175	19	33	31	258
被覆	16	59	198	53	326
在宅療法	1	0	0	2	3
ショックパンツによる 血圧の保持	0	0	0	0	0
電気ショック	14	0	0	1	15
静脈確保(ブドウ糖投与)	9	0	0	0	9
静脈確保(CPA前)	16	1	1	1	19
静脈確保(CPA後)	52	1	4	2	59
薬剤投与	24	0	0	1	25
その他の応急処置	5	0	1	1	7
血圧測定	5,410	499	1,260	1,177	8,346
聴診器による 心音・呼吸音の聴取	1,867	158	363	335	2,723
血中酸素飽和度の 測定	5,678	503	1,321	1,200	8,702
心電図	2,409	177	500	467	3,553
血糖測定	16	0	1	2	19
ブドウ糖投与	9	0	0	0	9

7 不搬送状況

事故種別	理由	辞退 (到着前)	辞退 (到着後)	拒否	明らかな死亡	他車 (隊)搬送	傷病者なし	誤報・いたずら	その他	計
火災		0	1	1	1	0	15	0	0	18
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難		0	0	0	4	0	0	0	0	4
交通		3	26	13	2	2	1	1	1	49
労働災害		2	0	1	0	0	1	0	0	4
運動競技		1	1	1	0	1	0	0	1	5
一般負傷		7	113	23	11	2	1	2	3	162
加害		0	4	2	0	0	0	3	1	10
自損行為		0	3	4	16	0	1	0	1	25
急病		24	451	83	91	4	9	12	29	703
その他	転院搬送	0	3	0	1	0	0	0	7	11
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資器材等搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	2	0	0	1	7	14	4	28
計		37	604	128	126	10	35	32	47	1,019

8 応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	講習回数			受講人員		
	令和3年	令和4年	比較	令和3年	令和4年	比較
講習種別						
応急手当普及員講習	0	1	1	0	6	6
上級救命講習	1	1	0	30	34	4
普通救命講習	15	28	13	226	395	169
うち普通救命講習Ⅰ	14	26	12	218	379	161
うち普通救命講習Ⅱ	0	1	1	0	1	1
うち普通救命講習Ⅲ	1	1	0	8	15	7
その他の講習	0	0	0	0	0	0
救命入門コース	25	56	31	563	1,494	931
合計	41	86	45	819	1,929	1,110

1. 救助の総括

① 活動概要

令和4年中(令和4年1月1日～令和4年12月31日)における救助活動概要は、出動件数95件、活動件数63件、救助人員59人となっている。

② 事故種別状況

救助出動件数を事故種別ごとに見てみると、最も多いのが建物等による事故36件、次にその他の事故の30件、以下交通事故23件、水難事故3件、建物火災2件、機械による事故1件となっている。

(事故種別の凡例)

1. 火 災

火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

2. 交通事故

全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

3. 水難事故

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

4. 風水害等自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

5. 機械による事故

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

6. 建物等による事故

建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

7. ガス及び酸欠事故

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

8. 破裂事故

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

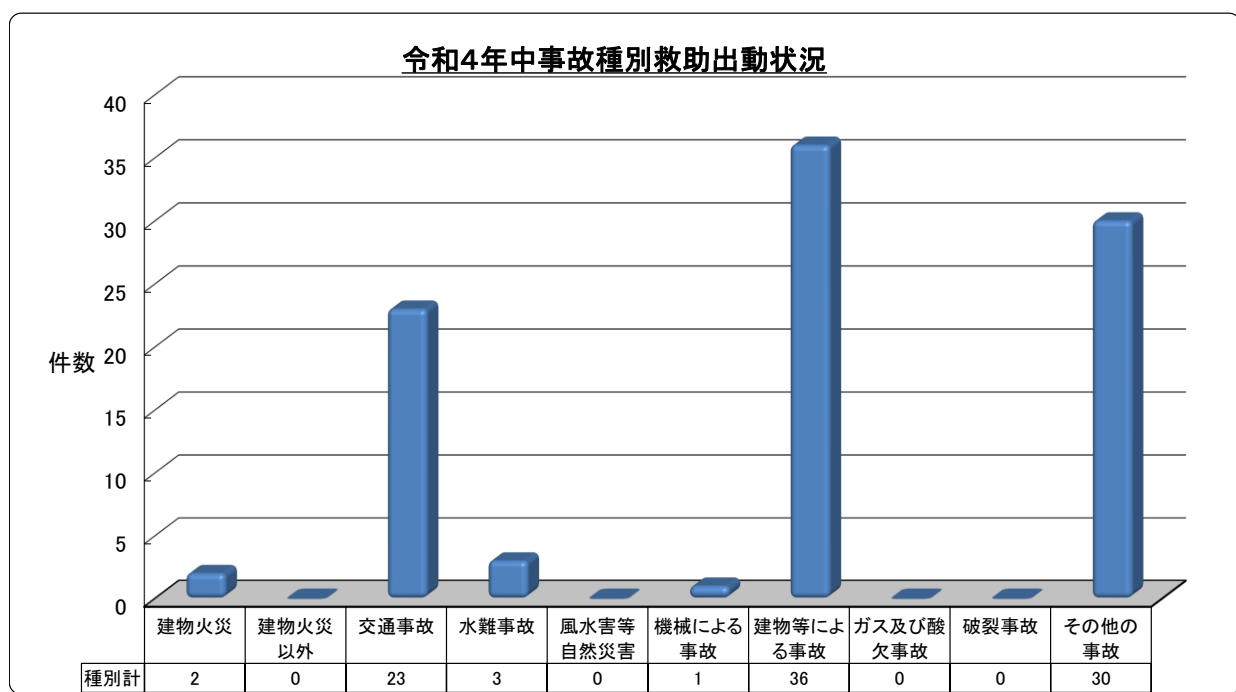
9. その他の事故

※ 1. から8. に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

2 救助の概要

① 事故種別救助出動状況

事故種別 区分		建物火災	建物火災 以外	交通事故	水難事故	風水害等自 然災害	機械による 事故	建物等によ る事故	ガス及び酸 欠事故	破裂事故	その他の 事故	合 計
		出動件数	2	0	23	3	0	1	36	0	0	30
活動件数	2	0	18	3	0	0	20	0	0	20	63	
救助人員	1	0	20	4	0	0	14	0	0	20	59	
出動人員	救助隊員	13	0	91	21	0	4	107	0	0	108	344
	消防隊員	34	0	127	18	0	6	14	0	0	55	254
	救急隊員	9	0	87	12	0	3	106	0	0	87	304
	計	56	0	305	51	0	13	227	0	0	250	902
出動車両	救助工作車	4	0	25	6	0	1	34	0	0	30	100
	タンク車	3	0	12	3	0	0	0	0	0	4	22
	梯子車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	3	0	11	0	0	1	1	0	0	5	21
	指揮車等	2	0	22	3	0	1	2	0	0	9	39
	救急車	3	0	29	4	0	1	36	0	0	29	102
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	16	0	99	16	0	4	73	0	0	77	285



② 町別救助出動・活動状況

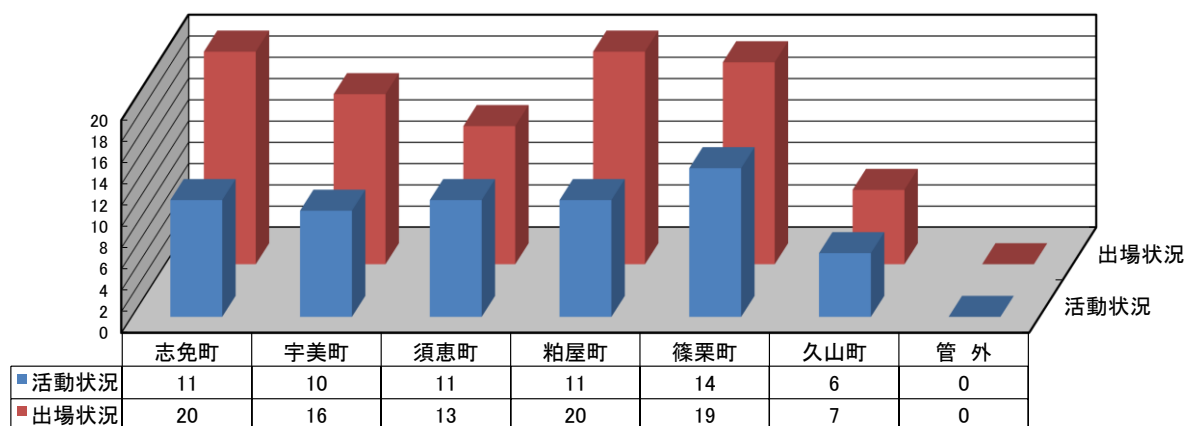
ア 出動状況

区分	事故種別										
	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合 計
志免町	1	0	3	0	0	0	10	0	0	6	20
宇美町	1	0	1	0	0	0	6	0	0	8	16
須恵町	0	0	6	1	0	0	2	0	0	4	13
粕屋町	0	0	4	1	0	0	10	0	0	5	20
篠栗町	0	0	5	1	0	1	7	0	0	5	19
久山町	0	0	4	0	0	0	1	0	0	2	7
管 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	0	23	3	0	1	36	0	0	30	95

イ 活動状況

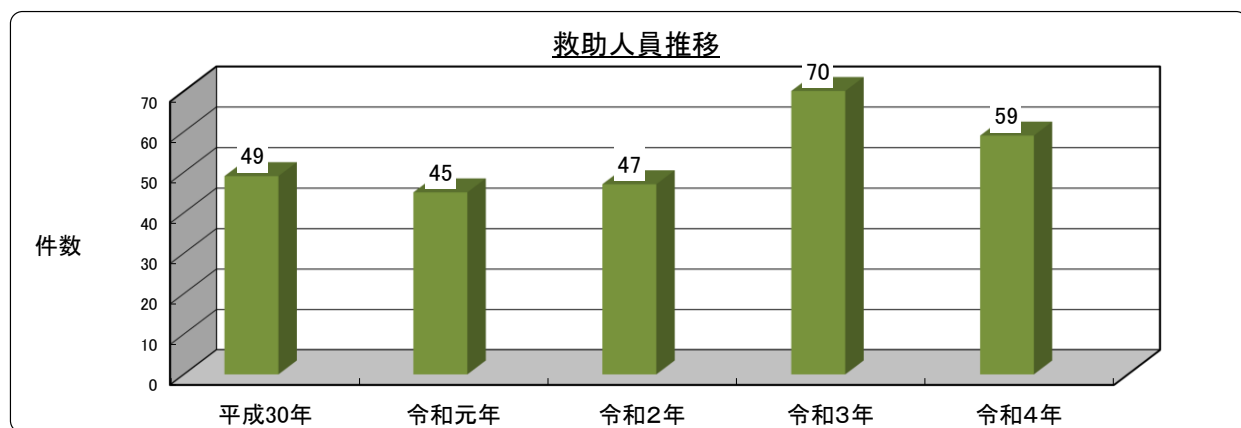
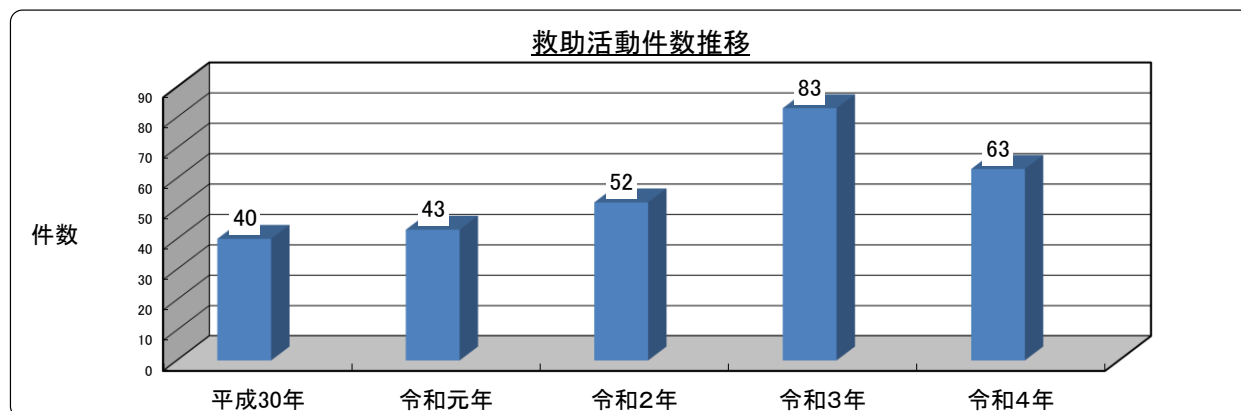
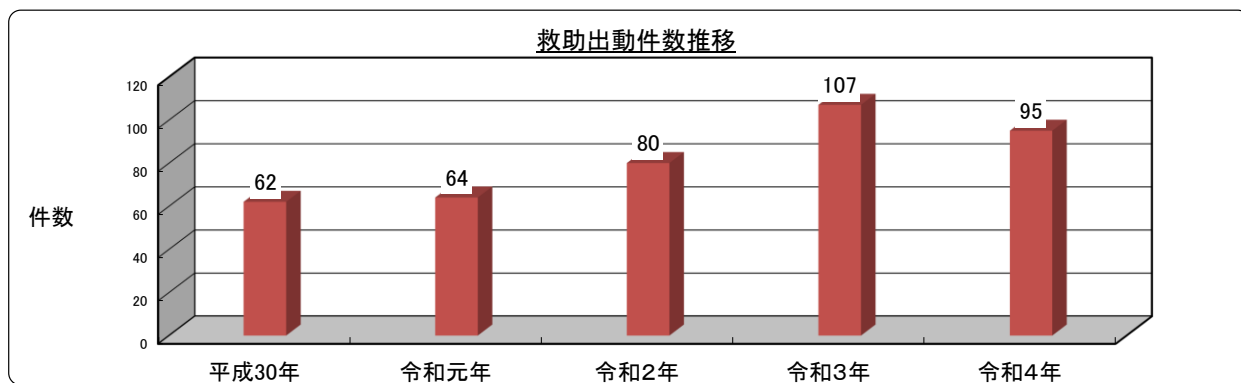
区分	事故種別										
	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合 計
志免町	1	0	1	0	0	0	5	0	0	4	11
宇美町	1	0	1	0	0	0	3	0	0	5	10
須恵町	0	0	4	1	0	0	2	0	0	4	11
粕屋町	0	0	4	1	0	0	4	0	0	2	11
篠栗町	0	0	4	1	0	0	5	0	0	4	14
久山町	0	0	4	0	0	0	1	0	0	1	6
管 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	0	18	3	0	0	20	0	0	20	63

令和4年救助出動及び活動状況(町別)



③ 救助出動件数、救助活動件数及び救助人員の推移

年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
平成30年	62	△27.1	40	△39.4	49	△15.5
令和元年	64	3.2	43	7.5	45	△ 8.2
令和2年	80	25.0	52	20.9	47	4.4
令和3年	107	33.8	83	59.6	70	48.9
令和4年	95	△ 11.2	63	△ 24.1	59	△ 15.7



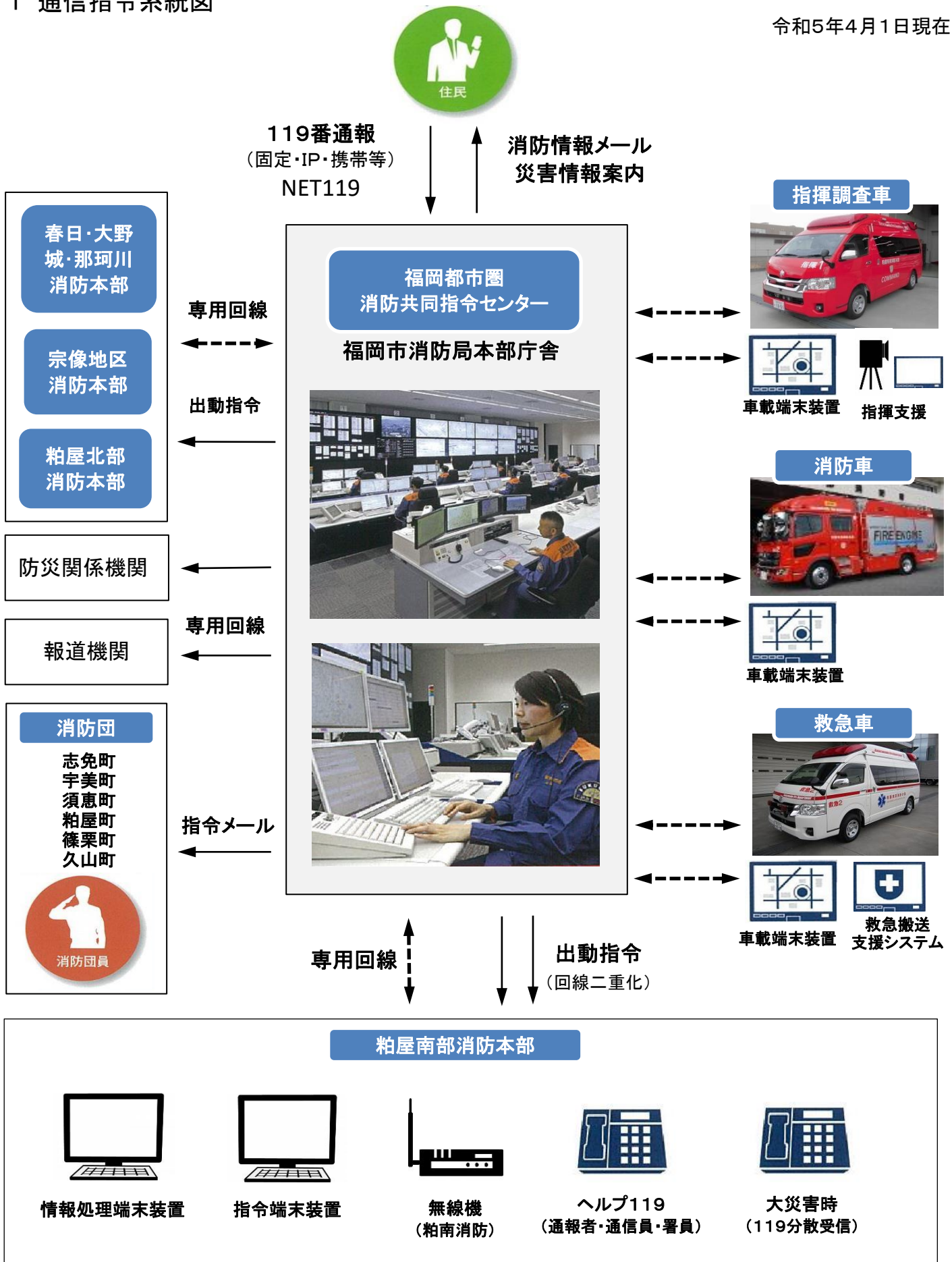
3 救助機械器具等の保有状況

	装備名		2023.4.1現在		
			南部	中部	計
救助器具	積載はしご	かぎ付チタン製	3	4	7
	〃	二連アルミ合金製	1	0	2
	〃	三連チタン製	2	4	6
	空気式救助マット		1	1	2
	マット式空気ジャッキ		1	1	2
	救命索発射銃	空気圧式	1	0	1
	可搬式ウィンチ		3	1	4
	マンホール救出器具		1	1	2
	発動発電機	500W可搬式	8	6	14
	バスケットストレッチャー		2	2	4
	高度救助資機材	画像探索機Ⅰ型	1	0	1
	〃	画像探索機Ⅱ型(簡易画像探索機)	1	1	2
	〃	熱画像直視装置	1	1	2
	〃	地震警報器	1	0	1
	〃	夜間用暗視装置	1	0	1
	エアータント		2	1	3
	救命ボート	ゴム製	1	1	2
	救命胴衣		33	40	73
水中投光器		7	4	11	
破壊器具	大型油圧式救助器具	スプレッダー	1	2	3
	〃	切断機	1	1	2
	〃	ジャッキ	1	1	2
	バッテリー式救助用破壊器具	カッター、ドリル	2	0	2
	空気式救助器具	エアカッター	1	1	2
	〃	エアソー	1	1	2
	エンジンカッター		1	1	2
	チェンソー		2	2	4
	削岩機		1	1	2
	ハンマードリル		2	1	3
	鉄線(鉄筋)カッター		5	4	9
	酸素溶断機		1	1	2
	万能斧		2	5	7
	携帯用コンクリート破砕機		1	1	2
保護器具	防護服	化学防護服	7	2	9
	〃	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	耐電用防護服	2	2	4
	防毒マスク		5	3	8
	呼吸器	空気呼吸器	17	19	36
	〃	酸素呼吸器	0	2	2
保護器具	〃	簡易呼吸器	5	0	5
	潜水器具		5	5	10
	携帯警報機		11	15	26
	送排風機		1	2	3
器具通信	防塵めがね		0	3	3
	携帯無線機	260MHz	8	9	17
測定器具	携帯電話		4	5	9
	可燃性ガス測定器		2	3	5
	有毒ガス測定器		2	1	3
	酸素濃度測定器		2	3	5
	放射線測定器		1	1	2
	個人線量計		6	0	6
	ガンマ線及びエックス線用線量率計		1	0	1
表面汚染検査計		1	0	1	

※本表は、救助隊及び消防隊の保有救助資機材の合計

1 通信指令系統図

令和5年4月1日現在

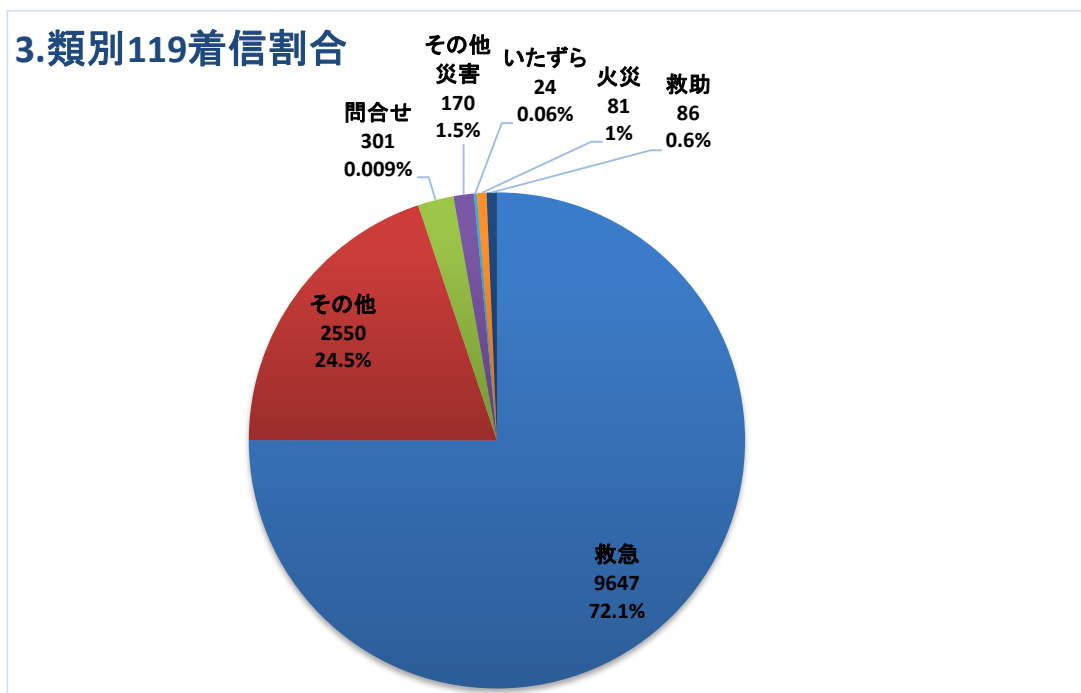


2 月別119着信数内訳

(令和4年中)

種別 月別	火災	救急	その他 災害 (救助除く)	救助	問合せ	いたずら	その他 (誤報・試験 訓練・転送等)	計
1	5	781	10	12	29	1	179	1,017
2	8	697	6	6	16	0	153	886
3	10	723	20	10	27	1	217	1,008
4	9	703	7	5	20	1	214	959
5	3	762	12	7	29	2	214	1,029
6	3	724	11	6	25	1	231	1,001
7	6	1,018	19	5	37	0	229	1,314
8	4	982	8	10	31	0	190	1,225
9	8	778	44	2	17	7	220	1,076
10	11	783	14	10	10	5	258	1,091
11	9	772	8	2	20	1	245	1,057
12	5	924	11	11	40	5	200	1,196
計	81	9,647	170	86	301	24	2,550	12,859

3. 類別119着信割合



消防団編

1	消防団の歴史	102
2	消防団の組織	104
3	消防団員の年齢	106
4	消防団員の勤務年数	107
5	消防団の装備状況	107
6	火災出場状況	107
7	消防連絡協議会	108

1 消防団の歴史



1 江戸時代

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である店火消(たなびけし)を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

各火消組に「いろは」等の名前を付けたことにより、お互いの名誉にかけて競い合って働くという結果が生じ、消防の発展に多大な成果を得ることとなりました。町火消は町奉行の監督下にあったものの、純然たる自治組織であり、経費の一切が町負担で、組織、人員等も町役人の自由に委ねられていました。しかもその費用は、ほとんど器具設備等の購入に費やされ、組員は無報酬でした。そのころの村落部の消防については、駆付消防が主で城下町のような組織的なものはありませんでした。この駆付消防は、古くは「大化の改新」後の5戸制度を起源とする5人組と現在の青年部ともいべき若者組が当たりました。



2 明治～大正時代

明治時代、町火消は東京府に移管され、東京府は明治3年(1870年)に消防局を置き、町火消を改組し消防組としました。明治6年(1873年)に消防事務は内務省に移され、東京府下の消防は、翌明治7年(1873年)に新設された東京警視庁に移されたので、東京警視庁では、直ちに消防組に関する消防章程を制定しました。これが明治の消防の組織活動の基礎となりました。

しかし、全国的には公設消防組は少なく、ほとんどが自治組織としての私設消防組であり、それも名だけというものが多かったのです。そこで、政府は社会の発展に即応する効率的な消防組織の育成を図るため、地方制度再編成を機会に、明治27年(1894年)に消防組規則(勅令第15号)を制定し、消防組を府県知事の管掌として全国的な統一を図りました。具体的な内容は、消防組は知事が職権をもって設置すべきもので、今までの既設の消防組を認めたり、また市町村が自ら組織したものを認可することではいけないという強硬な絶対的至上命令なもので、消防組は知事の警察権に掌握されながら、その費用は一切市町村で負担するべきものと規定されていました。規則施行後にも、消防組の設立は遅々として進まなかったものの、警察署長等の積極的な働きかけなどにより、大正時代末には飛躍的にその数が増大していくこととなりました。

3 昭和時代(戦前)

昭和4、5年(1929、30年)頃から、軍部の指導により、民間防空団体として防護団が各地に結成されました。昭和12年(1937年)には防空法が制定され、国際情勢が悪化してゆく中、国防体制の整備が急がれるようになりました。昭和13年(1938年)に内務次官名で消防組、防護団の統一について両団体統合要綱案が通牒され、勅令制定の基礎となる両団体統合の要綱が決定されました。これらを経て、消防組と防護団を統合し新たな警防組織を設けるため、昭和14年(1939年)1月に勅令をもって「警防団令」を公布しました。これにより、明治以来の消防組は解消し、警防団として同年4月1日に全国一斉に発足され、警察の補助機関として従来の水火消防業務に防空の任務を加えられて終戦に至りました。

4 昭和時代(戦後)

戦後、米国調査団の報告により、警察と消防の分離が勧告され、それに伴い総司令部から警察制度の改革について指示が行われました。内務省は警察制度審議会の答申を受け、昭和 22 年(1947 年)4 月 30 日に消防団令を公布。これにより従来の警防団は解消され、新たに全国の市町村に自主的民主的な「消防団」が組織されることとなりました。

しかし、警察制度審議会の答申及び政府の考え方に対して、総司令部は、その民主化の内容が不徹底と考え、答申に沿った警察制度の改革案に了承を与えませんでした。政府は消防組織法案を作成し、総司令部の了解を求めたものの、総司令部は消防制度に関する覚書案を一部修正し(覚書中「市町村公安委員会」を「自治体消防は市町村の管理に属する」と変更)民間情報局作成の法案要綱をあわせて通知してきました。内務省では、これに基づき法案を修正し、昭和 22 年(1947 年)12 月 23 日に消防組織法の公布が行われました。これにより、消防が警察から分離独立するとともに、すべて市町村の責務に移されました。また、消防組織法の趣旨の徹底と勅令であった消防団令を政令に改めるために、昭和 23 年(1948 年)3 月 24 日に新たな消防団令が公布され、消防団は義務設置から任意設置制になり、消防団に対する指揮監督権が警察部長又は警察署長(消防署長)から市長村長、消防長又は消防署長に移され、府県知事にあった市町村条例の認可権や消防団事務の監察権が廃止されました。

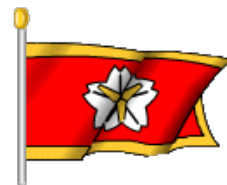
その後、消防団令は根拠法について明確を欠くものがあり、政令は法律に特別の委任がある場合を除くほか、その規定し得る範囲は憲法又は法律により既に定められている事項を実際に執行するために必要な定めをするいわゆる執行命令に限定されるものであり(憲法第 73 条第 6 号)、また法律の委任がなければ義務を課したり、権利を制限する規定を設けることは出来ない(内閣法第 11 条)ものであるから、そのような性質を持つ政令で消防団に関する基本的な事項を規定しておくことは適当でないという見解のもとに、消防組織法に第 15 条の 2 を追加し、同時に消防団令は廃止されました。

その後、組織法制定後も火災が頻発し日本再建途上の一大障害となっている情勢下で、消防組織の強化、拡充を図るため、昭和 26 年(1951 年)3 月に議員立法により消防組織法が改正されました。これにより、任意設置であった消防機関の設置は義務設置となりました。

このように、消防団は、江戸時代に義勇消防の元祖として発足して以来、様々な変遷を経て今日に至っていません。



2 消防団の組織



消防団は、郷土愛護の精神に基づいて民間の有志の人々によって組織されており、消防団員は、各自の職業に従事しながら、災害が発生した際に、招集されて消防活動に従事します。

非常時は、本来の職を投げうって、郷土を災害から守るため献身的な活動を行っています。

志免町消防団 団長 内山 雅夫

分団名	担当区域
中央分団	志免 4、志免 6
第一分団	田富、成和町内ガーデン、下河原組合
第二分団	吉原、水鉛、桜丘1、桜丘中央、桜丘南
第三分団	志免 3、志免 5、坂瀬団地、向ヶ丘、石橋台、成和町内石櫃
第四分団	東区、松ヶ丘、成和町内南、緑風会組合
第五分団	志免 2
第六分団	南里 1、南里 2、南里 3、王子八幡
第七分団	別府、別府 1、鏡、アネシス
第八分団	別府 2、別府 3、サンリヤン
第九分団	御手洗

宇美町消防団 団長 末継 典秀

分団名	担当区域
本部分団	辻荒木
第一分団	上ノ原、障子岳、宇美東、山ノ内、飛岳 1、飛岳 2、飛岳 3
第二分団	福博中央、早見、四王寺坂 3
第三分団	上宇美 1、上宇美 2、上宇美本通り、上河原
第四分団	井野、新井野、平成、ひばりが丘 1 ひばりが丘 2、ひばりが丘 3
第五分団	桜原、馬場、下宇美、林崎、浦田、大名坂
第六分団	炭焼 1、炭焼 2、炭焼 3、炭焼 4、大谷、四王寺、末広、貴船
第七分団	原田下、原田中央、原田上、明治町、仲山、四王寺坂 2
第九分団	鎌倉、福博鎌倉、新成、四王寺坂 1
第十分団	三原、黒穂、柳原、神山手

須恵町消防団 団長 金子 東洋一

分団名	担当区域
本部分団	南米里、大島原、川子一、川子二
新原分団	新原
新生分団	山の神、恵西、昭穂
飛越分団	西原、旭ヶ丘
旅石分団	旅石
乙植木分団	乙植木
甲植木分団	甲植木、長札
須恵分団	須恵、城山
上須恵分団	上須恵、藤浦
佐谷分団	佐谷

粕屋町消防団 団長 安 河 内 達

分団名	担当区域
本部分団	粕屋町全域
第一分団	大隈、朝日
第二分団	上大隈
第三分団	江辻
第四分団	戸原、長戸
第五分団	長者原上、長者原中、長者原下
第六分団	内橋1、内橋2、内橋3、多の津、サンライフ
第七分団	袖須
第八分団	原町
第九分団	若宮
第十分団	乙仲原東、乙仲原西、阿恵
第十一分団	甲仲原、駕輿丁
第十二分団	酒殿
第十三分団	花ヶ浦
女性消防隊	

篠栗町消防団 団長 立 開 克 利

分団名	担当区域
第一分団	城戸、山手、山王
第二分団	下町、大勢門
第三分団	新町、庄、若杉
第四分団	尾仲、乙犬
第五分団	田中、明治、池の端
第六分団	高田、金出
第七分団	萩尾
第八分団	篠栗町全域
第九分団	上町、中町
第十分団	津波黒、和田
女性消防隊	

久山町消防団 団長 實 淵 論 太 郎

分団名	担当区域
本部分団	東久原、草場
第一分団	猪野
第二分団	上山田
第三分団	下山田
第四分団	上久原
第五分団	中久原
第六分団	下久原
女性消防隊	



3 消防団員の年齢

令和5年4月1日現在

年 齢	区 分							合 計
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
17								
18		3	1	1		1	6	
19	1	2	1	5	2	5	16	
20		5	3	2	6	1	17	
21	1	3	3	3	2	2	14	
22	2	6	7	5	5	1	26	
23	2	10	8	4	4	5	33	
24	6	2	8	5	5	5	31	
25	9	4	6	6	8	7	40	
26	2	7	8	7	10	4	38	
27	7	3	5	12	6	5	38	
28	5	8	9	10	11	11	54	
29	10	3	8	13	9	8	51	
30	1	11	5	5	12	5	39	
31	12	6	7	9	9	3	46	
32	6	8	7	7	8	4	40	
33	5	5	9	9	10	4	42	
34	8	11	7	13	11	7	57	
35	7	6	10	11	11	6	51	
36	13	8	7	8	12	4	52	
37	7	3	4	5	15	7	41	
38	4	6	5	7	11	5	38	
39	4	4	2	5	17	20	52	
40	8	8	1		10		27	
41	7	6	2		7		22	
42	1	3			5		9	
43	2	4		1	9	1	17	
44		3			9	1	13	
45	1	1	1	1			4	
46		2			1	1	4	
47		2			1		3	
48		2	1	1			4	
49	2						2	
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
合 計	133	155	135	155	226	123	927	
平均年齢	33.0	32.0	30.0	30.0	33.0	31.0	31.7	
条例定数	200	197	170	220	260	168	1215	

4 消防団員の勤務年数

令和5年4月1日現在

勤務年数	区分	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
5年未満		35	52	45	61	61	50	304
5年以上10年未満		39	44	40	49	66	35	273
10年以上15年未満		34	31	39	36	56	18	214
15年以上20年未満		18	15	9	9	34	14	99
20年以上25年未満		7	11	2		9	5	34
25年以上			2				1	3
合計		133	155	135	155	226	123	927

5 消防団装備状況

令和5年4月1日現在

装 備	区分	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
普通消防ポンプ自動車		5	6	3	12	4	4	34
水槽付消防ポンプ自動車						1		1
小型動力ポンプ積載車		5	4	7	3	15	3	37
小型動力ポンプ		7	5		4		3	12
指揮車		1	1	1	1	3	1	8
合計		18	16	11	16	23	8	92

6 火災出動状況

令和4年中

月別	区分	件数	消 防 団												計		
			志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町		車両	人員	
			車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員			
1		1						5	17							5	17
2		1						1	2							1	2
3																0	0
4		1						4	15							4	15
5																0	0
6																0	0
7																0	0
8		1						10	47							10	47
9																0	0
10		2				1	3	3	15							4	18
11		1			11	57										11	57
12		1						5	28							5	28
計		8	0	0	11	57	1	3	28	124	0	0	0	0		40	184

7 消防連絡協議会

消防本部、署及び構成町並びに消防団が一体となり、消防業務及び消防技術の総合的研究を行い、消防の健全な発展に寄与することなどを目的とする組織です。



(令和5年10月現在)

所 属	職 名	氏 名
志免町	消防団長	内山 雅夫
	消防副団長	南里 直毅
	消防副団長	荒巻 裕史
	生活安全課長	太田 成洋
	消防主任	寺田 力
宇美町	消防団長	末継 典秀
	消防副団長	柴田 靖
	消防副団長	日高 祥一郎
	危機管理課長	安川 忠行
	消防主任	坂口 政勝
須恵町	消防団長	金子 東洋一
	消防副団長	村山 真太郎
	消防副団長	安河内 知昭
	総務課長	諸石 豊
	消防主任	川上 仁史
粕屋町	消防団長	安河内 達
	消防副団長	伊藤 善亮
	消防副団長	案浦 弘継
	協働のまちづくり課長	高榎 元
	消防主任	西村 直
篠栗町	消防団長	立開 克利
	消防副団長	高倉 拓馬
	消防副団長	世利 康祐
	総務課長	田村 明広
	消防主任	園田 大輔
久山町	消防団長	實淵 論太郎
	消防副団長	井上 貴寛
	消防副団長	城戸 貞人
	総務課長	久芳 浩二
	消防主任	木下 雅博



粕屋南部消防組合消防本部

〒811-2204

福岡県糟屋郡志免町大字田富 170 番地

(代) 092-935-5111

<http://www.kasuyanambu-shobo.jp/>